

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程 A類型）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部1学年	国語科	ひとりだちするための国語 【光村】こくご(一)上・下

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)		
------	---	--	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	5	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階A(ウ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、読み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・図書館オリエンテーション ・読書活動	・図書館オリエンテーションを通して、図書館の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ること で、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。(中1段階イ(ア)) (思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえることができる。(中2段階Cイ) (学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。(中1段階イ(ア)) (思・判・表) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえている。 (中2段階Cイ) (主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。(高1段階)	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ・NIE ・実習新聞作成	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「はがきを書こう」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙やはがきの正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状や季節のお便りの定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	12	(知及技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(高1段階ウ(イ)) (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話することができる。(中1段階A工) (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。(高1段階ウ(イ)) (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階A工) (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語	・丁寧語の使い方や身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書く家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話ををする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	22	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(中2段階イ(ア)) (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。(中2段階イ(ア)) (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Cア) (主学) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・蜘蛛の糸 ・生きる	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学) お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中2段階ウ(ウ)(ア)) (思判表力) 書体工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(中2段階Bウ) (学・人) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(中2段階イ(ア)) (思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、必要な情報を抽出し、内容の大体を捉えることができる。(中2段階Cイ) (学・人) 言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学) 言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思・判表力) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。(中2段階Bイ) (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようとするすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えている。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「手紙を書こう」 ・2年後の自分への手紙	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、伝えたい内容に関する文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・この1年間で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ち、高等部を卒業する自分を想像して激励する言葉などを項目毎にメモでまとめ、手紙を作成する。(思判表力に関する内容) ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和 8年度 高等部 1 年 (II 課程 B 類型) 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部 1 年	国語科	東京書籍 こくご☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高 1 段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高 1 段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高 1 段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) 運筆のワークシートに取り組むことができる。(中 1 段階：A(エ)) (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小 2 段階：B(ア)) (学・人) 身近なものの名前に興味を持ち書こうとすることができる。(小 3 段階)	(知・技) 直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができる。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。 (主学) 身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元 1 「運筆練習をしよう」 「なぞり書きをしよう」	・鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。(知及び技に関する内容) ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。(思判表力に関する内容) ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中 2 段階：A(ア)) (思判表力) 絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中 1 段階：C(ア)) (学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中 1 段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。 (主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。	単元 2 「絵本の読み聞かせ①」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。(学・人に関する内容)
	11	(知及技) 発声や発音に気がついたり、声の大きさを調節したりして話することができる。(中 2 段階：A(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。(中 2 段階：A(エ)) (学・人) 授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。(中 2 段階)	(知・技) 発声や発音に気がついたり、声の大きさを調節したりして話することができる。 (思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。 (主学) 教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元 3 「友達に呼びかけてみよう」	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。(知及び技に関する内容) ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。 ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。(小 2 段階：A(ウ)) (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。(小 3 段階：C(ア)) (学・人) いろいろな言葉にふれ、親しみをもち取り組むことができる。(中 1 段階)	(知・技) 身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。 (主学) いろいろな言葉にふれ、親しみをもち取り組もうとしている。	単元 1 「身近なものの名前を知ろう」	・食べ物、乗り物、身体部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。(知及び技に関する内容) ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。(思判表力に関する内容) ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。(学・人に関する内容)

2 学 期	22	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中1段階：Cア) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中1段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中1段階) (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。(中1段階) (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中1段階)	単元2 「絵本の読み聞かせ②」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階：Bイ) (学・人)文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階：Bイ) (主学)文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元3 「自分で選んでやってみよう」	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3 学 期	5	(知及技)様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小3段階Bウ) (学・人)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技)筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小3段階Bウ) (主学)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元1 「道具を使って書いてみよう」	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりすることができる。(高1段階：ウ(ウ)) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中2段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階) (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中2段階)	単元2 「絵本の読み聞かせ③」	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) ・図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階C工) (学・人)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階) (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階C工) (主学)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元3 「やりとりを楽しもう」	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。			

令和 8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型）国語科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
105		高等部2学年		国語科	くらしに役立つ 国語 ゆっくり学ぶ子のための国語
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高2段階） （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高2段階） （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技）相手を見て話したり、聞いたりするとともに、他者の話を簡単にまとめることができる。【高1段階ア（イ）】 （思判表力）相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Bア】 （学・人）言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	（知・技）相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 （思・判・表）自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 （主学）言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、読み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。（思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	9	（知及技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ（ウ）】 （思判表力）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高2段階C（オ）】 （学・人）幅広く読書に親しもうとすることができる。【高1段階】	（知・技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 （思・判・表）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 （主学）幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・読書活動	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。（知及び技に関する内容） ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、読みたい本を選ぶことができる。（思判表力に関する内容） ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ること、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。（学・人に関する内容）
	8	（知及技）日常よく使われる丁寧語、敬語を理解し使うことができる。【高1段階ア（力）】 （思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階A工】 （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高1段階】	（知・技）日常よく使われる丁寧語や敬語を理解し使うことができる。 （思・判・表）正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 （主学）言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・敬語をつかおう ・電話を利用しよう ・実習先でのやり取りを考える ・メモの取り方	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。（思判表力に関する内容） ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。（学・人に関する内容）
	6	（知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【中2段階イ（ア）】 （思判表力）読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【中2段階Cオ】 （学・人）言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高1段階】	（知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 （思・判・表）読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができる。 （主学）言葉がもつよさに気づき、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ・NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。（知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）

	8	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。【高1段階】 (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階B (ア)】 (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技) お礼状の書き方を理解している。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)
2 学期	10	(知及技) 生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高1段階ウ (ア)】 (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【高1段階A工】 (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができる。 (思・判・表) 相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	20	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高1段階ア (キ)】 (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。【高1段階(ア)】 (学・人) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができる。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情について叙述を基に捉えている。 (主学) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・注文の多い料理店 ・蜘蛛の糸	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中1段階ウ (イ)】 (思判表力) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えることができる。【高1段階B工】 (学・人) 言葉がもつよさを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高1段階】	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができる。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができる。 (主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技) 目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高2段階ウ (ウ)】 (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高1段階Bウ】 (学・人) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高1段階】	(知・技) 目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道用具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高1段階イ (ア)】 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。【高1段階Cオ】 (学・人) 国語を大切に、思いや考えを伝え合うことができる。【高1段階】	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 (主学) 国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、間に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高1段階A (ウ)】 (思判表力) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高1段階Bウ】 (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようことができる。【高1段階】	(知・技) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (思・判・表) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。(知及び技に関する内容) ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。(思判表力に関する内容) ・考えた挨拶を工夫して発表する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和 8年度 高等部 2年（ II 課程B類型 ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部2年	国語科	こくご☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高1段階） （思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高1段階） （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）なぞり書きのワークシートに取り組むことができる。（中1段階：ア(エ)） （思判表力）自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。（小2段階：Bイ） （学・人）身近な物の名前や簡単な文章を書こうとすることができる。（小3段階）	（知・技）直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができる。 （思・判・表）自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。 （主学）身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元1 「なぞり書きの練習をしよう」 ・季節の言葉 ・家族の日のメッセージ	・鉛筆やペン、クレヨンなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。（知及び技に関する内容） ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。（思判表力に関する内容） ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。（学・人に関する内容）
	12	（知及技）日常生活の中で周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づき、適切な表現を使うことができる。（中2段階：ア(ア)） （思判表力）絵本の読み聞かせを聞くことができる。（中1段階：Cア） （学・人）読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ててくことができる。（中1段階）	（知・技）日常生活の中で周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づき、適切な表現を使うことができる。 （思判表力）好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。 （主学）読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てて聞こうとしている。	単元2 「絵本の読み聞かせ①」 ・季節行事の絵本 ・働くことの絵本	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。（知及び技に関する内容） ・音を模倣したり身振りで表現したりする。（思判表力に関する内容） ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。（学・人に関する内容）
	11	（知及技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話することができる。（中2段階ア(イ)） （思判表力）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。（中2段階：Aエ） （学・人）授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。（中2段階）	（知・技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話することができる。 （思判表力）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。 （主学）教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元3 「友達に呼びかけてみよう」 ・実習に向けてあいさつ、返事の練習	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。（知及び技に関する内容） ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。（思判表力に関する内容） ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。（学・人に関する内容）
	12	（知及技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。（小2段階：ア(ウ)） （思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。（小3段階Cア） （学・人）いろいろな言葉にふれ、親しみを持てて取り組むことができる。（中1段階）	（知・技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。 （思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。 （主学）いろいろな言葉にふれ、親しみを持てて取り組もうとしている。	単元1 「身近なものの名前を知ろう」 ・物の名前でビンゴ ・修学旅行に向けて	・食べ物、乗り物、身体部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。（知及び技に関する内容） ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。（思判表力に関する内容） ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。（学・人に関する内容）

2 学 期	22	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中1段階：Cア) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中1段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中1段階) (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。	単元2 「絵本の読み聞かせ②」 ・避難訓練の本 ・季節の絵本	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階：Bイ) (学・人)文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。 (主学)文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元3 「自分で選んでやってみよう」 ・すすくプラス ・なぞり書きの練習	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3 学 期	5	(知及技)様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小3段階Bウ) (学・人)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技)筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。 (主学)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元1 「道具を使って書いてみよう」 ・年賀状 ・書き初め	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりすることができる。(高1段階：ウ(ウ)) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中2段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階) (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。	単元2 「絵本の読み聞かせ③」 ・季節行事の絵本	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) (主学)図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。
	10	(知及技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階C工) (学・人)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (主学)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元3 「やりとりを楽しもう」 ・カルタ ・ひらがなカード	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。			

令和8年度 高等部 3年（ II課程 A類型 ）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部 3学年	国語科	【東洋館】くらしに役立つ 国語 ゆっくり学ぶ子ための国語

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。【高2段階】 （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。【高2段階】 （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	（知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。【高1段階：ア（イ）】 （思判表力）相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階：Bア】 （学・人）自分の言葉で自己紹介することを通して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高1段階】	（知・技）相手に注目し聞き取りやすいように、声量やテンポを工夫し、最後まで発表しようとしている。【高1段階：ア（イ）】 （思・判・表）相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確に表現しようとしている。【高1段階：Bア】 （主学）自分自身について、自分の言葉でまとめ、相手に伝えようとしている。【高1段階】	単元1「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シート作成	・文章で伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。（思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	12	（知及技）日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。【高1段階：ア（カ）】 （思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階：Aエ】 （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合うことができる。【高1段階】	（知・技）日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。【高1段階：ア（カ）】 （思・判・表）正しい敬語を用いて、相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。【高1段階：Aエ】 （主学）言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合おうとしている。【高1段階】	単元2「敬語を使おう」 ・敬語を使おう ・電話の受け答え方	・ワークシートで敬語の種類や違いなどを理解する。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書いたり、丁寧語を意識して言葉で伝えたりする。（思判表力に関する内容） ・適切な敬語を使って会話をしたり、文章を作成したりすることで敬語に親しむ。（学・人に関する内容）
	10	（知及技）考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高1段階：イ（ア）】 （思判表力）段落相互の關係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。【高1段階：Cイ】 （学・人）言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しむことができる。【高1段階】	（知・技）考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との關係について理解しようとしている。【高1段階：イ（ア）】 （思・判・表）段落相互の關係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えようとしている。【高1段階：Cイ】 （主学）言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しもうとしている。	単元3「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・NIEの活用	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。（知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）
	6	（知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文章を書くことができる。【高1段階：ア（ウ）】 （思判表力）書く内容の中心を決め、伝えたい内容について、文章の構成を考えることができる。【高1段階：Bイ】 （学・人）履歴書を通して、相手に働きたい気持ちを伝える大切さに気づくことができる。【高1段階】	（知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文章を書くことができる。【高1段階：ア（ウ）】 （思・判・表）相手や目的を意識して、伝えたい内容について、文章の構成を考えようとしている。【高1段階：Bイ】 （主学）履歴書を通して、相手に働きたい気持ちを伝える大切さに気づこうとしている。【高1段階】	単元4「履歴書を書こう」 ・履歴書の作成	・履歴書の正しい書き方を理解し、漢字や仮名を正しい記述で書く。（知及び技に関する内容） ・実習で学んだことや仕事に対する考え、将来の希望などを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・正しい履歴書の書き方を参考に、文章を作成することで、自分の考えや今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝え合う。（学・人に関する内容）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	12	(知及技)生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高1段階：ウ(7)】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階：A工】 (学・人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとする。【高1段階】	(知・技)生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができる。【高1段階：ウ(7)】 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しようとしている。【高1段階：A工】 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。【高1段階】	単元1「方言に親しもう」 ・方言カルタのをしよう ・黄金言葉を調べよう ・しまくとぅばを話そう	・身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言を使って会話をしたり、方言カルタを楽しむことで、方言に親しむ。(学・人に関する内容)
	22	(知及技)文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高1段階：ア(4)】 (思判表力)言葉の意味や文の意味を理解しながら、登場人物の心情の変化を場面に沿って捉えることができる。【高1段階：Cア】 (学・人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとする。【高1段階】	(知・技)文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができる。 (思・判・表)言葉の意味や文の意味を理解しながら、登場人物の心情の変化を場面に沿って捉えようとしている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。	単元2「物語を読もう」 ・少年の日の思い出 ・小さな手袋	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考えて文でまとめたりする。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、楽しく読書をする。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)易しい文語調の短歌や俳句を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【中2段階ウ(7)】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表すことができる。【高1段階Bア】 (学・人)自分の思いや考えを言葉で素直に表現しようとすることができる。【高1段階】	(知・技)易しい文語調の短歌や俳句を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思・判・表)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表そうとしている。 (主学)季節の移ろいや行事の思い出などを、言葉で素直に表現しようとしている。	単元3「俳句・短歌を作ろう」 ・俳句・短歌作成 ・俳句・短歌鑑賞会	・韻文の種類や俳句・短歌の形式など、基本的な特徴について理解する。(知及び技に関する内容) ・一年を振り返り、楽しかったことや心に残っていること、感謝の気持ちなどを言葉を精選し、俳句・短歌の形式に基づいて書く。(思判表力に関する内容) ・気持ちを表す言葉の表現を楽しんだり、自分の思いや考えを素直に俳句・短歌で表現したりして表現を楽しむ。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。【高1段階ウ(9)ア】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高1段階：Bウ】 (学・人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。【高1段階ウ(9)ア】 (思・判・表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。【高1段階：Bウ】 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。【高1段階】	単元1「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。【中2段階：イ(7)】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高1段階：Cオ】 (学・人)言葉がもつ良さを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高1段階】	(知・技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解して、問題に取り組むことができる。【中2段階：イ(7)】 (思・判・表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを述べようとしている。【高1段階：Cオ】 (主学)言葉がもつ良さを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。【高1段階】	単元2「説明的文章を読もう」 ・案内文 ・取扱説明書	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現したりする。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)手紙の意義や書き方を理解することができる。【中1段階ウ(イ)】 (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階：B工】 (学・人)相手への思いや感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技)手紙の書き方を理解し、お礼状を書くことができる。【中1段階ウ(イ)】 (思・判・表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。【高1段階：B工】 (主学)手紙の作成を通して、相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。【高1段階】	単元3「感謝の手紙を書こう」 ・手紙の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・手紙を受けとる相手への感謝の気持ちや実習を通して学んだことなどを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝え合う。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程B類型）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部3年	国語科	【東京書籍】こくご☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高1段階） （思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。（高1段階） （学・人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）運筆のワークシートに取り組むことができる。（小3段階：ウ（ウ）イ） （思判表力）自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。（小2段階：Bア） （学・人）身近なもののものに名前に興味を持ち書こうとすることができる。（小3段階）	（知・技）直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができる。 （思・判・表）自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。 （主学）身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元1 「運筆練習をしよう」	・鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。（知及び技に関する内容） ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。（思判表力に関する内容） ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。（学・人に関する内容）
	12	（知及技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。（中2段階：ア（ア）） （思判表力）絵本の読み聞かせを聞くことができる。（中1段階：Cア） （学・人）読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てていくことができる。（中1段階）	（知・技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。 （思・判・表）好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。 （主学）読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てて聞こうとしている。	単元2 「絵本の読み聞かせ①」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。（知及び技に関する内容） ・音を模倣したり身振りで表現したりする。（思判表力に関する内容） ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。（学・人に関する内容）
	11	（知及技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。（中2段階ア（イ）） （思判表力）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。（中2段階：A工） （学・人）授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。（中2段階）	（知・技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。 （思・判・表）相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。 （主学）教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元3 「友達に呼びかけてみよう」	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。（知及び技に関する内容） ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。（思判表力に関する内容） ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。（学・人に関する内容）
	12	（知及技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。（小2段階：ア（ウ）） （思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。（小3段階Cア） （学・人）いろいろな言葉にふれ、親しみを持てて取り組むことができる。（中1段階）	（知・技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。 （思・判・表）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。 （主学）いろいろな言葉にふれ、親しみを持てて取り組もうとしている。	単元1 「身近なものの名前を知ろう」	・食べ物、乗り物、身体部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。（知及び技に関する内容） ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。（思判表力に関する内容） ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。（学・人に関する内容）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	22	(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力) 絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中1段階：Cア) (学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中1段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(思・判・表) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができる。(主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中1段階)	単元2 「絵本の読み聞かせ②」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小2段階：Bイ) (学・人) 文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(主学) 文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元3 「自分で選んでやってみよう」	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技) 様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力) 簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小3段階Bウ) (学・人) 様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技) 筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。(思・判・表) 簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(主学) 様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元1 「道具を使って書いてみよう」	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力) 自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりすることができる。(中2段階：C(ア)) (学・人) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中2段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(思・判・表) 好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。(主学) 読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持てきくことができる。(中2段階)	単元2 「絵本の読み聞かせ③」	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) (主学) 図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。
	10	(知及技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力) 短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階C工) (学・人) 友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(思・判・表) 短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(主学) 友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元3 「やりとりを楽しもう」	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。			

令和 8 年度 高等部 1 年 (II 課程A類型) 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高1年 26名	社会科	ひとりだちするための社会 (日本教育研究出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国土の様子と国民生活、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願う日本人としての世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。(高2段階：オ (ア) ㉔) (思判表力) 日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択することができる。(高2段階：オ (ア) ㉔) (学・人) 自分の住んでいる市町村について調べようとしている。(中1段階：オ (ア) ㉔)	(知・技) 我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 (思・判・表) 日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択している。 (主学) 自分の住んでいる市町村について調べている。	・ 国土と大陸	・ 六大陸と日本について地図をもちいて位置関係や名称をまとめる ・ 日本と沖縄の地形的特色を学ぶ ・ 沖縄県と自分の住んでいる市町村の特色をまとめる ・ 単元を通して学んだこと
	8	(知及技) 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。(中2段階：オ (イ) ㉔) (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。(高2段階：オ (イ) ㉔) (学・人) 戦争や紛争がなくなる国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとするすることができる。(高2段階：カ (ア) ㉔)	(知・技) 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解している。 (思・判・表) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学) 戦争や紛争がなくなる国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとしている。	・ 沖縄の歴史と文化	・ 先史時代・古琉球時代について学ぶ ・ 琉球王国・近代について学ぶ ・ 移民の歴史について学ぶ ・ 第二次世界大戦について学ぶ ・ 戦時下の国民の暮らしについて学ぶ ・ 沖縄戦・戦後の沖縄について学ぶ ・ 慰霊の日・基地問題について学ぶ ・ 単元を通して学んだこと
	8	(知及技) 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。(高1段階：イ (イ) ㉔) (思判表力) ルールの意義について考えることができる。(高2段階：イ (イ) ㉔) (学・人) よりよいルールについて考えようとするすることができる。(高2段階：イ (イ) ㉔)	(知・技) 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解している。 (思・判・表) ルールの意義について考えている。 (主学) よりよいルールについて考えている。	・ 憲法と国民生活	・ なぜ決まりはあるのかを理解する ・ 日本国憲法と第二次世界大戦の関係について学ぶ ・ 民主主義とは何かを学ぶ ・ 単元を通して学んだこと
	10	(知及技) 沖縄や他地域の文化遺産をいくつか、挙げるができる。(中2段階：オ (イ) ㉔) (思判表力) 沖縄や他地域の文化遺産を比較して、違いについて考えることができる。(高2段階：オ (イ) ㉔) (学・人) 沖縄や他地域にどのような文化遺産があるか、調べることができる。(高2段階：オ (イ) ㉔)	(知・技) 沖縄や他地域の文化遺産をいくつか挙げていく。 (思・判・表) 沖縄や他地域の文化遺産を比較して、違いについて考えている。 (主学) 沖縄や他地域にどのような文化遺産があるか調べている。	・ 地域の文化遺産を紹介しよう	・ 地域の文化遺産について学ぶ ・ 他地域の文化遺産について学ぶ ・ 沖縄とハワイのつながりについて学ぶ ・ 単元を通して学んだこと

2 学 期	9	(知及技) 自分で作成したツアーにある観光地について、知ることができる。(中2段階:オ(ア)㊟) (思判表力) ツアー作成を通して、沖縄の良さについて考えることができる。(中2段階:オ(ア)㊟) (学・人) グループでツアーを作成する際、活動に参加することができる。(中2段階:オ(ア)㊟)	(知・技)観光地について、用紙にまとめている。 (思・判・表)ツアー作成を通して、沖縄の良さについて考えている。(主学)グループでツアーを作成する際、活動に参加している。	・沖縄観光ツアーをつくらう	・沖縄県と本土の違いについて学ぶ ・沖縄県の魅力について調べる ・オリジナルのツアーをつくる ・グループでツアーをつくる ・単元を通して学んだこと
	9	(知及技) 多数決の原理について理解することができる。(高2段階:ア(イ)㊟) (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(中1段階:ア(ア)㊟) (学・人) 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への興味をもつことができる。(高2段階:ア(ア)㊟)	(知・技)多数決の原理について理解している。 (思・判・表)模擬選挙の際、代表者を選択している。 (主学)政治参加への興味を示している。	・生徒会役員選挙に向けて	・多数決の原理について学ぶ ・生徒会選挙の仕組みについて学ぶ ・選挙の仕組みについて学ぶ ・単元を通して学んだこと
3 学 期	9	(知及技) SDGsの項目をいくつか知ることができる。(高2段階:力(ア)㊟) (思判表力) 関心のあるSDGsの目標を選択することができる。(高2段階:力(ア)㊟) (学・人) 持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えることができる。(高2段階:力(ア)㊟)	(知・技)SDGsの項目をいくつか挙げている。 (思・判・表)関心のあるSDGsの目標を選択している。 (主学)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えている。	・SDGs	・SDGs17の目標とは何かを知る。 ・興味関心のある目標についてまとめる。 ・他の人と関心のある目標について伝え合う ・持続可能な社会をつくるためにはどうすればいいかを考える ・単元を通して学んだこと
	9	(知及技) 避難経路を知ることができる。(中2段階:ウ(ア)㊟) (思判表力) 国土の環境、安全について、自分たちにできることを考えて表現できる。(高1段階:ウ(ア)㊟) (学・人) 自然災害の種類や対処について考えることができる。(高1段階:ウ(ア)㊟)	(知・技)地域のハザードマップから避難経路を読み取っている。 (思・判・表)国土の環境、安全について、自分たちにできることを考え、表現している。 (主学)自然災害の種類や対処を考えている。	・防災ポスターを作ろう	・津波や台風の発生しやすい地域を調べる ・災害から身を守る知識と技能を身に付ける ・単元を通して学んだこと
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和 8 年度 高等部 1 年（Ⅱ課程B類型） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	高1年 12名	社会科	絵でわかる こどものせいかつずかん④ おつあいひのきほん 合同出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高1段階） (思判表力) 社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高1段階） (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) あいさつができ、横断歩道を教師と一緒にわたることができる。（小3段階：イ（イ））（小3段階：ケ（イ）） (思判表力) 横断歩道歩行の際、安全を確認できる。ロッカー整理を自分で行うことができる。（小学部：3段階イ（ア））（小学部：3段階ケ（ア）） (学・人) あいさつや交通ルールを守ろうとする心がけができる。（小学部：3段階イ（ア））（小学部：3段階ケ（ア））	(知・技) シミュレーションで挨拶している。校内の横断歩道を教師と渡っている。 (思・判・表) 左右確認している。ロッカー整理や清掃している。 (主学) あいさつやルールを守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみについて学ぶ ・ルールやマナー、きまりについて学ぶ ・手洗いの仕方 ・ロッカー整理
	10	(知及技) 戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中2段階：オ（イ）②） (思判表力) 当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中2段階：オ（イ）④） (学・人) 作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生2段階：カ（ア））	(知・技) 戦後の写真や戦争の写真に着目している。 (思・判・表) 戦後や戦争の写真をみて、質問に答えたり、反応している。 (主学) 友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・復帰記念日、慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景について学ぶ ・慰霊の日の歴史的背景について学ぶ ・募金箱づくり ・平和の鳩づくり
	8	(知及技) 教師と避難経路を通ることができる。（小2段階：イ（ア）） (思判表力) 避難経路や火災の写真を見て、どのようにすれば良いのか、考え表現できる。（小2段階：イ（ア）） (学・人) 火災が危険だと知ることができる。（小2段階：イ（ア））	(知・技) 教師と一緒に落ち着いて避難場所まで移動している。 (思・判・表) 写真をみて、危険回避できるような反応がある。 (主学) 火災の写真を見て、「危ない」など危険と認識している反応がある。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・火災避難訓練事前学習
	10	(知及技) どのような公共施設なのか知ることができる。（小1段階：コ（イ）） (思判表力) どのようなときにどの公共施設を利用できるのか、考えることができる。（小1段階：コ（イ）） (学・人) 利用できる、したい公共施設を見つけることができる。（小1段階：コ（イ））	(知・技) 公共施設に関する写真を見て、正しく答えている。 (思・判・表) 場面を想定した質問に対して、正しく答えている。 (主学) 公共施設の説明を聞こうとしている。	【公共施設と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割について学ぶ ・公共施設の役割について学ぶ

2 学 期	8	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生2段階:カ(イ)) (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生2段階:カ(ア)) (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。(小生3段階:カ(イ))	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作活動 ・簡単なお仕事をしよう
	6	(知及技) 教師と避難経路を通ることができる。教師と一緒にあるいは自分で、模擬選挙の代表者を選ぶことができる。(小2段階:イ(ア)) (小1段階:コ(イ)) (思判表力) 避難経路や火災の写真をみて、どのようにすればいいのか、考え表現できる。代表者を選ぶ理由がある。(小2段階:イ(ア)) (小1段階:コ(イ)) (学・人) 地震津波、火災が危険と言ったことが分かる。選挙に対して前向きな気持ちを持てる。(小2段階:イ(ア)) (小1段階:コ(イ))	(知・技) 教師と一緒に落ち着いて避難場所まで移動している。模擬選挙で代表者を選んでいる。 (思・判・表) 写真をみて、危険回避できるような反応がある。模擬選挙の代表者を選ぶ様子が見られる。 (主学) 地震津波、火災の写真をみて、危険と言う反応をしている。選挙についての説明を聞いている。	【地域の安全】 ・防災学習(地震、津波) 【社会参加ときまり】 ・選挙について(主権者教育)	・地震、津波、火災避難訓練事前学習 ・模擬投票 ・生徒会役員選挙に参加しよう
3 学 期	8	(知及技) 世界の食べ物や生活、人に関する写真をみて正しく答えることができる。(中1段階:カ(ア)㊟) (思判表力) 世界の食べ物や生活、人に関する写真に興味を持てる。(中1段階:カ(ア)㊟) (学・人) 世界の食べ物や生活、人に関する写真に興味を持てる。(中1段階:カ(ア)㊟)	(知・技) 視聴覚教材をみて反応がある。プリントに正しく答えている。 (思・判・表) 世界の食べ物や生活、人に関する写真に着目している。 (主学) 世界の食べ物や生活、人に関する質問に答えている。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化について知る
	10	(知及技) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方がいいのか知ることができる。(小3段階:ア(ア)) (思判表力) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方がいいのか、考えることができる。(小3段階:ア(ア)) (主学) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になれる。(小3段階:ア(ア))	(知・技) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごしたりするために、どのように過ごした方がいいのか理解している。 (思・判・表) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方がいいのか、考えている。 (主学) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になっている。	【社会参加ときまり】 ・次年度に向けて	・学校での過ごし方 ・余暇時間の過ごし方
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和 8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高2年 28名	社会科	ひとりだちするための社会 （日本教育研究出版）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高2段階） （思判表力）社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高2段階） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。（高2段階：オ（ア）㊲）、中2段階：オ（ア）㊱） （思判表力）家の作りから、本土と沖縄の気候について考えることができる。（高1段階：オ（ア）㊱） （学・人）自分の住んでいる市町村について調べることができる。（中1段階：オ（ア）㊲）	（知・技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 （思・判・表）家の作りから、本土と沖縄の気候について考えている。 （主学）自分の住んでいる市町村について調べようとしている。	・国土と大陸	・方位と地図について学ぶ ・六大陸と日本について地図をもちいて学ぶ ・都道府県について学ぶ ・世界の国々について学ぶ ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㊱） （思判表力）戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㊱） （学・人）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとするすることができる。（高2段階：カ（ア）ア）	（知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できる。 （思・判・表）戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。 （主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとするすることができる。	・沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代について学ぶ ・琉球王国・近代について学ぶ ・第二次世界大戦について学ぶ ・戦時下の国民の暮らしについて学ぶ ・沖縄戦・戦後の沖縄について学ぶ ・慰霊の日・基地問題について学ぶ ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技）青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㊲） （思判表力）なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㊱） （学・人）自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㊱）	（知・技）青年期の特徴について理解している。 （思判表力）なりたい自分について考え表現している。 （主学）自立へ向けて考える様子がみられる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題について学ぶ ・単元を通して学んだこと
	10	（知及技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㊲） （思判表力）ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㊱） （学・人）よりよいルールについて考えようとするすることができる。（高2段階：イ（イ）㊱）	（知・技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解している。 （思・判・表）ルールの意義について考えている。 （主学）よりよいルールについて考えている。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法の違いについて学ぶ ・民主主義について学ぶ

2 学 期	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㊦） （思判表力） 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㊦） （学・人） 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる（高2段階：ア（ア）㊦）	（知・技）多数決の原理について理解している。 （思・判・表）模擬選挙の際、代表者を選択している。 （主学）選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解している。マニフェストを調べている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙の違いについて学ぶ ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	（知及技） 修学旅行先の観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㊦） （思判表力） 修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㊦） （学・人） グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階：オ（ア）㊦）	（知・技）修学旅行先の観光地について、理解している。 （思・判・表）修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えている。 （主学）グループ活動（調べ学習）に参加している。	修学旅行にむけて	・修学旅行先ガイドマップをつくろう ・おすすめスポットの紹介
3 学 期	9	（知及技） 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦） （思・判・表） 自分がどのようなかたちで社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦） （学・人） 現代社会の課題解決について考えようすることができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦）	（知・技）現代社会の特徴を知理解している。 （思・判・表）自分がどのようなかたちで社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 （主学）現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加・自立について学ぶ ・これからの社会
	9	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㊦） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㊦） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㊦）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 （主学）新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和 8 年度 高等部 2 年（Ⅱ課程B類型） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	高2年Bグループ 6名	社会科	絵でわかる こどものせいかつずかん 4 おつきあいのきほん（合同出版）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高1段階） （思判表力）社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高1段階） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	（知及技）家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを知ることができる。（中1段階：ア（イ）㉔） （思判表力）社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。（中1段階：ア（イ）㉔） （学・人）学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。（高1段階）	（知・技）あいさつや交通ルール等の大切さを知り、質問に対し答えている。 （思・判・表）家庭や学校でのきまりで学んだことを実際に行っている。 （主学）あいさつやルール、マナー等、守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみ ・ルールやマナー、きまり ・手洗い ・ロッカー整理
	8	（知及技）戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中2段階：オ（イ）㉔） （思判表力）当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中2段階：オ（イ）㉔） （学・人）作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生2段階：カ（ア））	（知・技）戦後の写真や戦争の写真等、視聴覚教材に着目している。 （思・判・表）戦後や戦争の写真を見て、質問に答えたり、反応したりしている。 （主学）友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・平和学習	・復帰記念日の歴史的背景 ・慰霊の日の歴史的背景 ・募金箱づくり ・平和の鳩
	8	（知及技）地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを知ることができる。（中1段階：ウ（ア）㉔） （思判表力）地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現することができる。（中1段階：ウ（ア）㉔） （学・人）地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高1段階）	（知・技）視聴覚教材等から、火災に対応している消防署や消防団がいることを理解している。 （思・判・表）学校にある防災器具を見つけることができる。避難場所まで落ち着いて移動している。 （主学）火災が起こらないように、火を扱う際のルールや注意事項を守っている。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・消防の役割 ・火災避難訓練事前学習
	10	（知及技）身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。（中1段階：イ（ア）㉔） （思判表力）公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。（中1段階：イ（ア）㉔） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高1段階）	（知・技）公共施設や公共物に関する写真を見て、正しく答えている。 （思・判・表）身近な公共施設や公共物の利用の仕方を理解している。 （主学）公共施設の正しい利用方法を理解している。	【公共施設の役割と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割と利用 ・公共物の役割と使い方 ・公共施設の役割

2 学 期	4	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生2段階:カ(イ)) (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生2段階:カ(ア)) (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。(小生3段階:カ(イ))	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作 ・簡単なお仕事
	6	(知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを知ることができる。(中1段階:エ(ア)㊦) (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。(中1段階:エ(ア)㊦) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表) 興味のある仕事を選択している。 (主学) 仕事に前向きな態度を示している。	【産業と生活】 ・生産の仕事	・生産の仕事 ・仕事の種類や工程
	8	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。(中1段階:カ(ア)㊦) (思判表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。(中1段階:カ(ア)㊦) (学・人) 国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思・判・表) 世界の食べ物や生活、人に関する写真に着目し、日本の文化との違いを表現している。 (主学) 国内や世界の人々と共に生きることの大切さを理解している。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化
3 学 期	8	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解することができる。(中2段階:イ(イ)㊦) (思判表力) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。(中2段階:イ(イ)㊦) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 選挙の方法を理解している。 (思・判・表) 社会に関する基本的な制度について調べている。 (主学) 授業で学んだことを生かし、生徒会選挙で投票している。	【公共施設の役割と制度】 ・選挙について(主権者教育)	・模擬投票 ・生徒会役員選挙
	10	(知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。(中1段階:ア(ア)㊦) (思判表力) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現することができる。(中1段階:ア(ア)㊦) (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 話をする・聞く等の集団生活の中で必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現している。 (主学) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごしたりするために、前向きな姿勢になれる。	【社会参加ときまり】 ・次年度に向けて	・学校での過ごし方 ・余暇時間の過ごし方
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和 8 年度 高等部 3 年（Ⅱ 課程A類型） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高 3 年35名	社会科	ひとりだちするための社会 （日本教育研究出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高2段階） (思判表力) 社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高2段階） (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦） (思・判・表) 自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦） (学・人) 現代社会の課題解決について考えようすることができる。（高2段階：ア（ア）㊦）（高2段階：カ（ア）㊦）	(知・技) 現代社会の特徴を知り、理解している。 (思・判・表) 自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現している。 (主学) 現代社会の課題解決について考えようしている。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加・自立 ・これからの社会
	8	(知及技) 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㊦） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㊦） (学・人) 戦争や紛争がなくなる国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようすることができる。（高2段階：カ（ア）ア）	(知・技) 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解している。 (思・判・表) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学) 戦争や紛争がなくなる国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとしている。	沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	(知及技) 青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㊦） (思判表力) になりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㊦） (学・人) 自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㊦）	(知・技) 青年期の特徴について理解している。 (思判表力) になりたい自分について考え表現している。 (主学) 自立できるように、考える様子が見られる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと
	10	(知及技) 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㊦） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㊦） (学・人) よりよいルールについて考えようすることができる。（高2段階：イ（イ）㊦）	(知・技) 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解している。 (思・判・表) ルールの意義について考えている。 (主学) よりよいルールについて考えようとしている。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？

2 学期	9	(知及技) 多数決の原理について理解することができる。(高2段階：ア(イ)④) (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(中1段階：ア(ア)⑦) (学・人) 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる。(高2段階：ア(ア)④)	(知・技) 多数決の原理について理解している。 (思・判・表) 模擬選挙の際、代表者を選択している。 (主学) マニフェストを調べている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	(知及技) 公共施設や公共交通機関の利用の仕方を知ることができる。(高1段階：イ(ア)⑦) (思判表力) 目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択することができる。(高1段階：イ(ア)④) (学・人) 公共施設や公共交通機関の利用方法について調べることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技) 公共施設や公共交通機関の利用の仕方を理解している。 (思・判・表) 目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択している。 (主学) 公共施設や公共交通機関の利用方法について調べている。	公共交通機関	・公共施設とは ・公共施設の利用方法 ・公共交通機関とは ・公共交通機関の利用方法
3 学期	9	(知及技) 社会参加するためのきまりや公共施設の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解することができる。(高1段階：ア(ア)⑦) (思判表力) 自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断するすることができる。(高1段階：ア(イ)④) (学・人) 卒業後の生活がどのように変わるのか考えることができる。(高1段階：ア(ウ))	(知・技) 社会参加するためのきまりや公共施設の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解している。 (思・判・表) 自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断している。 (主学) 卒業後の生活がどのように変わるのか考えようとしている。	卒業後の生活	・一日のスケジュールの違い ・交通手段や交通費 ・一日に必要なお金
	9	(知及技) 時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。(高1段階：オ(イ)④) (思判表力) 着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。(高1段階：オ(イ)④) (学・人) 時事問題を調べることができる。(高1段階：オ(イ)④)	(知・技) 時事問題に興味関心を示し、内容を理解している。 (思・判・表) 着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表している。 (主学) 時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和 8年度 高等部 3年（Ⅱ課程B類型） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高3年 9名	社会科	絵でわかる こどものせいかつずかん（4） おつきあいのきほん （合同出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高1段階） (思判表力) 社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高1段階） (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。（中2段階：ア（イ）㊦） (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。（中1段階：ア（イ）㊥） (学・人) 学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。（高1段階）	(知・技) 地域社会を送る上であいさつや交通ルール等が大切だと知り、質問に対し答えている。 (思・判・表) 家庭や学校でのきまりで学んだことを実際に行っている。 (主学) あいさつやルール、マナー等、守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみについて学ぶ ・ルールやマナー、きまりについて学ぶ ・手洗いの仕方を身につけよう ・ロッカー整理
	8	(知及技) 戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中2段階：オ（イ）㊦） (思判表力) 当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中2段階：オ（イ）㊥） (学・人) 作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生2段階：カ（ア））	(知・技) 戦後の写真や戦争の写真等、視聴覚教材に着目している。 (思・判・表) 戦後や戦争の写真を見て、質問に答えたり、反応したりしている。 (主学) 友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・平和学習	・復帰記念日について学ぶ ・慰霊の日について学ぶ ・募金箱づくり ・平和の鳩づくり
	8	(知及技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。（中2段階：ウ（ア）㊦） (思判表力) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することができる。（中2段階：ウ（ア）㊥） (学・人) 地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高1段階）	(知・技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に様々な備えをしていることを理解している。 (思・判・表) 学校にある防災器具を見つけたり、地域の防災施設や関係機関を探したりすることができる。避難場所まで落ち着いて移動している。 (主学) 火災が起こらないように、火を扱う際のルールや注意事項を守っている。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・消防の役割について学ぶ ・火災避難訓練事前学習
	10	(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。（中1段階：イ（ア）㊦） (思判表力) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。（中1段階：イ（ア）㊥） (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高1段階）	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を理解している。 (思・判・表) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。 (主学) マナーを守って公共施設を利用しようとしている。	【公共施設の役割と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割と利用について学ぶ ・公共物の役割と使い方について学ぶ ・公共施設の役割について学ぶ

2 学期	4	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生2段階:力(イ)) (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生2段階:力(ア)) (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。(小生3段階:力(イ))	(知及技) 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 (思判表力) 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 (学・人) 集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作活動をしよう ・簡単なお仕事
	6	(知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを知ることができる。(中1段階:工(ア)㊟) (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。(中1段階:工(ア)㊱) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表) 興味のある仕事を選択している。 (主学) 仕事に前向きな態度を示している。	【産業と生活】 ・生産の仕事	・生産の仕事とは何だろう ・仕事の種類や工程について学ぶ
	10	(知及技) 人々の生活の様子を大まかに理解することができる。(中2段階:力(イ)㊟) (思判表力) 世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現することができる。(中2段階:力(イ)㊱) (学・人) 国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 人々の生活の様子を大まかに理解している。 (思・判・表) 世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉えている。 (主学) 国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚している。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化の違いについて学ぶ
3 学期	4	(知及技) 我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。(高1段階:イ(イ)㊟) (思判表力) 国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現することができる。(高1段階:イ(イ)㊱) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 選挙の方法について理解している。 (思・判・表) 選挙ポスター等を活用し誰に投票するか考えている。 (主学) 授業で学んだことを生かし、生徒会選挙や地域の選挙で投票している。	【公共施設の役割と制度】 ・選挙について(主権者教育)	・模擬投票を受けてみよう ・生徒会役員選挙に参加しよう
	10	(知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。(中1段階:ア(ア)㊟) (思判表力) 集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。(中1段階:ア(ア)㊱) (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。(高1段階)	(知・技) 話をする・聞く等の集団生活の中で必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 集団生活の中での自分の役割を考え、表現することができる。 (主学) 良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になれる。どうすれば良いのか考えようとしている。	【社会参加ときまり】 ・卒業後に向けて	・事業所での過ごし方を体験しよう ・余暇時間の過ごし方について学ぼう
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和8年度 高等部 1 年（Ⅱ課程A類型）数学科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒について		担当者	教科書／副教材
3/105		1 学年 27名		数学科	くらしに役立つ数学
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技)億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解できる。10 倍、100 倍、1000 倍、1/10の大きさの数及びその表し方の理解ができる。(高1段階Aア㊦㊧) (思判表力)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高1段階Aア㊦) (学・人)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりすることができる。(高1段階)	(知・技)十進位取り記数法による表現を基に、単位を億、兆に広げて表現することができている。整数を10倍、100倍、1000倍、1/10倍にした大きさの数について、数字の並び方は変わらないことに気付き、理解できている。 (思・判・表)これまで学んできた一、十、百、千という4桁の数のまとまりに着目し、その繰り返しに気付き、更に大きな数についても同じように考えられている。 (主学)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かそうとしている。	【A数と計算】 ・整数の表し方 ・10倍、100倍、1000倍した数、1/10倍した数の大きさ	○数と計算 ・一億以上の数の構成や読み方、書き方 ・25億を10倍した数や1/10にした数の並び方を比べる
	8	(知及技) 概数が用いられる場面について理解し、四捨五入について知ることができる。(高1段階Aウ㊦㊧) (思判表力)日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。(高1段階Aウ㊦) (学・人)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりすることができる。(高1段階)	(知・技)概数の意味を理解し、数を手際よく捉えたり処理したりするとともに、場面の意味に着目して数の捉え方を考え、目的に応じて概数を用いることができる。 (思・判・表)概数を用いると数の大きさが捉えやすくなることや、物事の判断や処理が容易になること、見通しを立てやすくなることなどのよさに気付き、目的に応じて自ら概数で事象を把握しようとしている。 (主学)「どの位までの概数にするのか」「切り上げるのか、切り捨てるのか、四捨五入するのか」ということを、生徒自らが判断したり、それが適切であるかどうかを振り返ることができる。	【A数と計算】 ・概数の意味 ・四捨五入の意味と方法 ・概数処理のいろいろな表現方法	○数と計算 ・市の人口の、およその数の表し方 ・四捨五入の意味や方法 ・●の位までの概数にする仕方 ・数の範囲を表す言葉「以上」「未満」「以下」の意味 ・「切り捨て」や「切り上げ」の意味

2 学 期	15	(知及技) 加減乗除の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。(高1段階A工⑦オ⑦カ⑦) (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。(高1段階A工オカ⑦) (学・人) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 2位数及び簡単な3位数の計算を基にして、3位数や4位数の計算ができている。 (思・判・表) 既習の数の見方や計算の仕方を活用したりすることで、未習の計算の仕方を見付け出している。乗法の計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の工夫をすることである (主学) 日常の事象において、目的に応じて数进行处理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【A数と計算】 ・整数の加法及び減法 ・整数の乗法 ・整数の除法	○数と計算 ・3位数+3位数の筆算 ・3位数-3位数の筆算 ・$1000 \div 2 \sim 3$位数の筆算 ・3位数$\times$3位数の筆算 ・2位数$\div$1位数の筆算 ・3位数$\div$1位数=3位数の筆算 ・3位数$\div$1位数=2位数の筆算
	6	(知及技) 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。(高1段階Aコ⑦) (思判表力) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。(高1段階Aコ⑦) (学・人) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動ができる。(高1段階)	(知・技) 四則の混合した式や()を用いた式について計算のきまりを理解している。数量の関係を一般的に捉え、式にまとめて用いることができる。 (思・判・表) 式の中にある二つの数量の対応や変化の関係の仕方にどんな特徴があるかを、表などを用いて調べながら、伴って変わる二つの数量の関係を読み取っている。 (主学) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動ができている。	【A数と計算】 ・数量の関係を表す式	○変化と関係 ・2段階構造の問題を1つの式に表す方法 ・()のある式の計算順序とその計算 ・四則混合の式の表し方や計算順序
	21	(知及技) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。円周率の意味について理解し、それを用いることができる。(高1段階Bア⑦ウ⑦) (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。(高1段階Bア⑦) (学・人) 日常の事象から図形の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 四角形を弁別したり作図したりする活動などを通して、三角形や四角形など多角形について理解できている。直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解できている。 (思・判・表) 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出し、説明している。実際に幾つかの円について、直径の長さと円周の長さを測定するなどして帰納的に考えることにより、どんな大きさの円についても、円周の長さの直径の長さに対する割合が一定であることを理解できている。 (主学) 日常の事象から図形の問題を見いだして解決し、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【B図形】 ・平面図形	○図形 ・「二等辺三角形」「正三角形」の意味 ・「二等辺三角形」「正三角形」の作図 ・四角形の仲間分け ・「平行四辺形」や「台形」の作図 ・円周の長さと直径の長さのきまり ・「円周率」の意味

	21	(知及技) 立方体、直方体、見取図、展開図について知ることができる。(高1段階Bイ㊦㊧) (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。(高1段階Bイ㊦) (学・人) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 模型や具体物を調べる活動を通して、立方体、直方体について理解している。実際に数種類の展開図から立体を作ったり、立体を切り開き展開図を作ってみたりする活動を通して、展開図からできあがる立体図形を理解できている。 (思・判・表) 立体図形を平面上にいかに関表現するか、また逆に、平面上に表現された図からいかに立体図形を構成できるかを考察している。 (主学) 日常の事象を図形の性質から数学的に捉え直すことができる。	【B図形】 ・立体図形	○図形 ・身の回りのいろいろな箱の仲間分け ・「直方体」「立方体」「立体」の意味 ・展開図をかき、それを切り抜いて直方体を組み立てる ・「見取図」の意味とそのかき方
	15	(知及技) 簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(高1段階Cア㊦) 反比例の関係について理解することができる。(高2段階Cア㊧) (思判表力) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(高1段階Cア㊦) (学・人) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 伴って変わる二つの数量を、表に当てはめていく活動を通して、表を用いて一方が2倍、3倍、4倍になるとき、それに伴って他方も2倍、3倍、4倍になる二つの数量の関係を見だし、この関係を比例の関係として捉えることができる。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量の関係について、変化や対応の規則性を見付けだし、それらの関係を表や式で表し、変化や対応についてのさらなる特徴を見いだしている。 (主学) 問題解決過程を振り返り、見いだしたきまりを基に、数値を変えるなどして問題場面の条件を変更することで、変化や対応の特徴を発展的に考察し、日常生活等に生かしている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 ・「比例」の意味 ・リボンを買う長さを2倍、3倍、…にすると、代金はどのように変わるかを調べる ・「反比例」の意味 ・水槽の場面で水の量を60Lに決めたと、1分当たりに入れる水の量と水を入れる時間の関係を調べる
3学期	12	(知及技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。(高1段階Cウ㊦㊧) (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の割合と別の二つの数量の割合との比べ方を考察することができる。(高1段階Cウ㊦) (学・人) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 基準量を1として、比較量を割合として小数で表すことで、資料の全体と部分、あるいは、部分と部分の関係どうしを比べる場合があることを理解できている。割合をなるべく整数で表すために、基準量を100として、それに対する割合で表す方法を理解し、百分率を求めたり、用いたりすることができる。 (思・判・表) 比べる対象を明確にし、比べるために必要となる二つの数量の割合を、比例関係を前提に、割合でみてよいかを判断している。二つの数量の割合を、得られた割合の大小から判断したり、割合を使って計算をした結果から問題を解決している。 (主学) 日常生活の中で用いられている百分率をチラシやテレビなどから見つける活動などを通して、百分率が日常生活の中で用いられている割合の便利な表現であることに気づき、身近な事象の割合を百分率で表すことができる。	【C変化と関係】 ・二つの数量の割合	○変化と関係 ・割合の意味とその求め方 ・百分率の意味とその表し方 ・歩合の意味とその表し方 ・百分率を適用した計算問題
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程B類型） 数学科年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	1学年 12名	数学科	ゆっくり学ぶ子のための さんすう1

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技)ものともとのとを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かる。【小2段階Aア㉔】 ものの集まりと数詞、数字の対応がわかり、個数を正しく数えて書き表したり、2つの数を比べて数の大小がわかったりする。【小2段階Aイ㉔㉕㉖】 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方を考えることができる。【小2段階A㉔】 (学・人)数カードや物を使った活動(配ってみよう・数えてみよう・並べてみよう)に関心をもち、生活や学習に活用しようすることができる。【高1段階】	(知・技)ものともとのとを一对一で対応させ、同等・多少を判断している。10までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したりしている。 (思・判・表)数の数え方や数の大小比較の仕方を磁石・シールや数字カード等の具体物を使って表現している。 (主学)数詞と数字ともとの数との関係が分かり、学習や生活の中において、数を数えたり、比べたり、表現したりすることに興味をもち、数を使う良さを感じ、使おうとしている。	○数と計算 ・10までの数の数の数え方や表し方	○数と計算 ・配ってみよう 1つのコップに1本のストローを入れていく等、物に対応させて配る。 ・数えてみよう 色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。数詞ともとのとを対応させて個数を正しく数え、対応が完成した最後の数詞を集合数として表せるようにする。 ・並べてみよう・並んでみよう 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。
	9	(知及技)3位数までの数の表し方について理解すること。【中1段階Aア㉔】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。【中1段階A㉔】 (学・人)模擬硬貨やチラシを使って3位数を表したり見つけたりする活動に関心をもち、生活や学習に活用しようすることができる。【高1段階】	(知・技)百円、十円、一円を種類別で数えて各位の数を表している。 (思・判・表)数を百のまとまり、十のまとまりと端数で捉えて表現している。 (主学)3位数で表される数が身近にある事に気付いている。	○数と計算 ・1000までの数の数の数え方や表し方、構成	○数と計算 ・3位数を表現しよう 模擬硬貨の百円、十円、一円を種類別で数えて3位数を表す。 ・工夫して数えよう 10個入りの卵パックや製氷器等を用い、バラバラのものを10個ずつまとめ、それをさらに10個ずつまとめて百のまとまり、十のまとまりと端数の考え方を身につける。 ・3位数を見つけよう チラシ等を活用して、3位数を探す活動を行う。
	9	(知及技)加法が用いられる合併や増加等、減法が用いられる求残や減少等の場合について理解する。【小3段階Aイ㉔㉕】 4位数までの加法及び減法の計算の仕方やそれらの筆算についての仕方を知り、計算機を使って具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができる。【中2段階Aイ㉔㉕】 (思判表力)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。【中2段階Aイ㉔】 (学・人)買い物や想定した計算や計算機の使用などの活動に関心をもち、生活や学習に活用しようすることができる。【高1段階】	(知・技)1位数同士の足し算、引き算の記号(+)、(-)が表す意味を理解して答えている。 (思・判・表)2位数上の加減法の筆算において位ごとに計算している。 (主学)買い物の計算練習等において計算機を活用している。	○数と計算 ・足し算 ・引き算 ・計算機の使い方	○数と計算 ・足し算(1位数同士)「あわせていくつ」「ふえるといくつ」「ぜんぶでいくつ」 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、1位数同士の加法の計算をする。 ・引き算(1位数同士)「残りはいくつ?」「(求残)」「違いはいくつ?」「(求差)」 減法の意味(求残、求差)を理解し、1位数同士の減法の計算をする。 ・4位数までの加減法の筆算 模擬貨幣を使って繰り上がりのない加法、繰り下がりのない減法の筆算の仕方を学ぶ。 ・買い物等における具体的な生活場面での計算機の使用方法を学ぶ。
	9	(知及技)具体物を分配したり等分したりすることができる。【小3段階Aア㉔】 乗法や除法が用いられる場合や意味を知ることができる。【中1段階Aウ㉔】 【中2段階A工㉔】 (思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすことができる。【中2段階A工㉔】 (学・人)数学の学習で気付いたことを、教師や友だちに見せたり、合図したりして伝えながら、課題に取り組むことができる。【高1段階】	(知・技)総数をつつずつなくなるまで分けて同じ数にしている。 (思・判・表)「一つ分」、「いくつ分」、「全部で」の言葉の意味と乗法の式の関係を知ろうとしている。 (主学)具体的な生活場面において乗法や除法が用いられる場面を知ろうとしている。	○数と計算 ・分配、等分 ・かけ算 ・割り算	○数と計算 ・「まとめてみよう」「分けてみよう」 給食トレーにお箸を2本ずつ配る、鉛筆を一箱に4本ずつ入れる等、生活場面を想定し、具体物を使って等分する活動の中で「一つ分」「いくつ分」「総数」の意味を知る。 ・総数をつつずつなくなるまで分けて同じ数になるように分配する。 ・具体物や絵カードを使って乗法、除法の意味を知る。

2 学 期	18	(知及技)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。【小2段階C測定A㉔】 長さの単位mm、cm、m、kmや重さの単位g、kgについて知り、測定の意味を理解することができる。【中1段階Cア㉔】 (思判表力)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすること。【小2段階Cア㉔】 (学・人)身の回りで使われているmm、cm、m、kmを見つけることができる。【中1段階】	(知・技)「長い」「重い」「高い」「広い」という言葉の意味を理解している。mm、cm、m、kmが実際に使われている場面を知ろうとしている。 (思・判・表)二つの量を相対的に比べ、その結果について「長い・短い」「重い・軽い」「高い・低い」「広い・狭い」という用語を用いて表現しようとしている。 (主学)身の回りで使われているmm、cm、m、kmを見つけようとしている。	○測定 ・量を感覚で捉えよう ・二つの量を比べてみよう ・量の単位 (mm、cm、m、km)と測定	○測定 ・「量を感覚で捉えよう」 - 実際のものを使って、感覚、視覚を使って量を感じる。 ・「二つの量を比べてみよう」 - 一方を基準にして二つの量を相対的に比べ、「長い・短い」「重い・軽い」「高い・低い」「広い・狭い」を判断する。 ・ 普遍単位mm、cm、m、kmが実際に使われている場面を知ったり、実際に身の回りで使われているものを探したりする。また、普遍単位を用いて「1学期より2学期の方が身長が1cm伸びた」等、普遍単位で表すことの良さを知る。
	15	(知及技)ものの形に着目し、身の回りにもあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。【小3段階Bア㉔㉕】 直線、三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角形、円、球について知ることができる。【中1段階Bア㉔㉕】 (思判表力)身の回りにもあるものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする。【小3段階Bア㉔】 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。【中1段階Bア㉔】 (学・人)身近にあるものの形を図形として捉え、学習した言葉を用いて表現することができる。【高1段階】	(知・技)身の回りにもあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。様々な図形の名称を知り、同じ形を選ぼうとしている。 (思・判・表)色板や画用紙、折り紙、棒、積み木等を使用して見本の形を真似たり、自由に想像したりして具体物に似せた形をつくることに取り組んでいる。 (主学)ものを図形として捉えて表現しようとしている。	○図形 ・身の回りにもあるものの形 ・色々な図形の名前 ・作ってみよう	○図形 ・「同じ形に分けよう」 - 身の回りにもあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。様々な図形の名称を知り、複数の図形の中から特徴を捉えて同じ形を選ぶ。 ・ 形をつくろう (見本構成) - 色板や画用紙、折り紙、棒、積み木等を使用して見本の形を真似たり、自由に想像したりして具体物に似せた形をつくる。 ・ 図形を探そう - 身近にあるものの形を図形として捉える。
	15	(知及技)日常生活の中で時刻を読み、時間の単位 (日、午前、午後、時、分、秒) について知り、それらの関係を理解する。【小3段階Cイ㉔㉕】 【中1段階Cイ㉔】 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結びつけて表現することができる。【小3段階Cイ㉔】 (学・人)日付や時刻を表現することに興味を持って取り組んだり、時刻を使うことの有用性、必要性に気付くことができる。【高1段階】	(知・技)今日の日付を表現したり、カレンダーから選んだりしている。時刻を読んだり、絵カード等を選ぶことができる。 (思・判・表)長針と短針の意味を理解して正時を表現しようとしている。一日の時間の流れに沿って、活動イラストを貼り付けている。 (主学)日付や時刻を表現することに興味を持って取り組んだり、時刻を使うことの良さに気付いている。【高1段階】	○測定 ・カレンダーワーク ・午前・午後 ・時刻や時間 ・時計を使おう	○測定 ・「カレンダーワーク」 - 今日が何月何日であるかを表現できるようにする。登校日や休日、公休日等を理解し、カレンダーを活用できるようにする。 ・ 「午前・午後」 - 時間の単位 (日、午前、午後) について知る。日常生活の中で、午前・午後の判断をする。 ・ 「時刻や時間」 - 時間の単位 (時、分、秒) について知り、長針と短針の示す意味を理解して模擬時計やiPadのアプリ等を使って時刻を読む練習をしたり、メトロノームに合わせて手拍子したり、ストップウォッチで時間びたりゲーム等を行って秒の感覚を身につけたりする。
3 学 期	12	(知及技)身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。【小2段階Dア㉔】 (思判表力)身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心に向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。【小2段階Dア㉔】 (学・人)教師と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。【高1段階】	(知・技)身近なものを色や形、大きさ等見た目ではなく目的、用途、機能に着目して分類しようとしている。 (思・判・表)共通点や相違点を考えている。 (主学)教師や生徒とコミュニケーションを図りながら、共通点や相違点について一緒に考えて分類しようとしている。	○データの活用 ・わけてみよう ・共通点を考えてみよう	○データの活用 ・「わけてみよう」 - 設定されたテーマに合う・合わないの選択をする。また、テーマに属する絵カードを分類している。 ・ 「共通点を考えてみよう」 - 複数のものを比べて、共通する目的、用途、機能を見つける。
	9	(知及技)ものやデータを簡単な絵や図、記号に置き換えて表したり、簡単な表やグラフに表したり読み取ったりすることができる。【小3段階Dア㉔㉕】 【中1段階Dア㉔】 (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。【小3段階Dア㉔】 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。【中1段階Dア㉔】 (学・人)記号等を用いたり、別のものを対応させることにより事象を簡潔に表現できることの良さに気付くことができる。【高1段階】	(知・技)ゲームの結果や整理したい事項を磁石、シール、○・×、マーク等で表やグラフに表している。 (思・判・表)表やグラフから同等・多少を読み取ったり、特徴を考察したりしている。 (主学)記号等を用いたり、代替するものを対応させることにより事象を簡潔に表現できることの良さに気付いている。	○データの活用 ・同等と多少 ・○×を用いた表	○データの活用 ・「勝敗を決めよう」 - ボウリング遊びの結果をシールや磁石で表す等、ものともを対応させることで、ものの同等や多少を判断できるようにする。身近にあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。 ・ 「○×を用いた表」 - 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表を作成する。「○×」の意味を知る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3単位 105		2学年28名		数学科	くらしに役立つ数学
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高2段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。 職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解できる。小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。(高1段階Aキ④⑤) 小数の乗法及び除法の計算ができる。(高1段階Aク④) (思判表力) 小数の数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高1段階Aキ⑦ク⑦) (学・人) 日常の事象から数学の問題を見だしで解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。(高1段階)	(知・技) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを理解している。小数の加法及び減法の計算は、小数点を揃えて位ごとに計算し、整数と同じ原理、手順でできることを理解できている。小数の乗法及び除法の計算では、小数点の位置に着目してこれを移動し、整数に置き換えれば、整数の計算と同様な考え方で積や商を求めることができる。 (思・判・表) 小数の大小比較や計算についても整数と同じ考え方でできることに気付いている。 (主学) 身の回りにある小数で表された量に気付き、それらの量を合わせたり、差を求めたりしながら、日常生活で生かすことができる。	【A数と計算】 ・小数とその計算 ・小数の乗法及び除法	○数と計算 ・小数の位取りの原理、小数の構成 ・小数も整数と同じ十進構造になっていること ・小数の順序、大小関係、相対的な大きさ、多面的な見方 ・小数を10倍、1/10にしたときの数の表し方 ・小数の加減計算と筆算形式（小数第二位以下） ・小数に整数をかける乗法と筆算形式 ・小数を整数でわる除法と筆算形式
	25	(知及技) 図形の合同について理解することができる。(高1段階Bア④) 縮図や拡大図、対称な図形について理解することができる。(高2段階Bア⑦⑧) (思判表力) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。(高2段階Bア④) (学・人) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動ができる。(高1段階)	(知・技) 形も大きさも同じ図形をぴったり重ねる活動などを通して、図形の合同について理解できている。縮図や拡大図の意味や特徴について、作図を通して理解できている。線対称、点対称の意味について観察や構成、作図などの活動を通して理解できている。 (思・判・表) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目して、与えられた図形と合同な図形をいかに構成すればよいかを考察できている。 (主学) 身の回りの図形や建物などに対し、均整のとれた美しさ、安定性など、図形のもつ美しさを見だし、図形の理解を深め、図形に対する感覚を豊かにできている。	【B図形】 ・平面図形	○図形 ・合同の意味、合同な図形の弁別 ・合同な図形の性質 ・合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩 ・合同な四角形の作図と、四角形の決定条件の初歩 ・拡大図、縮図の意味と性質（対応する辺の長さや角の大きさ） ・拡大図、縮図のかき方 ・線対称な図形、対称の軸の概念 ・線対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方 ・点対称な図形、対称の中心の概念 ・点対称な図形の性質（対応する点、辺、角）とかき方

2 学 期	17	（知及技）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。（高1段階B工㉔）円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階Bウ㉔） （思判表力）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高1段階B工㉔）（高2段階Bウ㉔） （学・人）問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動ができる。（高1段階）	（知・技）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、長方形や正方形の面積の求め方に帰着して計算によって求めることができる。円の面積の公式を理解し、円の面積を計算によって求めることができる。 （思・判・表）既習の計算による求積が可能な図形の半分であるとみたり、既習の計算による求積が可能な図形に分割して考えたりする中で、面積を求めようとしている。円のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのか、振り返って考えている。 （主学）既習の計算による求積が可能な図形に分割して考えたりする中で、数学的な見方・考え方を働かせて、生徒が自ら工夫して面積を求めることができる。	【B図形】 ・平面図形の面積	○図形 ・平行四辺形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・円の面積の求め方と面積公式
	10	（知及技）数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読みだることができる。また、円グラフや帯グラフの意味や用い方を理解することができる。（高1段階Dア㉔㉕） （思判表力）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について考察することができる。（高1段階Dア㉔） （学・人）数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動ができる。（高1段階）	（知・技）数量の関係を割合で捉え、基準量と比較量との関係を円グラフや帯グラフで表すことができる。 （思・判・表）データの種類や項目の数を考え、目的に応じて、これまで学習してきた簡単な表や二次元の表、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフといった表現から適切なものを選択して表してみることで、データの特徴や傾向をつかみ読み取っていくようにする。 （主学）身の回りの事象について、その事象の因果関係や傾向を漠然と捉えるだけでなく、データに基づいて判断する統計的な問題解決の方法を知り、その方法で考察していくことができる。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析	○データの活用 ・帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、かき方
3 学 期	17	（知及技）平均の意味や求め方を理解することができる。（高1段階Dイ㉔）代表値の意味や求め方を理解することができる。（高2段階Dア㉔） （思判表力）概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察することができる。（高1段階Dイ㉔）また、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができる。（高2段階Dア㉔） （学・人）日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。（高2段階）	（知・技）平均の意味や求め方を理解できている。データ全体を表す指標として平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味を理解し、用いることができる。 （思・判・表）平均の考え方をを用いて、それを妥当な数値として示し、全体の傾向を捉えようとしている。一つの数値で表すことで、データの特徴を簡潔に表すことができることに気付いている。資料の特徴や代表値を用いる目的を明らかにしながら、どのような代表値を用いるべきかを判断できている。 （主学）平均や代表値の考えを他の学習場面をはじめ、日常生活に生かすことができる。	【Dデータの活用】 ・測定した結果を平均する方法	○データの活用 ・平均の意味と求め方 ・平均から全体量を求める方法 ・測定したデータから平均を求める方法 ・外れ値を除いた平均の求め方 ・代表値としての平均 ・最頻値 ・中央値
留意点 引継ぎ等					

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3単位 105時間		2学年6人		数学科	ゆっくり学ぶための　さんすう2
目標：（知及技）知識及び技能　　　　　（思判表力）思考力、判断力、表現力等　　　　　（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能　　　　　（思・判・表）思考・判断・表現　　　　　（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表す力を身に付けるようにする。（高1段階） （学・人）数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	（知及技）数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。【小3段階Aア④】 （思判表力）数の大きさの比べ方、表し方を考えることができる。【小3段階Aア⑦】 （学・人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	（知・技）100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしている。 （思・判・表）相手が出したカードと比べてどちらが大きいのか判断している。また、どちらの商品が安い判断している。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○数と計算 ・100までの数の表し方 ・数の大きさを比べてみよう	○「100までの数の表し方」 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べる。 ○「数の大きさを比べてみよう」 100円までの数が書かれたカードを使って、どちらが安い判断する。また、商品の値段と手元にあるお金を比べて購入できるかどうかを判断する。
	9	（知及技）4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について、理解することができる。【中2段階Aア⑦】 （思判表力）数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。【中2段階Aア⑦】 （学・人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	（知・技）千円、百円、十円、一円を種類別で数えて各位の数を表している。 （思・判・表）3位数までの考え方を基に、十でまとまると一つ大きな位に数を記入する等、十進位取記数法の特徴を理解しようとしている。 （主学）4位数で表される数が身近にある事に気付いている。	○数と計算 ・10000までの数の数え方や表し方、構成	○数と計算 ・4位数を表現しよう 模擬貨幣の千円、百円、十円、一円を種類別で数えて4位数を表す。 ・4位数を見つけよう テラシ等を活用して、4位数を探す活動を行う。 ・変身するお金？ 一円玉十枚と十円玉一枚が同じ価値であることを示して、十進位取記数法では十でまとまると一つ大きな位に数の表記がうつっていくことを知る。百の位、千の位についても同様にを行う。
	9	（知及技）加法が用いられる合併や増加等、減法が用いられる求残や減少等の場合について理解する。【小3段階Aイ⑦⑧】 大きな数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解することができる。【高1段階Aエ⑦】 （思判表力）数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。【高1段階Aエ⑦】 （学・人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	（知・技）1位数同士の足し算、引き算の記号（＋、－）が表す意味を理解して答えている。 （思・判・表）2位数以上の加減法の筆算は位ごとに計算することを確認している。 （主学）買い物の計算練習等において計算機を活用している。合計は足し算、おつりは引き算でできることを理解し、活用しようとしている。	○数と計算 ・足し算 ・引き算 ・計算機の使い方	○数と計算 ・足し算（1位数同士）「あわせていくつ」「ふえるといくつ」「ぜんぶでいくつ」 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、1位数同士の加法の計算をする。 ・引き算（1位数同士）「残りはいくつ？（求残）」「違いはいくつ？（求差）」 減法の意味（求残、求差）を理解し、1位数同士の減法の計算をする。 ・大きな数の加減法の筆算 繰り上がりのない足し算、繰り下がりのない引き算の筆算は位ごとに計算することを知る。 ・買い物等における具体的な生活場面での計算機の使用方法を学ぶ。
	9	（知及技）端数部分の大きさを表すのに小数を用いることや小数が整数と同じ仕組みで表されていること、小数の加法及び減法の意味や計算の仕方を知ることができる。【中2段階Aオ⑦】【高1段階Aキ④⑤】 （思判表力）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすことができる。【高1段階Aキ⑦】 （学・人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	（知・技）1に満たない端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを確認している。小数も十進位取記数法で表されることや加減法の考え方が整数と同じであることを確認している。 （思・判・表）小数を使って身近なものの量を表現しようとしている。 （主学）身近な場面で小数が使われていることに気付き、小数を使うことの必要性を感じている。	○数と計算 ・小数の表し方 ・小数の加減法 ・小数を見つけよう	○数と計算 ・「小数の表し方」 1に満たない端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを確認する。実際の測定等を通して小数を用いて数を表現する。 ・「小数の加減法」 小数も十進位取記数法で表されることや加減法の考え方が整数と同じであることを確認する。 ・「小数を見つけよう」 身近にある小数を見つける。

2 学 期	9	(知及技) 概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる【高1段階Aウ㉔㉕】 (思判表力) 日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えたとともに、それを日常生活に生かすことができる。【高1段階Aウ㉔】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	(知・技) 概数が用いられる場面や四捨五入について知ろうとしている。 (思・判・表) 概数を用いると数の大きさが捉えやすくなることや物事の判断や処理が容易になることに気付いている。 (主学) 切り上げの考え方が買い物の時に有用であることを理解して活用しようとしている。	○数と計算 ・切り上げ、切り捨て、四捨五入 ・概数	○数と計算 ・野球場の入場者数や市の人口等のおよその数の表し方 ・「切り捨て」や「切り上げ」の意味 ・四捨五入の意味や方法 ・「買えるかな？」 商品の金額を切り上げて購入金額を見積もり、手持ちのお金の金額と比べて購入できるかどうかを判断する。
	12	(知及技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。【小3段階Bア㉔㉕】 (思判表力) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。【小3段階Bア㉔】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	(知・技) 身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 (思・判・表) 色板や画用紙、折り紙、棒、積み木等を使用して見本の形を真似たり、自由に想像したりして具体物に似せた形をつくることに取り組んでいる。 (主学) 身近にあるものの形を図形として捉えて表現しようとしている。	○図形 ・身の回りにあるものの形 ・形をつくろう（見本構成） ・図形を探そう	○図形 ・「身の回りにあるものの形」 身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 ・「形をつくろう（見本構成）」 色板や画用紙、折り紙、棒、積み木等を使用して見本の形を真似たり、自由に想像したりして具体物に似せた形をつくる。 ・「図形を探そう」 身近にあるものの形を図形として捉える。
	12	(知及技) 直線の垂直や平行、平行四辺形、ひし形、台形、立方体、直方体、見取図、展開図、多角形の簡単な性質について知ることができる。【中2段階Bア㉔】【高1段階Bイ㉔㉕】 (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。【高1段階Bア㉔】 (学・人) 教師と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。【高1段階】	(知・技) 様々な図形の名称を知り、提示された図形と同じ図形を選ぼうとしている。正しい展開図を組み立てると箱ができることを理解している。 (思・判・表) 三角形、四角形の辺の数や頂点の数を調べようとしている。箱の形を「立方体」「直方体」と表現する等、学習した言葉を用いて既習の図形を表現しようとしている。 (主学) 教師や他の生徒と協力して身近にある図形探しを行っている。	○図形 ・同じ形を選ぼう ・箱を作ってみよう ・多角形の特徴を調べよう - 三 ・図形を探そう	○図形 ・「同じ形を選ぼう」 様々な図形の名称を知り、提示された図形の特徴を捉えて複数の図形の中から同じ図形を選ぶ。 ・「箱を作ってみよう」 切り取られた展開図を組み立てて箱を作る。正しい展開図と正しくない展開図があることを確認する。 ・「多角形の特徴を調べよう」 三角形や四角形の辺の数や頂点の数を調べる。五角形や六角形にも挑戦してみる。 ・「図形を探そう」 身近にあるものの形を図形として捉える。
	9	(知及技) 傾斜を作ると角ができることを理解することができる。【小3段階Bイ㉔】 (思判表力) 傾斜が変化したときの傾斜と側面の作り出す開き具合について、大きい小さいを表現することができる。【小3段階Bイ㉔】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	(知・技) 傾斜ができると、具体物がそれに沿って動くことに着目している。 (思・判・表) 底面と斜面によってできた角について、大きい、小さいと表現している。 (主学) 数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○図形 ・角の大きさ	○図形 ・「ボールを転がしてみよう」 傾斜ができると具体物が動くことを知り、傾斜をつくると角ができることを理解する。傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現する。
	9	(知及技) 日常生活の中で時刻を読み、時間の単位（日、午前、午後、時、分、秒）について知り、それらの関係を理解することができる。【小3段階Cイ㉔㉕】【中1段階Cイ㉔】 (思判表力) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結びつけて表現することができる。【小3段階Cイ㉔】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	(知・技) 今日の日付を表現したり、カレンダーから選んだりしている。時刻を読んだり、絵カード等を選ぶことができる。 (思・判・表) 長針と短針の意味を理解して正時を表現しようとしている。一日の時間の流れに沿って、活動イラストを貼り付けている。 (主学) 日付や時刻を表現することに興味を持って取り組んだり、時刻を使うことの良さに気付いている。【高1段階】	○測定 ・カレンダーワーク ・午前・午後 ・時刻や時間 ・時計を使おう	○測定 ・「カレンダーワーク」 今日が何月何日であるかを表現できるようにする。登校日や休日、公休日等を理解し、カレンダーを活用できるようにする。 ・「午前・午後」 時間の単位（日、午前、午後）について知る。日常生活の中で、午前・午後の判断をする。 ・「時刻や時間」 時間の単位（時、分、秒）について知り、長針と短針の示す意味を理解して模擬時計やiPadのアプリ等を使って時刻を読む練習をしたり、メトロノームに合わせて手拍子したり、ストップウォッチで時間ぴったりゲーム等を行って秒の感覚を身につけたりする。 ・「時計を使おう」 一日の時間の流れに沿って活動をイラストを貼り付けることで時刻の有用性、必要性を感じられるようにする。

3 学 期	9	（知・技）ものとの対応や物の個数について、簡単な絵や図に表して整理することができる。【小3段階Dア㊟】 データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすることができる。【中2段階Dア㊟】 （思・判・表）身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。【中2段階Dア㊟】 （学・人）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組むことができる。（高1段階）	（知・技）ゲームの結果や整理した事項を磁石、マーク等で表やグラフに表している。板磁石を用いて棒グラフを作成しようとしている。 （思・判・表）表やグラフから同等・多少を読み取ったり、特徴を考察したりしている。 （主・学）記号等を用いたり、代替するものを対応させることにより事象を簡潔に表現できることの良さに気付いている。	○データの活用 ・ものとの対応 ・同等と多少 ・データを整理しよう ・棒グラフ	○データの活用 ・「勝敗を決めよう」 ボウリング遊びの結果をシールや磁石で表す等、ものとの対応させることで、ものの同等や多少を判断できるようにする。身近にあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。 ・「データを整理しよう」 毎日の天気調べを行う際に、晴れマーク、曇りマーク、雨マーク等を種類ごとに並べ、整理する。 ・「棒グラフ」 板磁石を活用して、棒グラフを作り、棒グラフの視覚的な有用性を感じる。
	9	（知・技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解して比較したり、身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つかで大きさを比較することができる。【小3段階Cア㊟】 かさの単位mL、dL、Lについて知り、測定の意味を理解することができる。【中1段階Cア㊟】 （思・判・表）身の回りのものの長さ・広さ及びかさについて、その単位に着目し大小を比較したり、表現したりすることができる。【小3段階Cア㊟】 身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中1段階Cア㊟】 （学・人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。（高1段階）	（知・技）長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と2辺を揃えて並べている。かさについて、同じ大きさの空のカップを使って比べている。かさの単位mL、dL、Lが実際に使われている場面を知ろうとしている。 （思・判・表）長さ・広さについて、色板等を使い2つの比較物の「○個分」から、長い方（短い方）・広い方（狭い方）を選択している。かさについて、カップ「○個分」と表現している。 （主・学）測定する活動に主体的に参加している。	○測定 身の回りのものの量の単位と測定	○測定 ・直接比較で比べよう 直接比べられるものを用いて、比較を行う。端をそろえて長さを比べたり、2辺をそろえて広さを比べたり、天秤等を用いて重さを比べたりする。 ・「□個分で長さ・広さ・かさを比べよう」 直接比べられないものを身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つかで長さ・広さ・かさの大きさを比較する。 ・普遍単位mL、dL、Lが実際に使われている場面を知ったり、実際に身の回りで使われているものを探したりする。また、普遍単位を基準に数値化することにより量の大きさを的確に測定したりできることの有用性を知り、普遍単位を用いることの良さを知る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程A類型） 数学科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3 / 105		3 学年（ 4 4 名）		数学科	くらしに役立つ数学
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力、人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）数量や図形について基礎的・基本的な概念や性質を理解し事象を数学的に解釈したり、表現・処理する技能を身に付けることができる。（高2段階） （思判表力）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表す力を身に付けることができる。（高2段階） （学・人） 数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら事象の解決に取り組むことができる。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知及技）分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを理解できる。分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。（高1段階㉔㉕㉖㉗） （思判表力）数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えることができる。（高1段階㉔㉕） （学・人） 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動ができる。（高1段階）	（知・技）分数の意味や表し方について理解できている。単位分数の個数に着目することによって、分数の大きさを比べ、整数と同じように、分数でも計算ができている。 （思・判・表）単位分数に着目して、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えることができる。 （主学） 分数の計算が日常生活にも使えることに気づき、分数を用いた数の処理や分数の見方を日常生活に生かそうとしている。	【A数と計算】 ・分数とその計算	○数と計算 ・真分数、仮分数、帯分数の概念、構成 ・分数の相等関係と大小比較 ・同分母分数の加減計算
	26	（知及技）分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。異分母の分数の加法及び減法 分数の乗法及び除法の計算ができる。（高2段階㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟） （思判表力）数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察できる。分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えることができる。数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。（高2段階㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟） （学・人） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。（高2段階）	（知・技）具体的な操作を行うことで、分数の相等及び大小について行うことができる。分数の性質や通分、約分の意味を理解し、異分母の分数の加法及び減法の計算ができている。 （思・判・表）単位分数に着目して、異分母の分数の相等及び大小関係や、加法及び減法の計算の仕方を図や式などを用いて考えている。 （主学） 異分母の分数の相等及び大小関係や、加法及び減法の計算に通分を用いたことを振り返り、そのよさに気づいて今後の学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・分数 ・分数の加法及び減法 ・分数の乗法及び除法	○数と計算 ・約分の意味とその方法 ・通分の意味とその方法 ・異分母分数の加法、減法の計算 ・分数に整数をかけることの意味と計算の仕方 ・分数を整数でわることの意味と計算の仕方 ・逆数の意味

2 学 期	22	（知及技）直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解できる。（高1段階Bイ④）ものの位置の表し方について理解できる。（高1段階Bウ⑦） （思判表力）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察している。（高1段階Bイ⑦）平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。（高1段階Bウ⑦） （学・人）日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。（高2段階）	（知・技）具体物を使って、直線や平面の平行や垂直の関係について理解できている。基準となる場所を決め、平面上や空間でものの位置を表している。 （思・判・表）具体物を調べる活動を通して、それを構成する要素（頂点、辺、面）に着目し、平行及び垂直の関係について考察している。平面上にあるものの位置は二つの要素で、空間の中にあるものの位置の表し方について三つの要素で特定できることを知り、その位置を表現するには数をどのように活用すればよいかを考察している。 （主学）身の回りにある事象について学んだことを生かし、平面や空間の中にあるものの位置を表そうとしている。	【B図形】 ・立体図形 ・ものの位置	○図形 ・直線の垂直、平行の概念とひき方 ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行） ・平面上や空間にある点の位置の表し方
	20	（知及技）基本的な角柱や円柱について知ることができる。（高1段階Bイ④）立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解し、基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階Bエ④⑤） （思判表力）図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高2段階Bエ④） （学・人）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動ができる。（高2段階）	（知・技）角柱や円柱の構成要素である頂点や辺や面の個数や面の形を捉えている。立方体及び直方体や、基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。 （思・判・表）図形を構成する要素である底面、側面に着目し、図形の性質を見いだすことができている。基本図形の体積の求め方を見いだし、簡潔かつ的確な表現を考え、公式として導こうとしている。 （主学）角柱や円柱についての理解を深め、空間についての感覚を豊かにしている。日常の事象を図形の性質から捉え直し、数学的に表現しようとしている。	【B図形】 ・立体図形	○図形 ・角柱、円柱の概念、特徴、性質 ・角柱、円柱の見取図、展開図 ・角柱、円柱の体積公式
	14	（知及技）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解することができる。約数、倍数について理解することができる。（高2段階Aア⑦④） （思判表力）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考えることができる。（高2段階Aア⑦） （学・人）数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動ができる。（高2段階）	（知・技）倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めることができる。 （思・判・表）乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。 （主学）観点を決めて整数を類別したり、類別した数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。	【A数と計算】 ・整数の性質及び整数の構成	○数と計算 ・偶数、奇数の意味とその類別 ・倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方

3 学 期	5	（知・技）数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。数量の関係を表す式についての理解を深めることができる。（高1段階Aコ㊦㊧） （思・判・表）二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。（高1段階Aコ㊩） （学・人）日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。（高2段階）	（知・技）伴って変わる二つの数量の関係を表などを用いて調べながら読み取ったり、対応の関係や変化の関係を、□や△などの記号や言葉を用いたりして表している。 （思・判・表）伴って変わる二つの数量の対応や変化の特徴について表などを用いて調べ、考察している。 （主・学）買い物など日常生活等の場面で数学の問題を見だし、学んだことを生かして解決したり、結果を確かめたりしている。	【A数と計算】 ・数量の関係を表す式	○数と計算 ・2つの数量の対応関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりすること
	8	（知・技）起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。（高2段階Dイ㊦） （思・判・表）事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。（高2段階Dイ㊧） （学・人）日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動ができる。（高2段階）	（知・技）起こりうる場合を整理するために図や表を用いる方法があることを理解している。 （思・判・表）事象の特徴に着目し、順列や組合せについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表すなどして、順序よく筋道立てて考察することができる。 （主・学）起こりうる場合を整理するために図や表などを用いて工夫したり、落ちや重なりがないように調べた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【Dデータの活用】 ・起こりうる場合の数	○データの活用 ・起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程B類型） 数学科年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
3単位 105時間		3学年 9名	数学科	ゆっくり学ぶ子のための さんすう3	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技)数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。【小3段階Aア㊦】 (思判表力)数の大きさの比べ方、表し方を考えることができる。【小3段階Aア㊧】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしている。 (思・判・表)相手が出したカードと比べてどちらが大きいのか判断している。また、どちらの商品が安い判断している。 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○数と計算 ・100までの数の表し方 ・数の大きさを比べてみよう	○「100までの数の表し方」 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べる。 ○「数の大きさを比べてみよう」 100円までの数が書かれたカードを使って、どちらが安い判断する。また、商品の値段と手元にあるお金を比べて購入できるかどうかを判断する。
	6	(知及技)万、億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。【高1段階Aア㊮㊯】 (思判表力)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えたとともに、それらを日常生活に生かすことができる。【高1段階Aア㊮】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)万、億、兆という大きな数を表す単位があることを確認している。 (思・判・表)どんなに大きな数でも十でまとまると一つ大きな位に数を記入する等、十進位取記数法の特徴を理解しようとしている。 (主学)万、億、兆が使われている場面を知ろうとしている。	○数と計算 ・大きな数	○数と計算 ・大きな数を表す単位を知り、教師と一緒に大きな数を読んでみる。万、億、兆が使われている場面を知る。
	9	(知及技)整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解することができる。【高2段階Aア㊰】 (思判表力)観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができる。【高2段階Aア㊱】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)奇数と偶数の意味を理解している。 (思・判・表)一の位が奇数か偶数かでその数か奇数か偶数かを判断できることを知り、教師と一緒に奇数、偶数を判断しようとしている。 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○数と計算 ・奇数、偶数	○数と計算 ・奇数と偶数について知り、教師と一緒に奇数、偶数が判断できるようになる。
	9	(知及技)1/2、1/4 など簡単な分数について知り、分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知る。【中2段階Aカ㊲】 【高1段階Aケ㊳】 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について知ることができる。【高1段階Aケ㊴】 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすことができる。【中2段階Aカ㊳】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)1/2、1/4 など簡単な分数について知り、分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知ろうとしている。簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について教師と一緒に考えている。 (思・判・表)分数を用いると、もとの量を1として、比較量を相対的に表すことができることの面白さを感じている。 (主学)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けようとしている。	○数と計算 ・分数の意味と表し方 ・分数の加法・減法	○数と計算 ・「等分してみよう」 折り紙やひも、計量カップや計量スプーンで半分の大きさを作ったり量ったりして1/2の意味を知る。それをさらに半分にした大きさを作ったり量ったりしながら分数の意味や表し方について実感的に理解できるようにする。 ・分数の加法・減法 具体物を用いて、分数の加法・減法の考え方を知る。

	6	(知及技)ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。【小3段階Bア④】 基本的な図形が分かり、その図形をかいいたり、簡単な図表を作ったりすることができる。【中1段階Bア⑦】 (思判表力)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。【中1段階Bア⑦】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。格子状に並んだ点を線でつないで三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角形をかこうとしている。 (思・判・表)ひごを並べたり、紙を折ったり、色板を並べたりする活動を通して、体験的に図形を構成する要素を捉えようとしている。 (主学)身近にあるものの形を図形として捉えて表現しようとしている。	○図形 - 身の回りにあるものの形 - 形をつくろう - 図形を探そう	○図形 「身の回りにあるものの形」 身の回りにあるものの特徴を捉え、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 ・「形をつくろう」 格子状に並んだ点を線でつないで三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角形をかこうとしている。ひごを並べたり、紙を折ったり、色板を並べたりする活動を通して、体験的に図形を構成する要素を捉えようとしている。 ・「図形を探そう」 身近にあるものの形を図形として捉える。
	9	(知及技)図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同、縮図や拡大図、対象な図形について理解することができる。【高1段階Bア④】 【高2段階Bア⑦⑧】 (思判表力)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすることができる。【高2段階Bア⑦】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)図形を重ねてびったり(合同)かどうかを判断している。 (思・判・表)縮図や拡大図、線対称な図形、点対称な図形で角の大きさや辺の長さを比べている。身の回りのものに着目して、線対称または点対称になっていないかを考えている。 (主学)2つの図形を重ねたり、折り曲げたり回転させたりして対称を判断する活動に興味を持って学習に取り組んでいる。	○図形 - 合同な図形 - 縮図・拡大図 - 線対称・点対称	○図形 「合同な図形」 2つの図形がびったり重なる時に「合同」と表現することを知る。 ・「縮図・拡大図」 iPadの画面を縮小したり、拡大したりして、縮図や拡大図について理解する。縮図や拡大図では、対応する角の大きさは等しいが、対応する辺の長さは異なる(比は一定である)ことに気付く。 ・「線対称・点対称」 図形を対称の軸で折り曲げてびったり重なる時に「線対称である」と表現することを知る。図形を対称の中心で回転させてびったり重なる時に「点対称である」と表現することを知る。線対称・点対称である図形は対応する辺の長さ、角の大きさが等しいことに気付く。身の回りの物に線対称・点対称なものがないか探す。
	9	(知及技)前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。【小3段階Bア②】 平面や空間のものの位置の表し方について理解することができる。【高1段階Bウ②】 (思判表力)平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察することができる。【高1段階Bウ②】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物を操作したりしている。平面上にあるものの位置は二つの要素、空間の中にあるものの位置は三つの要素で決まることを知っている。 (思・判・表)右(左)から何番目、上(下)から何番目、という表現でものの位置を表そうとしている。 (主学)ものの位置を表す活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○図形 ものの位置	○図形 位置を表す言葉「前後、左右、上下」 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物を操作する。 ・「靴箱の位置を表そう」 右(左)から何番目、上(下)から何番目、という表現でものの位置を表す。
2 学 期	9	(知及技)体積の単位(立方センチメートル(cm)、立方メートル(m))について理解することができる。【高2段階Bエ⑦】 (思判表力)体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えることができる。【高2段階Bエ⑦】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)体積の単位を使って立体の体積を表現している。 (思・判・表)ブロックを積み重ねて体積を求めようとしている。 (主学)ブロックを積み重ねて体積を求める活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○図形 体積	○図形 体積を求めよう 体積の単位(立方センチメートル(cm)、立方メートル(m))を知る。立方体のブロックを1cmとして箱の中に積み重ねることにより体積を求める。
	9	(知及技)日常生活の中で時刻を読み、時間の単位(日、午前、午後、時、分、秒)について知り、それらの関係を理解することができる。【小3段階Cイ④⑦】 【中1段階Cイ④】 (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結びつけて表現することができる。【小3段階Cイ④】 (学・人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技)今日の日付を表現したり、カレンダーから選んだりしている。時刻を読んだり、絵カード等を選ぶことができる。 (思・判・表)長針と短針の意味を理解して正時を表現しようとしている。一日の時間の流れに沿って、活動イラストを貼り付けている。 (主学)日付や時刻を表現することに興味を持って取り組んだり、時刻を使うことの良さに気付いている。	○測定 - カレンダーワーク - 午前・午後 - 時刻や時間 - 時計を使おう	○測定 「カレンダーワーク」 今日が何月何日であるかを表現できるようにする。登校日や休日、公休日等を理解し、カレンダーを活用できるようにする。 ・「午前・午後」 時間の単位(日、午前、午後)について知る。日常生活の中で、午前・午後の判断をする。 ・「時刻や時間」 時間の単位(時、分、秒)について知り、長針と短針の示す意味を理解して模擬時計やiPadのアプリ等を使って時刻を読む練習をしたり、メトロノームに合わせて手拍子したり、ストップウォッチで時間ぴったりゲーム等を行って秒の感覚を身に付けたりする。 ・「時計を使おう」 一日の時間の流れに沿って活動をイラストを貼り付けることで時刻の有用性、必要性を感じられるようにする。

	6	(知及技) 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。【高2段階Cイ㊟】 (思判表力) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて数量の關係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。【高2段階Cイ㊟】 (学・人) 教師と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。【高2段階】	(知・技) 凝縮液と水の比を3:2のように比を使って表そうとしている。 (思・判・表) 凝縮液を2倍、3倍にしたとき、水の量を2倍、3倍にすると良いことを理解している。 (主学) 教師と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組もうとしている。	○変化と関係 ・同じ濃さのジュースを作ってみよう	○二つの数量の關係 ・「同じ濃さのジュースを作ってみよう」凝縮液と水を使って、大きさの違うコップに同じ濃さのジュースを作るにはどうしたら良いかを考える。 ・等倍の考え方 図を用いて、一方が2倍になると、他方も2倍になることを理解できるようにする。
	6	(知及技) 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。【高1段階Cウ㊟】 (思判表力) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。【高1段階Cウ㊟】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高1段階】	(知・技) 百分率を用いた表現方法を知ろうとしている。 (思・判・表) (主学) 日常生活の中で用いられている百分率をチラシなどから見つける活動などを通して、百分率が日常生活の中で用いられている割合の便利な表現であることに気付いている。	○変化と関係 ・百分率の意味 ・チラシの中の割合探し	○変化と関係 ・「百分率の意味」 百分率の意味を知り、「定価の20%引き」「降水確率20%」など、割合が日常生活の中で用いられている便利な表現であることに気付く。 ・チラシの中の割合探し
	6	(知及技) ものともとの対応や物の個数について、簡単な絵や図に表して整理することができる。【小3段階Dア㊟】 データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすることができる。【中2段階Dア㊟】 (思判表力) 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。【中2段階Dア㊟】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) ゲームの結果や整理したい事項を磁石、マーク等で表やグラフに表している。板磁石を用いて棒グラフを作成しようとしている。 (思・判・表) 表やグラフから同等・多少を読み取ったり、特徴を考察したりしている。 (主学) 記号等を用いたり、代替するものを対応させることにより事象を簡潔に表現できることの良さに気付いている。	○データの活用 ・ものともとの対応 ・同等と多少 ・データを整理しよう ・棒グラフ	○データの活用 ・「ものともとの対応」「同等と多少」 ボウリング遊びの結果をシールや磁石で表す等、ものとものを対応させることで、ものの同等や多少を判断できるようにする。身近にあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。 ・「データを整理しよう」 毎日の天気調べを行う際に、晴れマーク、曇りマーク、雨マーク等を種類ごとに並べ、整理する。 ・「棒グラフ」 板磁石を活用して、棒グラフを作り、棒グラフの視覚的な有用性を感じる。
3学期	9	(知及技) 数量の關係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。【高1段階Dア㊟】 (思判表力) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。【高1段階Dア㊟】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技) 円グラフや帯グラフについて知ろうとしている。 (思・判・表) 全体と部分、部分と部分の關係を視覚的に捉えるのに、円グラフや帯グラフが有用であることに気付いている。 (主学) 数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○データの活用 ・円グラフ、帯グラフの読み方 ・複数の円グラフの比較、複数の帯グラフの比較	○データの活用 ・円グラフ、帯グラフの読み方 円グラフ、帯グラフのの読み方を知る。 ・「2つの円グラフを比べてみよう」「2つの帯グラフを比べてみよう」 同じテーマで複数の円グラフ、帯グラフを用意し、ある項目に着目して比較することで変化を読み取る。
	6	(知及技) 代表値の意味や求め方を理解することができる。【高2段階Dア㊟】 (思判表力) データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて考察することができる。【高2段階Dア㊟】 (学・人) 数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を身に付けることができる。【高2段階】	(知・技) ドットプロットを作成して中央値や最頻値を見つけようとしている。 (思・判・表) データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて考察しようとしている。 (主学) 数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	○データの活用 ・代表値(平均値、中央値、最頻値)	○データの活用 ・「代表値(平均値、中央値、最頻値)」 実際にゲームをしながら、丸いマグネットを使ってその結果をドットプロットに表し、視覚的な情報をもとに中央値や最頻値を求める。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	27名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階】			
		(思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階】			
		(学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中2段階】 (思判表力) 人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということが理解している。 (思・判・表) 人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることが理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思・判・表) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技) 人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高1段階】 (学・人) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思・判・表) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学 期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中1段階】 (思判表力) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思・判・表) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思・判・表) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3 学 期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高2段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思・判・表) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高等部 1 年（ II 課程 B 類型 ）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	12名	理科	イラストでわかる人体じてん

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階】			
		(思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階】			
		(学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中2段階】 (思判表力) 人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということが理解している。 (思・判・表) 人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることが理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思・判・表) 人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学) 人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2 学期	4	(知及技) 人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高1段階】 (学・人) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思・判・表) 人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学) 生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学 期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。 【中1段階】 (思判表力) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。 【中1段階】 (学・人) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思・判・表) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学) 身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのものが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのものが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思・判・表) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学) 植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかななどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3 学 期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高2段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思・判・表) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学) 生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	28名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階、高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階、高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階、高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中2段階】 (思判表力) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思・判・表) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と星	〇月や星についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高2段階】 (思・判・表) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と太陽	〇月と太陽についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学期	7	(知及技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高1段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思・判・表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高2段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思・判・表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
3 学期	4	(知及技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中2段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思・判・表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高1段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】 【思判表力】 【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程 B類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6名	理科	くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高1段階、高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高1段階、高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高1段階、高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中2段階】 (思判表力) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 月は日によって形が変わって見え1日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思・判・表) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学) 月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と星	〇月や星についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高2段階】 (思判表力) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高2段階】 (思・判・表) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学) 月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	〇月と太陽	〇月と太陽についての動画を視聴する。 〇iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 〇授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 〇クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2 学 期	7	(知及技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する可能性があることがわかる。【高1段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する可能性があることを理解している。 (思・判・表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化する可能性がある。【高2段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思・判・表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
3 学 期	4	(知及技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中2段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中2段階】 (学・人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中2段階】	(知・技) 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思・判・表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高1段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程 A類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	35名	理科	くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中1段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思・判・表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高1段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高1段階】 (学・人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思・判・表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高2段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思・判・表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
2学期	4	(知及技) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中1段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思・判・表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学 期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること理解している。 (思・判・表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高2段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3 学 期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高2段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思・判・表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高2段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思・判・表)てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてこその利用
通 年 を 通 し て 指 導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程 B類型）理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	9名	理科	くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高2段階】			
		(思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】			
		(学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中1段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思・判・表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高1段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べ、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高1段階】 (学・人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思・判・表)水や空気の体積や状態の変化について調べ、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高2段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べ、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思・判・表)燃焼の仕組みについて調べ、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
2 学期	4	(知及技) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中1段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現することができる。【中1段階】 (学・人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中1段階】	(知・技) 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思・判・表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べ、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学 期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高1段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】 (学・人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高1段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること理解している。 (思・判・表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高2段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3 学 期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高2段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思・判・表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高2段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高2段階】 (学・人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高2段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思・判・表)てこの規則性について調べる中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてこその利用
通 年 を 通 し て 指 導		単元名 植物の栽培 単元の目標 植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 植物の栽培、観察 単元名 天気と気温 単元の目標 日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容 天気の観察			

令和8年度 高学部 1年（Ⅱ課程A類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年	音楽科	くらしに役立つ音楽

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫ができている。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫ができている。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「姿勢や呼吸を意識して歌おう」 〔器楽〕 「リズムの変化を感じながら演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を創造しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)⑦範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。 ⑧呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (技能) (ウ)⑦の範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ⑧音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する
		〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫ができている。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫ができている。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「音の強弱や歌詞の意味を感じて歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔創作〕 「簡単な旋律やリズムを作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	(思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)⑦いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律に必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造との関わり (技能) (ウ)⑦曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ⑧設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせでまとまりのある表現をする技能 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する
2 学期	28				
3 学期	18	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「曲想を感じ、仲間とともに合唱しよう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「日本や諸外国の特徴を感じて、その魅力を味わおう」	B鑑賞 (知識) (イ)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く
留意点 ／引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高学部1年（Ⅱ課程B類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	1 学年	音楽科	おながく☆☆☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階） 〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階）	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫ができている。（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫ができている。（高等部1段階） 〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫ができている。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出し方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「楽器の鳴らし方を学ぼう」 〔身体表現〕 「音楽に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ⑧声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 （技能） （ウ）④呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ⑤互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ⑧多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）④音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 ⑤各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 （知識） （イ）⑦いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 ⑧音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 （技能） （ウ）④創意工夫を生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。
		〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階） B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。後半カット（高等部1段階） （思判表力） 前半カット 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階）	〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫ができている。（高等部1段階） B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲に合わせて歌おう」 〔器楽〕 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「リズム遊びをしよう」 〔鑑賞〕 「楽器の音色を聴いてみよう」 「季節の音楽を聴こう」	（技能） （ウ）④創意工夫を生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ⑧曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （ウ）④曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ⑤友達と動きを組み合わせる技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 （知識） （イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
3 学期	18	A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）	A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「世界各国の音楽を聴いてみよう」	B鑑賞 （知識） （イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高学部 2年（Ⅱ課程A類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年	音楽科	MOUSA 1、くらしに役立つ音楽

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階）	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） 〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） 〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「発音を意識しながら発声しよう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を想像しよう」	A表現〔歌唱〕 （知識） （イ）②曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 （技能） （ウ）④呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ②互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 （知識） （イ）②曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ④多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）④音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 ②各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 （知識） （イ）④いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 ④音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 （技能） （ウ）創意工夫を生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 （知識） （イ）②曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ④曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （ウ）②曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ②友達と動きを組み合わせる表現をする技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する
		〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲の構成や歌詞の意味を理解して歌おう」 〔器楽〕 「音色や響きを感じて合奏しよう」 〔創作〕 「フレーズや和音を意識して楽曲を作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	〔歌唱〕 「互いの声を響かせて合唱しよう」 〔器楽〕 「互いの音を聴き合いながら合奏しよう」 〔身体表現〕 「互いの動きを感じながら体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽を形作っている要素を理解して聴こう」	B鑑賞 （知識） （イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高学部2年（Ⅱ課程B類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年	音楽科	おんがく☆☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階）	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「拍に合わせて演奏しよう」 〔身体表現〕 「リズムを感じて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ⑧声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 （技能） （ウ）①呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ②互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。
		〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階）		〔器楽〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する ⑧多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）①音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける ②各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。	
2学期	28	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階）	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「みんなと一緒に歌おう」 〔器楽〕 「三線に挑戦しよう」 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「音を選んだりつなげてみよう」 〔鑑賞〕 「楽器や音色の特徴に気づいて鑑賞しよう」	〔創作〕 （知識） （イ）⑦いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する ⑧音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 （技能） （ウ）①創意工夫しを生かした表現で旋律に必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。
		〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部1段階）		〔身体表現〕 （知識） （イ）⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する ⑧曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （ウ）①曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ②友達と動きを組み合わせで表現する技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。	
3学期	18	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。後半カット（高等部1段階） （思判表力） 前半カット 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階）	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 「手話表現を体験しよう」 〔鑑賞〕 「世界各国の音楽を聴いてみよう」	B鑑賞 （知識） （イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
		A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）			
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、表現や鑑賞への取り組み、自己の振り返り等で評価する			

令和8年度 高学部 3年（Ⅱ課程A類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年	音楽科	MOUSA1、くらしに役立つ音楽

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高等部2段階) (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階)	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階)	〔歌唱〕 「曲の構成や歌詞の意味を理解して歌おう」 〔器楽〕 「多様な楽器の音色を感じて合奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴や変化から情景を想像しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 ⑧声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)⑦創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。 ⑧創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ⑧多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)⑦創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につける。 ⑧創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
		〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階)	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階)	〔歌唱〕 「諸外国の声楽曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう」 〔器楽〕 「曲想や音楽の構成を生かして合奏しよう」 〔創作〕 「イメージを表現した音楽を作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	〔創作〕 (知識) (イ)⑦音のつながり方の特徴を理解する。 ⑧音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)⑦曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ⑧曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)⑦曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ⑧設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能を身につける。 ⑨友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ)⑦曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを理解する。⑧音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階)	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階)	〔歌唱〕 「各声部の動きや全体の響きを感じながら合唱しよう」 〔身体表現〕 「動きを組み合わせたり友だちの動きに合わせてうごいたりして表現しよう」 〔鑑賞〕 「様々な音楽の歴史や背景を理解して聴こう」	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする(高等部2段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部2段階)
		B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする(高等部2段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部2段階)	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しようとしている。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。(高等部2段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものになっている(高等部2段階)	B鑑賞 (知識) (イ)⑦曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを理解する。⑧音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	
3学期	18				
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高学部3年（Ⅱ課程B類型） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年	音楽科	おながく☆☆☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。 （高等部1段階） （思判表力） 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （高等部1段階） （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。 （高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。 （高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階）	A表現〔歌唱〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 歌唱表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） 〔器楽〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 器楽表現を創意工夫することができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出し方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「打楽器・鍵盤楽器に挑戦しよう」 〔身体表現〕 「リズムの特徴や曲想を意識して体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 （知識） （イ）①曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ②声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 （技能） （ウ）①呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ②互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 （思判表力） （ア）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 （知識） （イ）①曲想と音楽の構造との関わりを理解する ②多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 （技能） （ウ）①音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける ②各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 （思判表力） （ア）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	28	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。 （高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。 （高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階）	〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 創作表現を創意工夫することができる。（高等部1段階） 〔身体表現〕 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部1段階） （思判表力） 身体表現を創意工夫することができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「歌詞をイメージして歌おう」 〔器楽〕 「好きな楽器に挑戦しよう」 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「音符をつなげて簡単なリズムや音楽を創ろう」 〔鑑賞〕 「楽器の特徴や音色の違いを聴いてみよう」	〔創作〕 （知識） （イ）①いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する ②音やフレーズのつながり方や重ね方の特徴を理解する。 （技能） （ウ）①創意工夫を生かした表現で旋律に必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 （思判表力） （ア）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 （知識） （イ）①曲想と音楽の構造との関わりを理解する ②曲想と体の動きとの関わりを理解する。 （技能） （ウ）①曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ②友達と動きを組み合わせる表現する技能を身につける。 （思判表力） （ア）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3学期	18	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）	B鑑賞 （知識） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。（高等部1段階） （思判表力） 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。（高等部1段階） A・表現、B鑑賞を通して （学・人） 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 「手話表現を体験しよう」 〔鑑賞〕 「自分のおすすめしたい曲を紹介しよう」 「友達好きな曲を聴いてみよう」	B鑑賞 （知識） （イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 （思判表力） （ア）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、表現や鑑賞への取り組み、自己の振り返り等で評価する			

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程 A類型）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部1年	美術科	新・高校生の美術1 （日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (高等部1段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部1段階） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表している。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近なものを描く	身近なものや愛着のある物を観察して、形や色、構造などの良さや面白さを見つけて描く。
	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩の基礎	生活の中の色 色光と色料の三原色 色の三属性
	10	(知及技) 形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な素材と立体表現(基本)	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（中2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えたりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す（基本の技法）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。

2 学期	12	(知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、メディア機器の機能や効果を用いて表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)メディアの機能を使って画像表現を工夫する。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○映像メディア表現 (簡単なアプリを使った画像)	表現効果を考えて、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成を創意工夫して画像を制作する。
3 学期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア))	(知・技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。 (思・判・表)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。 (主学)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。 【評価資料】活動の様子観察、作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。(中2段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。 (思・判・表)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○鑑賞 (身近な美術)	生活の中にある身近な作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程 B類型）美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部1年	美術科	アートって何だろう ～はじめてアートに出会う本～

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫することができる。（中1段階） （思判表力）造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。（中1段階） （学・人）美術の活動に楽しく取り組んで創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情や心豊かな生活を営む態度を身につけることができる。（中1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）材料や想像したこと、思ったことから描きたいもの、思い付き、色や形をもとにイメージする。（小3段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）好きなものを生き生きと表現する。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使おうとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）材料や想像したこと、思ったことから描きたいもの、思い付き、色や形をもとにイメージしようとする。（小3段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）好きなものを生き生きと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。（思判表力に関する活動） ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。（主学）
	8	（知及技）素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）材料や想像したこと、思ったことから表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （学・人）楽しく表現活動に取り組むことができる。	（知・技）素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）材料や想像したこと、思ったことから表したいことを発想しようとする。（小3段階：表現（ア）） （主学）楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう。 ～のり絵の具を使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、色が混ざると変化することを知る。（知及技に関する活動） ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。（思判表力に関する活動） ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。（主学）
	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （学・人）経験したことを思い出して描く。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使おうとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつくようとする。（小3段階：表現（ア）） （主学）経験したことを思い出して表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○校内実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、自分の作業の様子を描いたり写真を貼ったりして絵に表す。（思判表力に関する活動） ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。（主学）

2 学 期	15	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな表現方法を楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表し太鼓とを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （主学）いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○ステレン版画でもしろい模様を表現しよう	・ステレンボードを引っ掻いたり型押ししたりして、原画を作り、刷りまでの工程を理解する。インクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。（知・技に関する活動） ・線や形を組み合わせたり好きなものを並べたりして、おもしろい模様になるように考える。（思・判・表に関する活動） ・版画のおもしろさを味わう。（主学）
	13	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （主学）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な材料で張り子のお面を作ろう	・丸い型に習字紙やお花紙をのりで張り、自分の顔の目・鼻・口の配置を確認して形を作る。いろいろな材料で髪の毛や飾りを付ける。（知・技に関する活動） ・目・鼻・口の形を考えて作ったり、タックシールを張ったりして自分らしい顔を表現する。（思・判・表に関する活動） ・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。（主学）
3 学 期	10	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを思いつく。（小3段階：表現（ア）） （学・人）皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを考える。（小3段階：表現（ア）） （主学）皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせ、テーマに合った形を表現する。（知・技に関する活動） ・卒業式の意味やテーマについて知り、3年生をお祝いしたり応援する気持ちを表す。（思・判・表に関する活動） ・（主学）一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	8	（知及技）形や色などの特徴について知る。（中1段階：共通（ア）） （思判表力）自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージをもつ。（小3段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （学・人）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	（知・技）形や色などの特徴について知ろうとする。（中1段階：共通（ア）） （思・判・表）自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージを持つ。（小3段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （主学）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○自分や友達の作品を見てみよう ○身の回りの沖縄の工芸品を見てみよう ～自分のオリジナルシーサーに好きな色を塗ると～ ～お店みたいにお皿やシーサーを並べてみよう～	・自分や友達の作品を見比べて、色や形、表現の違いに気づく。身近にある沖縄の工芸品を見たり触ったりして、形や色の感じについて話し合う。（知・技に関する活動） ・自分の作品の色や形の面白さを理解し、身近にある沖縄の工芸品の形や色などをよく見たり触ったりして感じる。（思・判・表に関する活動） ・シーサーや沖縄の焼き物をぬりえやコラージュで楽しむ。（主学）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部2年（Ⅱ課程 A類型）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部2年	美術科	高校生の美術1 （日本文教出版）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部1段階） （思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部2段階） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	（知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） （思判表力）風景の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） （学・人）風景画を表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	（知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫している。 （思・判・表）風景の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 （主学）自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○風景を描く	身近な風景や写真、空想などを基に、構図などの効果を考え、構想を練ったりするとともに、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	（知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） （思判表力）基本的な色の仕組や性質を学び、効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） （学・人）色の性質や配色の工夫がもたらす効果を実作制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：共通事項(ア)(イ)）	（知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 （思・判・表）基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞している。 （主学）色の性質や配色の工夫がもたらす効果を実作制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩の工夫	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	（知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） （思判表力）素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） （学・人）使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	（知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 （思・判・表）素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 （主学）使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現の工夫	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	（知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） （思判表力）版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） （学・人）版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	（知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 （思・判・表）版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 （主学）版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す（技法の工夫）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。

2 学 期	12	(知及技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。 (思・判・表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○映像メディア表現 (写真・アニメーション)	iPadのアプリを使って写真やコマ撮りアニメなどの作品を制作する。 映像メディア機器の機能や効果を生かした作品作り
3 学 期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア))	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、美術文化の継承と想像について考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。 (思・判・表)作品のよさや美しさ、表現の特質、さまざまな美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞 (世界の美術)	美術作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部2年（Ⅱ課程 B類型）美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部2年	美術科	アートって何だろう ～はじめてアートに出会う本～

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫することができる。（高1段階） （思判表力）造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫などについて考え、美術に対する見方や感じ方を広げる。（高1段階） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を楽しむ態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技）材料や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使い、形や色の特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）経験したことや思ったこと材料をもとに、描きたいものを考え、色や形のイメージを持つ。（中1段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）好きなものをのびのびと表現する。	（知・技）材料や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、形や色の特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）経験したことや思ったこと材料をもとに、描きたいものを考え、色や形のイメージを持つ。（中1段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）好きなものをのびのびと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう～描いたり張ったりしてみよう～	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。（思判表力に関する活動） ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。（主学）
	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使い、色や材料の特徴を知る。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）造形的な特徴などからイメージをもつ。（中1段階：共通（イ）） （学・人）楽しく表現活動に取り組むことができる。	（知・技）素材や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使い、色や材料の特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）造形的な特徴などからイメージをもとうとする。（中1段階：共通（イ）） （主学）楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう～のり絵の具を使って～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、赤青黄色の絵の具が混ざると色が変わることを知る。（知・技に関する活動） ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。（思・判・表に関する活動） ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。（主学）
	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）経験したことや思ったことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。（中1段階：表現（ア）） （学・人）心に残ったことや頑張ったことを思い出して描く。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）経験したことや思ったことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。（中1段階：表現（ア）） （主学）心に残ったことや頑張ったことを表現しようとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○現場実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知・技に関する活動） ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、写真を貼ったり描いたりして表す。（思・判・表に関する活動） ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。（主学）

2 学 期	15	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中Ⅰ段階：表現(イ)) (思判表力) 材料などをもとに表したいことや表し方を考えて発想する。(中Ⅰ段階：表現(ア)) (学・人) いろいろな表現方法を楽しむ。	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。(中Ⅰ段階：表現(イ)) (思・判・表) 材料などをもとに表したいことや表し方を考えて発想しようとする。(中Ⅰ段階：表現(ア)) (主学) いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○紙版画でおもしろい模様を表現しよう	・いろいろな形の紙を切り貼りしたりシールやテープを貼って原画を作り、刷りまでの工程を理解する。インクをつけて刷ると作品の雰囲気に変化する様子を見る。(知・技に関する活動) ・線や形を組み合わせたたり好きなものを並べたりして、おもしろい模様になるように考える。(思・判・表に関する活動) ・版画のおもしろさを味わう。(主学)
	13	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。(中Ⅰ段階：表現(イ) 共通(ア)) (思判表力) 経験したことや思ったこと、材料をもとに表し方を考え発想して造形的な特徴からイメージをもつ。(中Ⅰ段階：表現(ア) 共通(イ)) (学・人) いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。(中Ⅰ段階：表現(イ) 共通(ア)) (思・判・表) 経験したことや思ったこと、材料をもとに表し方を考え発想して造形的な特徴からイメージをもとうとする。(中Ⅰ段階：表現(ア) 共通(イ)) (主学) いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○身近な材料で修学旅行の乗り物を作ろう	・身近にある空き箱や段ボールを組み合わせて、飛行機やバスの形を捉えて作り、テープを正しく使って接着する。(知・技に関する活動) ・修学旅行のことを想像しながら、色や形を自由に表現する。(思・判・表に関する活動) ・おもしろい飾りを付けたり、友達作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。(主学)
3 学 期	8	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知る。(中Ⅰ段階：表現(イ) 共通(ア)) (思判表力) 思ったことや材料などをもとに表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージをもつ。(中Ⅰ段階：表現(ア) 共通(イ)) (学・人) 皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知ろうとする。(中Ⅰ段階：表現(イ) 共通(ア)) (思・判・表) 思ったことや材料などをもとに表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージをもとうとする。(中Ⅰ段階：表現(ア) 共通(イ)) (主学) 皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせ、テーマに合った形を表現する。(知・技に関する活動) ・卒業式の意味やテーマについて理解し、3年生をお祝いしたり応援する気持ちを表す。(思・判・表に関する活動) ・(主学) 一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	10	(知及技) 形や色、材料の特徴について知る。(中Ⅰ段階：共通(ア)) (思判表力) 自分たちの作品や身近にあるもののよさや面白さに気づき、造形的な特徴からイメージをもつ。(中Ⅰ段階：鑑賞(ア) 共通(イ)) (学・人) 自分たちの作品や身の回りのもののよさや面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	(知・技) 形や色、材料と特徴について知ろうとする。(中Ⅰ段階：共通(ア)) (思・判・表) 自分たちの作品や生活の中にあるもののよさや面白さに気づき、造形的な特徴からイメージをもとうとする。(中Ⅰ段階：鑑賞(ア) 共通(イ)) (主学) 自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○自分たちの作品を見てみよう ○日本の美術作品を見てみよう ～美術作品に色を塗ったら～	・これまでの自分たちの作品を振り返り、色や形、表現の違いをよく見る。日本の美術作品を写真で鑑賞し、描かれているものや色や形をよく見る。(知・技に関する活動) ・自分たちの作品や日本の美術作品を鑑賞し、良さや面白さに気づく。(思・判・表に関する活動) ・印刷した美術作品に自分のイメージで色を塗って楽しみ、本物の写真や友達と見比べてみる。(主学)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程 A類型）美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部3年	美術科	高校生の美術1 (日本文教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解し、材料や用具の特徴を生かしながら、意図に応じて表現方法を工夫して創作することができる。(高等部2段階)			
		(思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫について考え、自分の思いや経験をもとに発想や構想を広げ、豊かに表現することができる。(高等部2段階)			
		(学・人) 主体的に美術活動へ取り組み、創造する喜びや協働する楽しさを味わいながら、美術を生活に生かそうとする態度を育てる。(高等部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 空間を意識した表現方法を知り、材料や用具を工夫して使用する。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)場所に合ったデザインや構成を考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人)協力して制作活動に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))	(知・技) 場所や形に応じた表現方法を理解しようとする。 (思・判・表)階段の形状を生かした表現を工夫しようとする。 (主学)友達と協力して活動しようとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○階段アート	・階段の形や奥行きを生かした作品づくりを行う。 ・色画用紙やイラストを組み合わせで空間表現を楽しむ。 ・共同制作を通して達成感を味わう。
	10	(知及技) 版画に用いる様々な素材や用具の特徴を知る。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)素材の形や質感を生かした表現を考える。(高1段階：A表現ア(ア)(イ)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)版画表現を楽しみながら意欲的に取り組む。(高2段階：共通事項(ア)(イ))	(知・技) 素材や用具を適切に扱おうとする。 (思・判・表)素材の特徴を生かして工夫しようとする。 (主学)主体的に制作活動へ取り組もうとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○いろいろな素材を使って版画をしよう	・段ボール、ひも、葉っぱ、スポンジなどを用いて版を作る。 ・インクの付き方や模様の違いを楽しむ。 ・色を重ねて表現を工夫する。
	10	(知及技) デザインの基礎や配色を理解し、表現方法を工夫する(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)) (思判表力)自分らしいデザインを発想し構想する。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)作品づくりを楽しみながら最後まで取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 色や形の組み合わせを理解して使おうとする。 (思・判・表)自分のイメージを表現しようとする。 (主学)完成を目指して主体的に取り組もうとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○オリジナルTシャツデザイン	・好きな模様や言葉、イラストを考えてデザインする。 ・布用絵の具や型紙を使って表現する。 ・着る楽しさを感じながら制作する。
2 学期	16	(知及技) 透明素材や光の特徴を理解し、表現に生かす。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)色や光の変化を感じながら構成を考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)光による表現活動を楽しむ。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 材料の特徴を理解して扱おうとする。 (思・判・表)光や色彩を工夫して表現しようとする。 (主学)進んで制作活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○光を楽しむステンドグラスアート	・カラーセロハンや透明シートを使って作品を制作する。 ・窓辺に飾り、光による色の変化を観察する。 ・模様や配色を工夫して美しさを表現する。
	12	(知及技) 透明素材や光の特徴を理解し、表現に生かす。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)色や光の変化を感じながら構成を考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)光による表現活動を楽しむ。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 材料の特徴を理解して扱おうとする。 (思・判・表)光や色彩を工夫して表現しようとする。 (主学)進んで制作活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○光を楽しむステンドグラスアート	・カラーセロハンや透明シートを使って作品を制作する。 ・窓辺に飾り、光による色の変化を観察する。 ・模様や配色を工夫して美しさを表現する。

3 学 期	8	(知及技) 自然物の色や形、質感について理解する。(高2段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 自然から受けた印象をもとに表現する。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 自然に親しみながら制作活動を楽しむ。(高2段階: A表現ア(ア))	知・技) 自然の特徴を観察して表現しようとする。 (思・判・表) 感じたことを色や形で工夫しようとする。 (主学) 自然を味わいながら活動しようとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○自然の絵を描こう	・花、木、空、風景などを観察して描く。 ・写真や実物を見ながら色彩や形を表現する。 ・季節感を意識した作品づくりを行う。
	10	(知及技) 染色の材料や技法について理解し、工夫して表現する。(高2段階: B鑑賞(ア)、共通事項(ア)) (思判表力) 色の混ざり方や模様の変化を楽しみながら発想する。(高2段階: B鑑賞ア(イ)) (学・人) 染色活動に主体的に取り組む。(高2段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 染色技法や材料の特徴を理解しようとする。 (思・判・表) 模様や色彩を工夫して表そうとする。 (主学) 意欲的に制作活動へ取り組もうとする。 【評価資料】活動観察、提出作品	○染め技法を楽しむ	・和紙や布を折ったり縛ったりして染める。 ・にじみや模様の変化を楽しむ。 ・色の組み合わせを工夫して作品づくりをする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程 B類型）美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	高等部3年	美術科	アートって何だろう ～はじめてアートに出会う本～

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。（中2段階） （思判表力）造形的なよさや面白さ、表現の意図や工夫などについて考え、豊かに発想し構想を練り、美術に対する見方や感じ方を深めることができる。（中2段階） （学・人）楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造する態度をとることができる。（中2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技）材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）経験したことや想像したこと材料をもとに、表したいことを考えて発想したり、造形的な特徴からイメージを捉える。（中2段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）好きなものを自分なりに生き生きと表現する。	（知・技）材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使うとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）経験したことや想像したこと材料をもとに、表したいことを考えて発想したり、造形的な特徴からイメージを捉えようとする。（中2段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）好きなものを自分なりに生き生きと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう ～描いたり張ったりする～	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや色紙を切り張りするなど工夫する。（知・技に関する活動） ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。（思判表力に関する活動） ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。（主学）
	8	（知及技）素材や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、色や材料の特徴を理解する。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）造形的な特徴などからイメージを捉えること。（中2段階：共通（イ）） （学・人）楽しく表現活動に取り組むことができる。	（知・技）素材や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、色や材料の特徴を理解しようとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）造形的な特徴などからイメージを捉えようとする。（中2段階：共通（イ）） （主学）楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のり絵の具を使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、赤青黄色の絵の具が混ざると色が変わることを知る。（知・技に関する活動） ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。（思・判・表に関する活動） ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。（主学）
	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使う。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）経験したことや想像したことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。（中2段階：表現（ア）） （学・人）心に残ったことを思い出して表す。	（知・技）素材や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使うとする。（中1段階：表現（イ）） （思・判・表）経験したことをもとに表し方を考えて発想する。（中2段階：表現（ア）） （主学）心に残ったことや頑張ったことを表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○現場実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、写真や色紙など貼ったりして表す。（思判表力に関する活動） ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。（主学）

2 学 期	13	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。（中1段階：表現（イ）） （思判表力）材料などをもとに表したいことや表し方を考えて構想する。（中2段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな表現方法を楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。（中1段階：技能（イ）） （思・判・表）材料などをもとに表したいことや表し方を考えて構想しようとする。（中2段階：表現（ア）） （主学）いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○写真で友達や風景を撮って表現しよう	・ipadのカメラ機能を使い、友達や風景を撮ってみる。近くに寄ったり角度を変えたりして、写真の雰囲気が違うところを見る。（知・技に関する活動） ・写したいもののよさを引き出すように、構図を考えて撮る。（思・判・表に関する活動） ・写真で表現できることを楽しむ。（主学）
	15	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）想像したこと材料などをもとに、表したいことを考えて発想する。（中2段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）想像したこと材料などをもとに、表したいことを考えて発想しようとする。（中2段階：表現（ア）） （主学）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な材料で張り子の人形を作ろう	・空き箱などを組み合わせて人の形を作り、習字紙やお花紙をのりで張って頭や胴体の形を確認して作る。いろいろな材料で目鼻口や服の模様を付ける。（知・技に関する活動） ・ビーズやモール、ボタンなどいろいろな材料を組み合わせ、自分らしい人形を表現する。（思・判・表に関する活動） ・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。（主学）
3 学 期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知る。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）想像したことや材料などをもとに、表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージを捉える。（中2段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知ろうとする。（中1段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）想像したことや材料などをもとに、表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージを捉えようとする。（中2段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせ、テーマに合った形を表現する。（知・技に関する活動） ・卒業の意味やテーマについて理解し、社会へ飛び立つイメージを映像や写真を通して理解して作品に表現する。（思・判・表に関する活動） ・（主学）一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	10	（知及技）形や色、材料の特徴について知る。（中1段階：共通（ア）） （思判表力）自分たちの作品や美術作品などを鑑賞してよさや面白さを感じ取る。（中2段階：鑑賞（ア）） （学・人）自分たちの作品や美術作品をよさや面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	（知・技）形や色、材料と特徴について知ろうとする。（中1段階：共通（ア）） （思・判・表）自分たちの作品や美術作品などを鑑賞してよさや面白さを感じ取ろうとする。（中2段階：鑑賞（ア）） （主学）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○自分たちの作品を見てみよう ○世界の美術作品を見てみよう ～美術作品で遊ぼう～	・これまでの自分たちの作品を振り返り、色や形、表現の違いをよく見る。世界の美術作品の写真や校内に展示されている絵画を鑑賞し、描かれているものの色や形をよく見る。（知・技に関する活動） ・自分たちの作品や、校内に展示されている世界の美術作品を鑑賞し、感じたことや面白いところを話し合う。（思・判・表に関する活動） ・印刷した美術作品の写真を切ったり張ったりして、作家になったつもりで絵を作ってコラージュを楽しみ、本物の写真や友達と見比べてみる。（主学）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程・A類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部1学年	保健体育科	くらしに役立つ保健体育

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	（知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高2段階） （思判表力）体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせる。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。（主学）多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（氣をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（2分時間走のセット、縄跳び） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	（知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。（高2段階） （思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。（主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ	①ストリームラインの習得 ②バタ足、手の掻き方 ②ストリームラインの習得 ②手足の動き ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング）
2 学期	18	（知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階） （思判表力）陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。（主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ②バトンパス（オーバーハンドパス） ③ペース配分の習得。自己に適したペースでゆっくり長く走る。 ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ⑤リズムミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック）
	12	（知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高2段階） （思判表力）武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。（主学）多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法、中段突き、上段突き、中段蹴り、中段受け、上段受け、下段受けの基本動作の習得。簡易な形動作の習得。 ①基本的な動作から相対しての簡易な攻防の仕方の習得。
	12	（知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。（高2段階） （思判表力）ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。（主学）多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①創作ダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き ②ボックスステップ等のダンスの基本的な動作を覚え、興味関心のある曲や動画から簡易なダンスを楽しんで踊る。

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。(高2段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に安全に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。(高2段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・主) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①健康の考え方 ②健康の保持増進と疾病の予防 ③精神の健康 ④交通安全	①健康の考え方、健康の成り立ちと取り組み、私たちの健康の姿 ②生活習慣病の予防、食事、運動、休養 ③欲求と適応機制、心の健康 ④交通事故を防ぐために
留意点 引継ぎ等 ・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程・B類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	1学年生徒	保健体育科	あっそうなんだ！性と生

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高1段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	（知及技）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高1段階） （思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。（高1段階）	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。（思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（氣をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔に一開け」、「〇〇基準ーもとの位置に一集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	（知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高1段階） （思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。（思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。（主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「水泳」 ①歩く、走る ②潜る ③けのび、バタ足 ④クロール	①手と足（バタ足）の動き ①呼吸法 ②手（両手で水を掻く）と足（カエル足）の動き ②呼吸法 ③手（後ろに回転）と足の動き ③呼吸法 ④手（両手を同時に肩から前に回す）と足（ドルフィンキック）の動き ④呼吸法
2 学期	18	（知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。（高1段階） （思判表力）陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。（思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。（主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ②足のキック動作 ②バトンパス ③自己に適したペースで走る（リズムカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走・踏み切り動作 ④ルールの確認 ⑤助走・（はさみ跳び、バリーロール） ⑤ルールの確認
	12	（知及技）武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。（高1段階） （思判表力）武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。（思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。（主学）多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		（知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。（高1段階） （思判表力）ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をしている。（思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。（主学）多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①音楽に合わせて身体を動かす ①個の動き

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践 ②フォアハンドの基本操作 ②サーブやラリー ②簡易ゲーム実践 ③ボールを投げる、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階)	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、AEDの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程・A類型）保健体育科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
105		高等部2学年		保健体育科	くらしに役立つ保健体育
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	（知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高2段階） （思判表力）体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気を付け、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向けー右（左）」、「回れー右」 ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔に一開け」、「〇〇基準ーもとの位置に一集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	（知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高2段階） （思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤水慣れ	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ⑤顔付け、潜り、水中ジャンプ、壁キック、けのび
2学期	18	（知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高2段階） （思判表力）陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（オーバーハンドパス） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る（リズムカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズムカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び）
	12	（知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高2段階） （思判表力）武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 （思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
	12	（知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高2段階） （思判表力）ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。(高2段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学 期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール・ティーボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①仲間との連携プレイ（ゴール前への進入などから攻防） ①ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空いている場所を狙う（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。(高2段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・主) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ パーパートスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、周囲の人々に与える影響、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、性的成熟、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、A E Dの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程・B類型）保健体育科 年間指導計画

単位数／配当時数		対象生徒	担当者	教科書／副教材	
105		2 学年：6 名	保健体育科	あっそうなんだ！性と生	
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高1段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	18	（知及技）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高1段階） （思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。（高1段階）	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。（主学）多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔に一開け」、「〇〇基準ーもとの位置に一集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	（知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高1段階） （思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「水泳」 ①歩く、走る ②潜る ③けのび、バタ足 ④クロール	①手と足（バタ足）の動き ①呼吸法 ②手（両手で水を掻く）と足（カエル足）の動き ②呼吸法 ③手（後ろに回転）と足の動き ③呼吸法 ④手（両手を同時に肩から前に回す）と足（ドルフィンキック）の動き ④呼吸法
2 学期	18	（知及技）陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。（高1段階） （思判表力）陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ②足のキック動作 ②バトンパス ③自己に適したペースで走る（リズムカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走・踏み切り動作 ④ルールの確認 ⑤助走・（はさみ跳び、ベリーロール） ⑤ルールの確認
	12	（知及技）武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。（高1段階） （思判表力）武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 （思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学）多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		（知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。（高1段階） （思判表力）ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高1段階） （学・人）ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高1段階）	（知・技）楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をしている。 （思・判・表）自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 （主学）多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①音楽に合わせて身体を動かす ①個の動き

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学 期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践 ②フォアハンドの基本操作 ②サービスラリー ②簡易ゲーム実践 ③ボールを投げる、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階)	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、AEDの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程・A類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年：35名	体育科	くらしに役立つ保健体育

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	（知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高2段階） （思判表力）体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせる。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（氣をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向けー右（左）」、「回れー右」 ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔に一開け」、「〇〇基準ーもとの位置に一集まれ」 ①列の増減「1列から2列」、「2列から4列」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	（知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高2段階） （思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤リレー	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したベースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したベースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したベースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したベースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ⑤単一の泳法や複数の泳法を使ってチームで競い合う
2学期	18	（知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高2段階） （思判表力）陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び ⑥砲丸投げ	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（前走者と次走者の距離を長くする） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③ペースの変化に対応して走る（リズムカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④タイミングよく、腕・肩を引き上げ、力強く踏み切ること。 ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズムカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び） ⑥立ち投げなどから砲丸をつきだして投げる
	12	（知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高2段階） （思判表力）武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
	12	（知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。（高2段階） （思判表力）ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階） （学・人）ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高2段階）	（知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしている。（思・判・表）自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 （主学）多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまもりをつけて仲間と対応したりして踊る ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。(高2段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、ゲームを行っている。(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①作戦や状況に応じた連携プレイ（空間への進入などから攻防） ①ゲーム実践（状況に応じたボール操作、空間を埋めるなどの動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空間への侵入などから攻防（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（安定したボール操作と状況に応じた守備）
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。(高2段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・主) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。	単元「保健」 ①がん教育 ②ストレスマネジメント ③応急手当 ④生命の安全教育	①がんについて知り、身近な病気であることを理解する。（予防、早期発見・検診について等） ②ストレスが起きるメカニズムを理解し、ストレス反応を軽減・予防・解消する方法を身につける。 ③身近な怪我の応急手当について ④生命の尊さを学び性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で生命を大切に考えるや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を身につける。
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程・B類型）保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年：9名	体育科	あっそうなんだ！性と生

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。(高1段階) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。(高1段階)	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。(思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。(主学)多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体づくり運動」 ①集団行動 ②体づくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（氣をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向けー右（左）」、「回れー右」 ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔に一開け」、「〇〇基準ーもとの位置に一集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。(思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。(主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①浮いて進む ②手の掻き ③キック（足の動き） ④好きな泳ぎ方で泳ぐ ⑤仲間と一緒に泳ぐ	①力を抜いて浮く ①補助具を使う ②ブル・手の掻き ②コンビネーション ③キック・足の動き ③コンビネーション ④楽しく泳ぐ ⑤仲間と動きを合わせて泳ぐ
2学期	18	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。(思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。(主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ①ストライドを伸ばす ②バトンパス ②テイクオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る（リズムミカルな腕振り、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピード ④力強い踏み切り動作（適切な角度で跳び出す） ⑤リズムミカルな助走 ⑤自己にあった跳び方
	12	(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(高1段階) (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。(思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。(主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。(高1段階) (思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をしている。(思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。(主学)多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「郷土の踊り」 ①エイサー ②沖縄の唄で踊ろう	①曲の合わせて太鼓をたたこう ①衣装をつけてみよう ①演技の発表をしよう ②リズムに合わせて身体を動かそう ②個々の動き ③集団の動き

	12	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3 学期	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②風船バレーボール（ネット型） ③キックベースボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①仲間へのパス（連携プレイ） ①ゲーム実践 ②パスの基本操作 ②サーフ ②ゲーム実践 ③ボールを投げる、キックで蹴るなどの基本動作 ③ゲーム実践
	9	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階)	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①心身の健康 ②身体の清潔	①生活習慣病との関わり 心身の健康を損ねる要因 正しい知識について ②身体の清潔（手洗い、着替え）
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程A類型） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		高等部1年 Ⅱ課程A類型 27名		英語科	プリント教材、カード、学習アプリ ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現、他
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 (高1段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (高1段階) (学・人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 (高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くことができる。 (高1段階ア(7)㊾)	(知・技)英語の音声を聞いて発音したり、意味を考えながら丁寧に綴りを書いたりすることができる。	単元1：あいさつ Greeting ・自己紹介	・初めて会った時や日常のあいさつを確認する。 ・定型文を用いて自己紹介のやり取りをする。 (名前、出身中学校名など) ・他者の自己紹介を聞く。
		(思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。 (高1段階イ(7))	(思・判・表)学んだ英語表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。	単元2：数 Numbers	・数字の読み方(1～10または20)や数を尋ねる表現 “How many ～?” に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。
		(学・人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 (高1段階)	(主学)場面に応じたコミュニケーションを図ろうとしている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元3：家族 Family	・絵カードを活用し家族の名称の表現に親しむ。 ・“This is ～” の表現を使い家族を紹介をする。 ・定型文を用いて家族の人数を伝える。
				単元4：色 Colors	・名称と色をマッチングする。 ・“I like ～.” の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
2 学期	14	(知及技)英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くことができる。 (高1段階ア(7)㊾)	(知・技)形や食べ物、季節のあいさつ等に関する語句や会話文を読んだり聞いたりして、その意味や内容を理解している。	単元5：夏休みについて Summer Vacation	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。
		(思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。 (高1段階イ(7))	(思・判・表)学んだ英語表現を用いて自分に関することや相手に対する気持ちを伝えようとしている。	単元6：形 What shape is this?	・動画等を活用して形の名称に親しむ。 ・形に関する質問に答える。
		(学・人)外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。 (高1段階)	(主学)外国語を使おうとしたり、自国の文化との違いに気づいたりするなど、外国文化を理解しようとしている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元7： オータムフェスティバル Autumn Festival	・ハロウィンの慣習を知り、外国の行事子と日本の行事の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。
				単元8：食べもの What would you like?	・歌やチャンツなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・“eat/drink/have.” の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・“What would you like?” “I’d like ～.”などの丁寧な表現に慣れる。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。
				単元9： ホリデイシーズン Holiday Season	・外国の年末年始の過ごし方を知る。 ・送る相手を意識してクリスマスカードを作成する。
3 学期	9	(知及技)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。 (高1段階ア(7)㊾～㊿)	(知・技)季節のあいさつやメッセージ等、簡単な語句や会話文を読んだり聞いたりして、その意味や内容を理解することができる。	単元10: ハッピーニューイヤー Happy New Year	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支 (Zodiac animals)について、絵カードやクイズを通して知る。 ・年号の伝え方を知り、理解する。
		(思判表力)身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。 (高1段階イ(7)～(1))	(思・判・表)学んだ英語表現を用いて自分に関することや相手に対する気持ちを伝えようとしている。	単元11:バレンタインデー Valentine’s day	・外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。
		(学・人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 (高1段階)	(主学) 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元12: 1年間のまとめ	・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。 ・送る相手に適した表現を知る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程B類型） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		高等部1年 Ⅱ課程B類型12名		英語科	あたまのいい子が育つえいごの歌45選 プリント教材、カード、学習アプリ他
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高1段階） （学・人）外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高1段階ア(ア)㊟）	（知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目することができる。	自己紹介、あいさつ 天気 家族 数 方向 名詞（学校にあるもの）	自己紹介 ・自分の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・名前のつづりを確認しよう あいさつ “How are you?” に答えよう 天気 “How’s the weather today?”に答えよう 学校にある名詞 教室にある英語を探してみよう 数を数えよう Counting 1 to 10 家族の名称 Finger Family 夏に関する名詞 Swimming, Summer Clothes Insects, Ice cream ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲーム等を通して、身近な語彙の定着を図る。
		（思判表力）身近で簡単な事柄について、簡易な語句や表現などを用いて伝えることができる。（高1段階イ(ア)）	（思・判・表）①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するものを選ぶなどの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発音や表情の変化に回答しようとしている。		
		（学・人）言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高1段階）	（主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
2 学期	14	（知及技）英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高1段階ア(ア)㊟）	（知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目することができる。	食べ物 ハロウィン 色 校外学習 クリスマス	あいさつ/天気 ・ “How are you?”に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ ”How is the weather today?”に答えよう 色 ・ 色を英語で言ってみよう ・ “What color do you like?”に答えよう 食べ物 ・ “What food do you like?に答えよう 校外学習の英語 ・ 乗り物やお店、施設の名前 他 異文化理解（ハロウィン、クリスマス） ○歌やチャンツを活用する。 ○制作や体験活動を通して、身近な語彙の定着を図る。
		（思判表力）身近で簡単な事柄について、簡易な語句や表現などを用いて伝えることができる。（高1段階イ(ア)）	（思・判・表）①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するものを選ぶなどの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発音や表情の変化に回答しようとしている。		
		（学・人）言語活動を通して、外国文化に親しむことできる。（高1段階）	（主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
3 学期	9	（知及技）英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高1段階ア(ア)㊟）	（知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目することができる。	ハッピーニューイヤー 動物（干支） バレンタインデー ありがとうを伝えよう	あいさつ/天気 ・ “How are you?”に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ ”How is the weather today?”に答えよう お正月の英語 ・ 英語で新年のあいさつをしよう ・ お正月の英語（名詞） ・ 干支の動物を英語で言ってみよう 福笑い ・ Facial parts(顔の名詞) ・ Up, down(上下) 冬に関する名詞 Winter Clothes バレンタインデーの英語（名詞） 感謝の気持ちを伝えよう 別れのことばを伝えよう ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲームや制作等を通して、身近な語彙の定着を図る。
		（思判表力）身近で簡単な事柄について、簡易な語句や表現などを用いて伝えることができる。（高1段階イ(ア)）	（思・判・表）①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するものを選ぶなどの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発音や表情の変化に回答しようとしている。		
		（学・人）言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高1段階）	（主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
留意点 引継ぎ等		※単元及び学習内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年（Ⅱ課程A類型 35名）	英語科	プリント教材、カード、学習アプリ ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現、他

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。（高2段階） (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高2段階） (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(7) ㉑～㉒)	(知・技) 音声を模倣して発音したり、英語を聞いてその内容を示すものを選択したりしている。語句の意味を理解しながら文字を綴っている。	単元1 「This is Me!」 自己紹介、あいさつ 日常生活 Daily Activity	・ 定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 (名前/学校名/年齢/通学方法など) ・ 定型文を用いて他者の紹介をする。 ・ 他者の発表を聞く。 ・ 朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・ 朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階イ(4)～高2段階イ(7))	(思・判・表) 使用場面に応じた表現をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手の気持ちや考えを尋ねたりしている。	単元2 「Birthday 誕生日」 数の数え方 (序数) 1 2の月の数え方	カレンダーや絵カード等を利用しながら、 ・ 1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・ 誕生日を英語で聞いて理解する。 ・ 自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・ 有名人の誕生日を調べて報告する。 ・ 疑問詞 Whenを使って質問する。
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 聞き手を意識して話している、または、読み手を意識して書いている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元3 「What's this?これは何ですか？」 Whatを使った表現 身の回りの物	・ 文房具や教室にある物などを身近な物の名称を英語で聞いたり発音したりする。 ・ 疑問詞 Whatの役割を理解する。 ・ 質問に対して、"It's a ～."と答える。 ・ クイズを楽しんだり、作ったりする。
				単元4 「Can you ～?～できますか？」 Canを使った表現 動詞	絵カード等を利用しながら “can” “can't” を用いて、 ・ 場所や動物などの情報を伝える。 ・ 自分の得意なことや不得意なことを伝える。 ・ 応答したり、承諾したり、断ったりする。 ・ “Can you ～?” を用いて質問したり、依頼したりする。
2 学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(7)㉑～高2段階ア(7)㉒)	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択する。語句や表現の意味を理解しながら、他者に伝えている。	単元5 「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方	チャンツやクイズなどを通して、 ・ ～時、半、10分単位の時間の聞いて理解する。 ・ “What time?” を使い、時間を尋ねる。 ・ “It's ～.” を使い、時間を伝える。 ・ 様々な時間の表現を使いながら、夏休みの過ごし方について報告する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高1段階イ(4)～高2段階イ(7))	(思・判・表) 質問内容や使用場面に応じた返答をしている。調べたことや経験したことを英語で話したり書いたりして発表している。	単元6 「Shopping 買い物」	・ 商品の英語名称を聞いたり読んだりして、日本語と英語の違いを学ぶ。 ・ “Can I get ～?” を使って食べ物や飲み物を注文し、買い物の流れを学ぶ。 ・ “How much～?” を使って値段の聞き方を学ぶ。
		(学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高2段階)	(主学) 生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元7 「School Trip」 ・ 衣類、身の回りの英語	・ 修学旅行に向けた調べ学習を取り入れながら身近な英語に触れる。(Winter Clothes, Hotel Amenity) ・ 英語と日本語の違いに気づく。 ・ 日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・ 英語表示から必要とする情報を読み取る。
				単元8 「Holiday Season ホリデーシーズン」	クリスマスカードを作りを通して、 ・ 季節のあいさつを送り合う習慣に触れる。 ・ メッセージを送る相手を意識したカード作りをする。 ・ メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。 ・ 外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
3 学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階ア(7)㉑～㉒)	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、意味を理解している、それを示すものを選択している。英語の指示を聞いて行動している。	単元9 「Happy new year 新年を祝おう」	・ 外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・ 年号の伝え方を知り、理解する。 ・ 冬休みの思い出を伝える。 ・ 絵カードやクイズを通して、干支の表現を学ぶ。 ・ 福笑いを通して、顔のパーツや方向に関する表現を学ぶ。 ・ “I will-.” の表現を使って新年の目標を伝える。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。(高2段階イ(7)～(4))	(思・判・表) 使用場面に応じた表現をしている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。	単元10 「Valentine's Day バレンタインデー」	動画やスライドを通して ・ バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・ バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・ 外国の習慣を知り、比較する。 ・ 疑問詞 Whoや Whatを用いて質問する。 ・ 疑問詞 Whoや Whatを用いた質問に答える。
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 英語を話したり書いたりして感謝の気持ちや別れのことばを伝えようとしている。 評価資料:授業プリント、活動の様子他	単元11 「Thank you for ～感謝の気持ちを伝えよう」	Thank you card作りを通して ・ 感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・ 送る相手に適した表現を知る。 ・ メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程B類型） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年（Ⅱ課程B類型6名）	英語科	カード、プリント教材他 あたまのいい子が育つこどもえいごずかん

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高1段階)			
		(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階)			
		(学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(7)④)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	自己紹介、あいさつ 天気 学校にあるもの（名詞） 数の数え方 家族 季節の英語（名詞）	自己紹介 ・自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・名前のつづりを確認しよう あいさつ “How are you?” に答えよう 天気 “How’s the weather today?”に答えよう 学校にある名詞 教室にある英語を探してみよう 数を数えよう Counting 1 to 10 家族の名称 Finger Family 夏に関する名詞 Swimming, Summer Clothes Insects, Ice cream ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲーム等を通して、身近な語彙の定着を図る。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、簡易な語句や表現などを用いて伝えることができる。(高1段階イ(7))	(思・判・表) ① 場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。② 教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。		
		(学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高1段階)	(主学) ① 質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。② 発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
2学期	14	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(7)④)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	食べ物 ハロウィン 色 修学旅行 クリスマス	あいさつ/天気 ・ “How are you?”に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ “How is the weather today?”に答えよう 色 ・ 色を英語で言ってみよう ・ “What color do you like?”に答えよう 食べ物 ・ “What food do you like?”に答えよう 修学旅行の英語 ・ 地名、乗り物やお店、施設の名前、冬の衣服他 異文化理解（ハロウィン、クリスマス） ○歌やチャンツを活用する。 ○制作や体験活動を通して、身近な語彙の定着を図る。
		(思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高1段階イ(7))	(思・判・表) ① 場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。② 教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。		
		(学・人) 言語活動を通して、身近にある外国の文化を理解することができる。(高1段階)	(主学) ① 質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。② 発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
3学期	9	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(7)④)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	ハッピーニューイヤー 動物（干支） バレンタインデー ありがとうを伝えよう	あいさつ/天気 ・ “How are you?”に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ “How is the weather today?”に答えよう お正月の英語 ・ 英語で新年のあいさつをしよう ・ お正月の英語（名詞） ・ 干支の動物を英語で言ってみよう 福笑い ・ Facial parts(顔の名詞) ・ Up, down(上下) バレンタインデーの英語（名詞） 感謝の気持ちを伝えよう 別れのことばを伝えよう ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲームや制作等を通して、身近な語彙の定着を図る。
		(思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高1段階イ(7))	(思・判・表) ① 場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。② 教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。		
		(学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高1段階)	(主学) ① 質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えに関心を持って聞く様子がある。② 発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。		
			評価資料：活動の様子		
留意点 引継ぎ等		※単元及び活動内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。			

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程A類型）外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3学年（Ⅱ課程A類型 35名）	英語科	プリント教材、カード、学習アプリ ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現、他

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高2段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高2段階ア(ア)㉔～㉕)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら文字を綴っている。音声を模倣して発音している。	単元1「This is Me. 自己紹介」	・簡単な表現を使った自己紹介をする。 "I'm .../I like.../I'm good at..." ・教師や他の生徒の自己紹介を聞く。 ・簡単な表現を使った他己紹介をする。 "He is .../She likes.../He is good at..." ・疑問詞を活用しながら他者へ質問する。 "Where do you live?" "What food do you like?"
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階イ(ア)～(イ))	(思・判・表) 使用場面に応じた表現をしている。学習した語句を用いて、他者に自分の気持ちや考えを伝えたり説明したりしている。	単元2「My Daily Routine. 私の一日」	・簡易な動詞を使って、自分の一日の流れを英語で伝える。 "I get up at..." ・疑問詞を活用しながら他者へ質問する。 "What time do you go home?"
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 聞き手を意識して話している。または、読み手を意識して書いている。積極的に英語を使って交流しようとしている。	単元3「Signs 標識・看板」	・街中の英語の標識や看板の内容に親しむ。 ・建物や施設の英語名称を学習し、日常生活に活かす。 STOP, SLOW, Open, Closed /Supermarket, Parking
		評価資料: 授業プリント、活動の様子他	単元4「Countries 行きたい国」	・画像や地図を活用して世界な国の英語名称を知る。 Japan, Korea, England ・世界の国々の特徴を知る。 ・テンプレートを活用して行きたい国を伝える。 "I want to go(I'd like to go) to .."	
2学期	14	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高2段階ア(ア)㉔～㉕)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら文字を綴っている。音声を模倣して発音している。	単元5「My Summer 夏休み中のできごと」	・動詞の過去形を活用して夏休みのできごとを伝える。 "I went to ../ I ate..." ・疑問詞を活用しながら、他者に質問する。 ・応答内容をお互いに比較する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階イ(ア)～(イ))	(思・判・表) 使用場面に応じた表現をしている。学習した語句を用いて、他者に自分の気持ちや考えを伝えたり説明したりしている。	単元6「Autumn Festival オータムフェスティバル」	・ハロウィンの慣習を学ぶことで英語圏の文化にふれる。 ・ハロウィン期間の地域の様子や過ごし方について質問し合う。 ・ハロウィンに関する語句に親しむ。
		(学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選び、伝えることができる。(高2段階)	(主学) 自国の文化との違いについて述べたり、外国文化について質問したりするなど関心を示している。読み手を意識して表現を選ぶことができる。	単元7「I feel... 体調を伝えよう」	・病気や体調を表す語や表現を知る。 ・場面や状況にふさわしい表現を選択して伝える。 "I have a headache./ I have a fever."
		評価資料: 授業プリント、活動の様子他	単元8「Holiday Season ホリデーシーズン」	クリスマスカードを作りを通して、 ・関連語句に親しむ。 ・送る相手を意識しながらメッセージをつづる。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。	
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階ア(ア)㉔～㉕))	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら文字を綴っている。音声を模倣して発音している。	単元9「Happy New Year ハッピーニューイヤー」	・新年のあいさつを交わしたり、関連語句に親しむ。 ・新年に関する海外の慣習と日本文化、地域の慣習とを比較して共有する。 ・未来形を用いて一年の目標を伝え合う。 "I will .. in this year."
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階イ(ア)～(イ))	(思・判・表) 使用場面に応じた表現をしている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。	単元10「My Future 私の夢」	・簡単な語句を用いて、将来やってみたいことなど、自分の夢をまとめ、他者と共有する。 "I want to drive a car."
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 英語を話したり書いたりして感謝の気持ちや別れのことばを伝えようとしている。	単元11「Thank you, my teacher! Thank you, my friend」	Thank you card作りを通して ・英語による手紙の書き方を知る。 Dear, from, sincerely ・感謝や別れの表現を知る。 ・送る相手を意識して、メッセージを綴る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程B類型）外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3学年Ⅱ課程B類型9名	英語科	プリント教材、カード、学習アプリ、 しまじろうの英語の歌 あたまのいい子が育つこどもえいごずかん 他

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階)			
		(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階)			
		(学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(7)㊟)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	あいさつ 天気 家族 数 名詞 (学校にあるもの)	自己紹介 ・自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・名前のつづりを確認しよう あいさつ “How are you?” に答えよう 天気 “How’s the weather today?” に答えよう 学校にある名詞 教室にある英語を探してみよう 数を数えよう Counting 1 to 10 家族の名称 Finger Family 夏に関する名詞 Swimming, Summer Clothes Insects, Ice cream ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲーム等を通して、身近な語彙の定着を図る。
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(7)㊟)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	食べ物 ハロウィン 色 校外学習(地域にある名詞) クリスマス	あいさつ/天気 ・ “How are you?” に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ “How is the weather today?” に答えよう 色 ・ 色を英語で言ってみよう ・ 教室にある英語を探してみよう 食べ物 ・ “What food do you like?” に答えよう 異文化理解(ハロウィン、クリスマス) ・ 季節のあいさつをしよう “Trick or treat!” / “Merry Christmas!” 地域にある名詞 school, convenience store, library, zoo, shopping mall ○歌やチャンツを活用する。 ○制作や体験活動を通して、身近な語彙の定着を図る。
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(7)㊟)	(知・技) ① 音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。② 英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。	ハッピーニューイヤー 動物(干支) バレンタインデー ありがとうを伝えよう	あいさつ/天気 ・ “How are you?” に答えよう ・ ジェスチャーも使ってみよう ・ “How is the weather today?” に答えよう お正月の英語 ・ 英語で新年のあいさつをしよう ・ お正月の英語(名詞) ・ 干支の動物を英語で言ってみよう 福笑い ・ Facial parts(顔の名詞) ・ Up, down(上下) 冬に関する名詞 Winter Clothes バレンタインデーの英語(名詞) 感謝の気持ちを伝えよう 別れのことばを伝えよう ○歌やチャンツを活用する。 ○ゲームや制作等を通して、身近な語彙の定着を図る。
留意点 引継ぎ等		※単元及び学習内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。			

令和 8年度 高等部 1年（Ⅱ課程A類型） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材	
35		1学年 27名		情報科	わたしたちとじょうほう	
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度						
年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高1段階） （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高1段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高1段階）				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学期	6	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途，操作方法及び仕組みを知り，情報と情報技術を活用して問題を知り，問題を解決する方法を身に付けることができる。（高1段階Aア（ア））	（知・技） ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作（電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価（情報操作、信憑性）についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー（情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力）について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。（電源のオンオフ、各種アプリの操作） ・検索エンジンの利用	
	6	（思判表力） ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ）） （学・人） ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	（思・判・表） ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 （主学） ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存 ・夏のポストカード作成	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 ・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。	
	2 学期	7	（知及技） ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について，その変遷を踏まえて知ることができる。（高1段階 Bア（ア）） （思判表力） ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高1段階 Bイ（ア）） （学・人） ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	（知・技） ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。 （思・判・表） ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。 （主学） ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報 ・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト（SNS、動画共有サイト等） ・クリスマスカード作成	・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法（誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。） ・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィクス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。 ・「クリスマス」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
3 学期		5	（知及技） ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。（高1段階 Cア（ア）） （思判表力） ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。（高1段階 Cイ（ア）） （学・人） ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	（知・技） ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 （思・判・表） ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 （主学） ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 ・情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証 ・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」：；記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー（企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等） ・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知る。犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。 ・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。
		留意点				

令和 8年度 高等部 1年（Ⅱ課程B類型） 情報科 年間指導計画					
単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材
35		1年 12名		情報科	わたしたちとじょうほう
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（1段階） （思判表力） 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（1段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア））	（知・技） ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用
	6	（思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ））	（思・判・表） ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成
2学期	7	（知及技） ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。（高1段階 B ア（ア））	（知・技） ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。	メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。（動画視聴 NHKforschool）
	7	（思判表力） ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。（高1段階 B イ（ア））	（思・判・表） ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。	誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報2 ・ネット依存2	・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表（情報発信）を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。
3学期	5	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア））	（知・技） ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用
	4	（思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ））	（思・判・表） ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成	・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。

留意点 引継ぎ等	メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。
-------------	--

令和 8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		生徒	担当者	教科書／副教材	
35		2 学年28名	情報科	わたしたちとじょうほう	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高1段階】 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高1段階】 (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階Aア(イ))	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクセス禁止法） ・自分の情報は自分で守る	・動画視聴（文科省 情報モラル⑪パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Aイ(イ))	(思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
		(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・夏のポストカード作成	・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
2 学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。(高1段階 Bア(イ))	(知・技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進	・身近なユニバーサルデザインを再確認（ジャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。
	7	(思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階 Bイ(イ))	(思・判・表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・クリスマスカード作成 ・年賀状作成 ・ポスター作成	・テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
		(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物		
3 学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階 Cア(イ))	(知・技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階 Cイ(イ))	(思・判・表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICTタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
		(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。
留意点					

令和 8年度 高等部 2年（Ⅱ課程B類型） 情報科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
35		2年 6名		情報科	わたしたちとじょうほう
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（1段階） （思判表力） 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（1段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア））	（知・技） ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用
	6	（思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ））	（思・判・表） ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成
2学期	7	（知及技） ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。（高1段階 B ア（ア））	（知・技） ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。	メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。（動画視聴 NHKforschool）
	7	（思判表力） ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。（高1段階 B イ（ア））	（思・判・表） ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。	誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報2 ・ネット依存2	・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表（情報発信）を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。
3学期	5	（知及技） ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア））	（知・技） ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用
	4	（思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ））	（思・判・表） ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。
		（学・人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	（主学） ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成	・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。
留意点 引継ぎ等		メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。			

令和 8年度 高等部 3年（Ⅱ課程B類型） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者		教科書／副教材	
35		3年 8名		情報科		わたしたちとじょうほう	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高1段階） (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高1段階） (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高1段階）					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。(高1段階 A ア(ア))	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作(電源のオンオフ、アプリの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用		
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。(高1段階 A イ(イ))	(思・判・表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例(動画NHKforschoolより)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。		
		(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)	(主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成		
2学期	7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。(高1段階 B ア(ア))	(知・技) ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。	メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。(動画視聴 NHKforschool)		
	7	(思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。(高1段階 B イ(ア))	(思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。	誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報2 ・ネット依存2	・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表(情報発信)を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。		
		(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)	(主学) 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。		
3学期	5	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。(高1段階 A ア(ア))	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作(電源のオンオフ、アプリの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。	情報とメディア ・メディアの利用	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用		
	4	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。(高1段階 A イ(イ))	(思・判・表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。	情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例(動画NHKforschoolより)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。		
		(学・人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(高1段階)	(主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成	・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。		
留意点 引継ぎ等		メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。					

令和 8年度 高等部 3年（Ⅱ課程A類型） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者		教科書／副教材	
35		3学年 35名		情報科		わたしたちとじょうほう	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容		
1 学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階Aア(イ))	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備(不正アクセス禁止法) ・自分の情報は自分で守る	・動画視聴(文科省 情報モラル⑪パスワードについて考えよう)情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。		
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Aイ(イ))	(思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ(誹謗中傷) ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される(簡単に消すことはできない)。 ・SNSトラブル事例(動画)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。		
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・夏のポストカード作成	・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。	
2 学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。(高1段階 Bア(イ))	(知・技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進	・身近なユニバーサルデザインを再確認(シャンプー、リンスの容器等)。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。		
	7	(思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階Bイ(イ))	(思・判・表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・クリスマスカード作成	・テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。		
			(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物			
3 学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階 Cア(イ))	(知・技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。		
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階Cイ(イ))	(思・判・表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。		
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。	
留意点							

令和 8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A類型）職業（ 農業班 ）普通科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1 学年6名 2学年8名 3学年8名	職業（農業担当）	「私たちの進路」 「ソーシャルスキル」

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の持続性、巧緻性を高めることができる。 （思判表力） ・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。 （学・人） 作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。 （高1段階） （高1段階） （高1段階）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	96	（知及技） ・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる（高1段階ア） （思判表力） ・職業の心得を理解する（高1段階イ） （学・人） ・勤労と協働【職業生活高1段階（ア）】	（知・技） ・職業の目的を理解し、服装を整えてミーティングに参加することができる。 （思・判・表） ・職業の目標を大きな声で読み合わせできる。 （主学） ・終わりのミーティングでは、本日の頑張りを自分の言葉で表現できる。	・授業開き ・職業について ・勤労と協働	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等7つある作業学習の目標について理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
		（知及技） ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う（高1段階） （思判表力） ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ（高1段階） （主・力） ・情報機器の操作をすることができる。（高1段階Bア） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（思考・表現）（高1段階）	（知・技） ・収穫や調整、販売学習などの実体験を通して野菜や草花を教材として学ぶことができる。 （思・判・表） ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について調べることができる。 ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・1学期のまとめ	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・情報機器の基本的な操作を興味を持って学ぶことができる。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
2 学 期	112	（知及技） ・季節の野菜や草花を知り栽培を行う（高1段階） （思判表力） ・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる（高1段階） （主・力） ・各行事の意義を理解し学びを取り入れた栽培を行う（高1段階）	（知・技） ・2学期に栽培する野菜や草花について教材として触れることができる。 （思・判・表） ・重さや個数など定められた分量を理解し、授業内容に沿った行動をとることができる。 （主学） ・行事の目的を理解し、目的達成に向けて準備を進めることができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・みさき市、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
		（知及技） ・情報機器の操作を応用することができる。（高1段階Bア） （主・力） ・日頃使用している農機具を丁寧に洗ひ手入れを行うことができる。（高1段階） （思判表力） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高1段階）	（知・技） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の仲間や栽培方法について調べることができる。 （主学） ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 （思・判・表） ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・情報機器の活用 ・農機具の手入れ ・2学期のまとめ	・栽培する作物について、タブレット端末を用いて調べることができる。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
3 学 期	72	（知及技） ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ（高1段階） （思判表力） ・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。（人間性）（高1段階） （主・力） ・情報機器の操作を応用することができる。（高1段階Bア） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高1段階）	（知・技） ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉使いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えることができる。 （思・判・表） ・1年間関わった農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動することができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について協力して調べ、伝え合うことができる。 ・自身の感想と卒業や進級など今後の見通しを自分の言葉で表現することができる。	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・情報機器の活用 ・1年間のまとめ	・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 ・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 ・タブレット端末を用いて調べたことを相手に伝えることができる。 ・1年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程・A類型） 職業（木工）科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年 8名 2学年 10名 3学年 7名	職業（木工担当）	私たちの進路／Ipad（アプリ等）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階) (学・人)将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階職業生活ア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、他者や役割について考えることができる。(高1段階職業生活ア(イ)) (学・人)作業や実習に達成感を得て、主体的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技)生活等から働く意味や意義を理解することができる。 (思・判・表)社会の仕組みや他者との関わりを考えることができる。 (主学)成功体験から、自分ですんで行動ができる。	・仕事とは（生活や社会について） ・社会の成り立ちやつながり	・教科書や動画教材等やワークシートを活用して職業生活に必要な力について学習する ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・人との距離感 ・余暇活動 ・面接や履歴書について
	72	(知及技)木工具の名称や使用方法を理解することができる。(高1段階職業生活イ(ア)㊲) (思判表力)工具を正しく使用し安全に作業に取り組むことができる。(高1段階職業生活イ(イ)㊴) (学・人)工具類の使用について技術の向上を図ることができる。(高1段階)	(知・技)基本的な工具の名称と、使用手順を理解することができる。 (思・判・表)工具・機械の扱い方や危険度を理解し使用することができる。 (主学)正しい使用方法や材料の仕上りを意識して取り組むことができる。	・製品製作 ・販売学習	・工具類の名称や使用方法を正しく理解し取り扱うことができる ・さしがね、のこぎり等の手動工具や、インパクトドライバーや糸鋸等の電動工具を使用して、木材の加工や製品の組立を行う ・ベンチ、スマホホルダー、小物等の製作
	8	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階情報機器の活用ア) (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。(高1段階情報機器の活用ア) (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。(高1段階)	(知・技)情報に関することについて、利便性や危険性を知ることができる。 (思・判・表)情報機器の使い方を知り、目的に合った使用ができる。 (主学)学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・スマホやiPad等の使用について ・情報モラル	・iPadを使用して製品を検索したり、作業の様子をまとめる ・余暇活動等でのスマホ使用の注意点
2学期	18	(知及技)iPad等のアプリについて知ることができる。(高1段階情報機器の活用ア) (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。(高1段階情報機器の活用ア) (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。(高1段階)	(知・技)アプリの特性や操作を知ることができる。 (思・判・表)情報機器やアプリの使い方を知り、目的に合った使用ができる。 (主学)学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・製品のデザインや管理	・iPadを活用して製品開発やデザインを考える ・ICT機器を活用して作業の様子を記録したり発表を行う ・木工班の紹介用に動画やポスターの作成
	94	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性について理解することができる。(高1段階職業生活イ(ア)㊸) (思判表力)作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え改善を図ることができる。(高1段階職業生活イ(イ)㊴) (学・人)作業効率を考え取り組むことができる。(高1段階)	(知・技)作業の確実性等と、製品や材料価格との関係を理解することができる。 (思・判・表)効率化を意識して取り組むことができる。 (主学)効率化を目指して工夫することができる。	・製品製作（効率化と協働） ・職場の仕組みや環境	・作業に応じて必要な工具類を準備する。 ・製品製作の工程分担を理解し、効率化を意識しながら作業に取り組む ・協力して製品を組み立てる ・仕事の態度や姿勢について考える
3学期	64	(知及技)社会の仕組み等について理解することができる。(高1段階職業生活イ(ア)㊴) (思判表力)接客など販売等に関わる技術について考えることができる。(高1段階職業生活イ(イ)㊴) (学・人)接客方法等についての知識を実践することができる。(高1段階)	(知・技)販売や給料を理解することができる。 (思・判・表)場に応じた言葉遣いや態度を考えることができる。 (主学)お客を相手に丁寧な言葉遣い等で対応することができる。	・販売学習 ・余暇活動	・販売会場のレイアウト計画、設営 ・接客態度の学習、練習 ・製品の販売 ・技能検定の練習等 ・仕事と給料についての学習と余暇活動
	8	(知及技)成果や他者との関わりについて理解を深めることができる。(高1段階職業生活ア(イ)) (思判表力)成長や課題についてまとめ、発表することができる。(高1段階職業生活イ(イ)㊲) (学・人)将来の自分を前向きな態度や考えで捉えることができる。(高1段階)	(知・技)成果等についての要因を考えることができる。 (思・判・表)自分の考えをまとめ、発表することができる。 (主学)具体的に将来をイメージし、目的意識をもつことができる。	・年間のまとめ（課題解決）	・製品の反省と改善 ・1年間の成長と反省、改善 ・発表
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1・3年（Ⅱ課程 A類型）職業(窯業班) 年間指導計画

単位数／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1年生7名 3年生9名	職業（窯業担当）	「ひとりだちするための進路学習」 「くらしに役立つソーシャルスキル」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 陶土や釉薬の扱い方および陶器づくりに関る知識について理解を深めることができる。(高1段階) 作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高1段階) (思判表力) 作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫して取り組むことができる。(高1段階) 将来の職業生活を見据え、自らの成長や課題について評価・改善する意識を養うことができる。(高1段階) 自ら体調を管理することができる。(高1段階) (学・人) 他者と協働して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高1段階) 自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	96	(知及技)(思判表力) 粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。(高1段階) 皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(高1段階) 使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(高1段階) (思判表力)(学・人) 年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(高1段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高1段階) (思判表力)(学・人) 働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(高1段階) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高1段階)	(知・技) 土砕きを適正に行えている。 泥水を適正に作れている。 飾作業が適正に行えている。 脱水作業が適正に行えている。 土練りが適正に行えている。 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 機械を安全に扱えている。 (思・判・表) 次に行くことが何なのか理解できている。 わからないことをわからないままにせず尋ねている、尋ねようとしている。 物怖じせずに発表できている、しようとしている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。	粘土作り 陶器作り(皿、小鉢、箸置きなど) 機械の安全な取り扱いについて 授業開き 職業について 勤労と協働 1年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 1学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・焼成) タタラ機や土練機、機械ろくろなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 1年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 身なりを整えることや時間を守ることの大切さなど、7つある職業の目標を知り理解する。 仕事の意義を理解し、作業を通じて協働作業の大切さを学ぶ。 1学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
2 学期	112	(知及技)(思判表力) さまざまな陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行うことができる。(高1段階) 釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(高1段階) (思判表力)(知及技) 受注した商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品をつくることができる。(高1段階) (思判表力) 客が購入したいと思う商品を考えることができる。(高1段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高1段階) (学・人)(知及技) 日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(高1段階)	(知・技) 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 丁寧に作業できている。 完成度を上げている、上げようとしている。 (思・判・表) 納期の把握ができている。 マーケティング活動が適正に行えている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	粘土作り 陶器作り(皿、シーサー、マグカップなど) 陶器作り(注文商品、コラボ商品) 行事に向けた陶器作り 用具の手入れ 2学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成) 商品づくり(各種コラボ商品、注文商品) 陶製品づくり(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り) 日頃使用している道具の手入れなどを行う。 2学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
		(知及技)(思判表力) 接客の仕方が理解でき、実践できる。(高1段階) お金の計算ができる。(高1段階) 行事の意義を理解し、習得した知識や技能を活用して、相手が喜ぶ陶製品をつくることができる。(高1段階)	(知・技)(思・判・表) 接客ができる。やろうとしている。 お金の計算ができる。やろうとしている。 陶製品づくりに真摯に取り組める。取り組もうとしている。 学年を振り返り、発表することができる。やろうとしている。	接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習 陶製品作り 用具の手入れ	接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ 習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。 日頃使用している用具の手入れ。 作業場の整理整頓。 清掃活動。

3 学期	72	学年を振り返り自己の反省点を発表することができる。（高1段階） （学・人）（知及技） 日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。（人間性）（高1段階）	（主学） 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができて、やろうとしている。	3学期のまとめ 1年間のまとめ	3学期を振り返り自己の反省点を発表する。 1年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1・3年（Ⅱ課程 A類型）職業（家庭班）年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8／280	1学年 7人 3学年 10人	職業（家庭班担当）	「ひとりだちするための進路学習」 「くらしに役立つソーシャルスキル」

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付け、作業内容や役割を理解しながら、責任をもって取り組む力を育てる。（高1段階） （思判表力）将来の職業生活における自己の目標や課題に向き合い、作業活動や人との関わりの中で、自ら工夫し改善しながらよりよく取り組む力を養う。（高1段階） （学・人）よりよい職業生活や社会参加の実現に向けて、仲間と協力しながら主体的に作業や活動に取り組み、働くことへの意欲や態度を育てる。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階：職業生活ア（ア）） （思判表力）職業生活に必要な健康管理について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㊸） （学・人）作業や実習などに達成感を得ることができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	（知・技）先輩や周りの大人が社会の中ではたらく様子を知ることができる。 （思・判・表）職業生活に必要な健康管理について考え発表することができる。 （主学）振り返りのなかで、目標の達成度を教師と一緒に確認することができる。	・職業生活に必要な力	○教科書やワークシートを活用して、職業生活に必要な力について考え、はたらく意義や将来の目標を考える。 ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・余暇活動
	72	（知及技）実習で使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく使うことができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㊸） （思判表力）作業における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㊸） （学・人）活動に見通しを持ち、自ら準備や片付けに取り組む意欲を持つ。（高1段階：職業生活ア（ウ））	（知・技）裁縫道具の名称を理解し、使用方法を守って使用することができる。 （思・判・表）作業を振り返り、自分の成長や課題について考えて発表することができる。 （主学）活動に見通しを持ち、自分から準備や片付けに取り組もうとする。	・布製品作り ・販売学習	○裁縫道具の名称や使用方法を理解し、取り扱うことができる。 ○スウェーデン刺繍や、布製品作りに取り組み、基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、しつけ縫い、ミシン縫い、アイロン等、基礎的な力を身につける。 ○1学期の振り返り
2 学期	80	（知及技）作業の持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㊸） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㊸） （学・人）作業の目標を達成することで達成感を得ることができる。目標達成に向けて自ら活動に取り組むことができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	（知・技）集中して作業したり、丁寧に作品を仕上げるができる。 （思・判・表）危険な場所や状況に注意を払いながら作業を行う事ができる。機械の故障や不衛生な状況に気付いたら知らせたり、適切な行動を取ったりすることができる。 （主学）目標達成に向けて活動に自ら取り組もうとする。	・布製品作り ・お菓子の調理 ・喫茶に関する接客	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り ・オープンを用いた焼き菓子作り ・喫茶に関する接客について ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法について ・学習の振り返り
	28	（知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。（高1段階：産業現場等における実習ア） （思判表力）実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。（高1段階：産業現場等における実習イ） （思判表力）職業生活に必要な余暇の過ごし方について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㊸） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現に向けて生活を工夫しようとする。	（知・技）職業現場で必要となることについて理解することができる。 （思・判・表）実習の振り返りを行い、成果や次の実習での目標を立て発表することができる。 （主学）卒業後の余暇の過ごし方に関心を持つ事ができる。	・職業生活に必要な力	・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・就労の場に必要な決まりの遵守、責任、協力、健康管理、安全、衛生について。 ・実習の振り返りと発表 ・卒業後の余暇の過ごし方

	4	(知及技) 表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱う事ができる。(高1段階: 情報機器の活用ア) (思判表力) コンピュータ等の情報機器を使い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階: 情報機器の活用イ) (学・人) 必要なことが相手に伝わるように工夫することができる。	(知・技) iPad等を用いて作品の紹介ポスターを作ることができる。(思・判・表) 作成したポスターを用いて作品を紹介をすることができる。 (主学) 作品の良さが相手に伝わるように文字や写真を工夫しようとする。	・販売会に向けた取り組み ・販売会のポスターやメニュー表を作ってみよう	・iPad等を用いてポスターやメニュー表を作成
3 学期	72	(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階: 職業生活イ (ア) ㉔) (思判表力) 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現することができる。 (高1段階: 勤労の意義) (学・人) 販売会準備に主体的に取り組み、工夫しようとする。	(知・技) 接客に必要な言葉使いを知り、練習することができる。 (思・判・表) 販売の時の役割を知り、自分と他者との役割について考え、協力できることを発表することができる。 (主学) 販売会の準備に主体的に取り組み、自分なりに工夫しようとしている。	・販売会に向けた取り組み ・販売学習	・接客練習 ・ラッピングの仕方 ・買い物学習 ・1年間の学習のまとめ
留意点 引継ぎ等	評価資料: 学習の様子、自己評価シート、作品				

令和8年度 高等部 2年（職業 トータルサービス班 ）普通科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	2学年 10名	職業 (トータルサービス班) 担当	実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」 ～あしたへのステップ～

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。（高1段階） (学・人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㊥】 (知及技) ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㊦】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知・技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (主学) ・iPadを活用し、作業や授業内容を振り返り、反省や自己評価を行い感想を発表する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定に向けて（校内） ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) iPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・iPadを活用し改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
2 学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㊥】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【高1Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㊦】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる。 (知・技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・iPadを活用し、作業や授業内容を振り返り、反省や自己評価を行い感想を発表する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの基本的な動作を確認する。 ・iPadを活用し改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。

3 学 期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)⑤】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる (知・技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・iPadを活用し、作業や授業内容を振り返り、反省や自己評価を行い感想を発表する。 ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 ・1年を振り返り、成長と課題点を確認する。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・3学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 ・iPadを活用し改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程 B類型） 職業（チャレンジ班） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
6/210		高等部1～3年（ 27名）	職業（チャレンジ担当）	夢を育む技術・職業 ～未来に向かって～ 編著 全国特別支援教育 ・知的障害児教育研究会	
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる（高1段階） （思判表力）意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高1段階） （学・人）作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	（知及技） ・働くことの目的などを理解することができる。（中2段階Aア（ア）） ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。（中2段階Aイ（エ）） ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。（中2段階Aイ（オ）） ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。（中2段階Bア） （思判表力） ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。（中2段階Aア（イ）） ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。（中2段階Aイ（イ）） ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。（中2段階Aイ（ウ）） ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。（中2段階Bイ） （学・人） ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	（知・技） ・働くことの目的などを理解することができる。（中2段階Aア（ア）） ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。（中2段階Aイ（エ）） ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。（中2段階Aイ（オ）） ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。（中2段階Bア） （思・判・表） ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。（中2段階Aア（イ）） ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。（中2段階Aイ（イ）） ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。（中2段階Aイ（ウ）） ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。（中2段階Bイ） （主学） ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り（紙、布、粘土、アイロンビーズ等） 受注製品作り（新聞紙・ちり紙） 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や情報収集を行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、ビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り（新聞紙バック・ちり紙） ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
2 学期	84	（知及技） ・働くことの目的などを理解することができる。（中2段階Aア（ア）） ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。（中2段階Aイ（エ）） ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。（中2段階Aイ（オ）） ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。（中2段階Bア） （思判表力） ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。（中2段階Aア（イ）） ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。（中2段階Aイ（イ）） ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。（中2段階Aイ（ウ）） ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。（中2段階Bイ） （学・人） ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	（知・技） ・働くことの目的などを理解することができる。（中2段階Aア（ア）） ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。（中2段階Aイ（エ）） ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。（中2段階Aイ（オ）） ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。（中2段階Bア） （思・判・表） ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。（中2段階Aア（イ）） ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。（中2段階Aイ（イ）） ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。（中2段階Aイ（ウ）） ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。（中2段階Bイ） （主学） ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り（紙、布、粘土、アイロンビーズ等） 受注製品作り（新聞紙・ちり紙） 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、アイロンビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り（新聞紙バック・ちり紙） ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・学習発表会に向けた製品作り

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学 期	54	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思・判・表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 - ミーティング - 野菜の栽培 - アクセサリー作り - 紙製の雑貨作り - 受注製品作り(新聞紙・ちり紙)洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙や布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙バック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・販売会に向けた製品作り
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1 年（Ⅱ課程A類型） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1 学年 27名	家庭科	くらしに役立つ家庭（東洋館出版社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） （学・人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	12	【家族・家庭生活】 （知及技）自分の成長と家族や家庭生活等との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力、地域の人々との関わりによって営まれていることに気付くことができる。（高1段階：家族・家庭生活ア（ア）） （思判表力）自分の家庭生活に関心を持ち、よりよい生活について考えることができる。（高1段階：家族・家庭生活イ（イ）） （学・人）家族と地域の人々とのよいよい関わり方について考え、実践することができる。（高1段階：家族・家庭生活イ（イ））	【家族・家庭生活】 （知・技）自分の成長や生活は、家族や家庭生活に支えられていることを理解することができる。また家庭生活が地域の人々の支えや協力によって成り立っていることに気付くことができる。 （思・判・表）家庭生活での課題を見つけ、改善策について考えることができる。 （主学）家族や地域と協力して、生活の充実に向けての関わり方について実践しようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・自分の成長と家族 ・家庭生活での役割と地域との関わり	【家族・家庭生活】 ・自分のこれまで成長してきた過程を振り返り、自分の成長や生活が家族や家庭生活に支えられてきたことを確認する。（知及技に関する内容） ・家事の種類や家事の分担についての確認をする。自分のできる役割について考える。（思判表力に関する内容） ・家族や地域との関わり方について問題を考え、ふれあいや団らんの時間を楽しくする方法や地域の為に自分が協力できることについて考え、発表しお互いの意見を発表する。（学・人に関する活動）
		【衣食住の生活】 （知及技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高1段階：衣食住の生活ア（ア）） （思判表力）健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階：衣食住の生活イ（イ）） （学・人）食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。（高1段階：衣食住の生活イ（イ））	【衣食住の生活】 （知・技）食事を共にすることは、自身の栄養バランスを整え、人間関係を深めるのにより影響があることを知ることができる。 （思・判・表）栄養バランスの良い献立を考える、1食分の食事を計画することができる。 （主学）自分の食習慣の課題の中から、健康の観点で課題を改善するための工夫をすることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・生活の中で食事が果たす役割 ・栄養バランスのよい献立を考えよう ・健康に良い食習慣について考えよう	【衣食住の生活】 ・食品の写真を、栄養素ごとに分類する。 ・栄養素の働きを確認する。 ・琉球料理や沖縄の食文化について知る。 ・食事の果たす役割について確認する。（知及技に関する内容） ・栄養バランスの良い献立を計画する。 ・自分の食習慣の課題を考える。（思判表力に関する内容） ・自分自身の食習慣について振り返る。 ・健康的な食習慣にするための工夫を話し合い、発表する。（学・人に関する活動）
		【衣食住の生活】 （知及技）食品に応じた加熱調理の仕方を理解することができる。（高1段階：衣食住の生活イ（ア）） （思判表力）基礎的な日常食の調理計画を考えることができる。（高1段階：衣食住の生活イ（イ）） （学・人）食品や調理器具等の安全と衛生を意識した行動ができる。（高1段階：衣食住の生活イ（ア））	【衣食住の生活】 （知・技）食品に応じた、様々な加熱調理の仕方と特徴を理解できる。 （思・判・表）調理に必要な材料、作業手順を考えて、まとめることができる。 （主学）身支度、手洗い、食材洗い、食器洗い等、調理をする上で安全と衛生を意識した行動ができている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・様々な加熱調理の方法と特徴について理解しよう。 ・基礎的な日常食を計画しよう ・安全と衛生を意識した調理について考えよう ・調理実習（焼く）	【衣食住の生活】 ・料理の写真を見て、様々な調理法を確認する。 ・野菜、肉・魚、卵等、食品に応じた加熱による変化を確認する。 ・調理に必要な道具とその扱い方を確認する。（知及技に関する内容） ・グループで調理に必要な材料、作業手順を考えることができる。 ・ワークシートに作業手順をまとめることができる。（思判表力に関する内容） ・調理実習をする上で、安全面、衛生面で意識することをグループでまとめ発表できる。（学・人に関する活動）

2 学 期	14	【衣食住の生活】 (知及技)住居の基本的な機能と現代の住まい方の特徴について理解することができる。(高1段階:衣食住の生活オ(ア)) (思判表力)自分や家族の安全を守るために、家庭内の危険や、防犯・災害時の行動について考え、状況に応じた住居の工夫ができるようになる(高1段階:衣食住の生活オ(イ)) (学・人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、理想の住まいを自分なりの方法で表現する。(高1段階:衣食住の生活オ(ア))	【衣食住の生活】 (知及技)家族の生活と住空間との関わりや、住居の基本的な機能について理解できる。 (思判表力)住まいの安全を整える工夫とその対策について考えたり、災害時にできる家庭内での工夫をまとめることができる。 (学・人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、活動に意欲的に取り組みながら、自分なりの方法で理想の住まいを表現しようとする姿勢が見られる。(高1段階:衣食住の生活オ(イ)) (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・住まいの機能について ・家庭内事故への対策を考えよう ・防犯・防災への対策を考えよう ・理想の住まいについて考えよう	【衣食住の生活】 ・住生活を振り返り、住まいの機能や現代の住まい方について確認する。 ・家族の生活と住空間との関わりについて確認する。 (知及技に関する内容) ・家庭内事故が起こる原因とその対策について考える。 ・防犯、防災への対策を考える。 (思判表力に関する内容) ・グループで住まいの安全、快適さなど理想的な住空間の整え方を話し合い、発表できる。 ・自分の理想の住まいを表現する。 (学・人に関する活動)
		【衣食住の生活】 (知及技)縫い方の違いや目的に応じて適した縫い方を行うことができる。(高1段階:衣食住の生活エ(ア)) (思判表力)目的に応じた着用、個性を生かす着用について考えることができる。(高1段階:衣食住の生活ウ(ア)) (学・人)目的に応じた縫い方について考え工夫する事ができる。(高1段階:衣食住の生活エ(イ))	【衣食住の生活】 (知・技)手縫いやミシン縫いのそれぞれ特徴を理解し、目的に応じて適した縫い方を選び、実践できる。 (思・判・表)着用の目的(例:活動内容・季節・TP0)に合わせて、適切な服装を選ぶ理由を考え、説明することができる。 (主学)縫う部分について考え、よりよい仕上がりになるよう工夫し実践する事ができる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ・衣服と社会生活の関わり ・布を用いた製作	【衣食住の生活】 ・目的に応じた着用(活動内容・季節・TP0等)を理解する。 ・目的に応じた着用(活動内容・季節・TP0等)や個性を生かす着用がどのような印象を与えるかお互いの考えを発表する。 ・手縫いとミシン縫いの特徴を確認し、縫う部分や目的に応じて適した方法を選ぶ必要があるを理解する。 ・裁縫道具やミシンの使い方、安全な取り扱い方について理解する。(知及技に関する内容) ・「基礎縫い」(なみ縫い、返し縫い、かがり縫い等の練習) ・縫う部分について考え、「ふきんづくり」を行う。(学・人に関する活動)
3 学 期	9	【消費生活・環境】 (知及技)売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階:消費生活・環境ア(ア)㊦) (思判表力)様々な購入方法や支払い方法の特徴が分かり、生活の中で計画的な金銭管理をする工夫を考えることができる。(高1段階:消費生活・環境ア(イ)㊦) (学・人)様々な購入方法や支払い方法について、将来の生活から考え、メリット・デメリットに気付きながら、計画的な金銭管理の工夫を自分なりに見つけようとする態度を育てる(高1段階:消費生活・環境ア(イ)㊦)	【消費生活・環境】 (知・技)18歳からできる契約について学び、責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 (思・判・表)様々な購入方法や支払い方法のメリット・デメリットに気付き、計画的な金銭管理の工夫について考えることができる。 (主学)購入方法や支払い方法の学習に関心をもち、自分の生活にあった方法を選び、計画的な金銭管理の方法について工夫しようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 ・契約と18歳成人について ・様々な支払い方法の特徴について ・計画的な金銭管理の工夫を考えよう	【消費生活・環境】 ・生活の中の「契約」について確認し、18歳成人以降の契約は法的な拘束力があることを理解する。 ・自分の生活を振り返り、様々な購入方法や支払い方法があることを確認する。 (知及技に関する内容) ・様々な購入方法や支払い方法のメリット・デメリットについて考え、グループで話し合いをする。 ・自分の生活合う購入方法や支払い方法をまとめる。 (思判表力に関する内容) ・計画的な金銭管理をするために自分にできる工夫を考え、発表する。 ・「契約」で気を付けるべきことを考え、発表することができる。 (学・人に関する活動)
		留意点 引継ぎ等			

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程 B類型）家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1 学年 12人	家庭科	一人前になるための家事の図鑑

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） （学・人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	【家族・家庭生活】（知及技）自分の成長と家族と家庭生活との関わりを知る。（高1段階：家族・家庭生活ア（ア）） （思判表力）家庭生活が家族や地域の人々との協力によって営まれている事に気づくことができる。（高1段階：家族・家庭生活イ（ア）） （学・人）家族や地域の人々とのよりよい関わり方を表現することができる。（高1段階：家族・家庭生活イ（イ））	【家族・家庭生活】（知・技）家庭生活は家族に支えられていることを確認する。また、家庭生活は地域の人々に支えられていること確認する。 （思・判・表）家族や地域の人々が家庭生活を支えていることに気づき、協力の大切さを自分なりに考え、活動や作品を通してその思いや気づきを表すことができる。 （主学）家族や地域の人々との関わりに興味をもち、自分から活動に取り組んだり、思いや考えを表そうとする姿が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【家族・家庭生活】 ○自分の成長と家族 ・自分でできること ・家庭生活の中での役割 ○家庭生活と地域 ・家庭生活と地域の関わり	【家族・家庭生活】 ・自分の成長を振り返る ・家事の種類や家事の分担を確認する。 ・地域の人々の関わりについて確認する。（知及技に関する内容） ・家庭生活で自分のできる役割について考える。 ・清掃、食器洗い、洗濯物たたみ等、家庭生活の一員としてできる活動に取り組む。（思判表力に関する内容） ・家族に感謝のメッセージカードを書く。 ・自分ができるようになりたいこと発表する。（学・人に関する内容）
	8	【衣食住の生活】（知及技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（中1段階：衣食住の生活ア（ア）） （思判表）健康に良い食習慣について考え、改善することができる。（中1段階：衣食住の生活ア（イ）） （学・人）食生活の中で食事が果たす役割について関心を持つ。（中1段階：衣食住の生活ア（イ））	【衣食住の生活】（知・技）給食の献立をもとに食事が果たす役割について理解することができる。 （思・判・表）自分がよく食べるものを知り、先生や友だちと一緒に、体に良い食習慣について話すことができる。 （主学）食事が果たす役割について関心を持ち、工夫しようとする。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○食事の役割 ・健康な生活と食事 ・給食の献立に使われている栄養素をチェックしよう ・自分の食事内容をチェックしてみよう ・1食分のメニューを考えよう ・食事とコミュニケーション	【衣食住の生活】 ・食事は健康を保ち、体の成長や活動の源になることを確認する。 ・給食の献立を3つの栄養素に分類する。（知及技に関する内容） ・誰かと一緒に食事をする時の気持ちを考え、表現する。 ・写真やイラストを使って、自分が元気になるような食べ物を選び、1食分のメニューを考える。（思判表力に関する内容） ・好きな調理法の献立を選ぶ活動に参加する。 ・地域の食文化や行事に関心をもち、自分なりに感じたことを表そうとする（学・人に関する内容）
	3	【衣食住の生活】（知及技）調理用具の正しい使い方や安全で衛生的な管理方法を知ることができる。（高1段階：衣食住の生活イ） （思判表）簡単な調理計画について考えることができる。（中1段階イ（イ）） （学・人）簡単な調理に意欲的に参加する事ができる。（中1段階イ（イ））	【衣食住の生活】（知・技）調理器具を正しい使い方で安全な管理方法を知ることができる。 （思・判・表）準備から片付けまでの調理工程についてまとめる。 （主学）実習の様子をまとめ、自分なりに発表する事ができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○簡単な調理 ・調理器具の使い方 ・衛生的な調理方法 ・「おにぎり」の作り方 ・調理実習 ①準備②実習③振り返り	【衣食住の生活】 ・調理器具の名前と用途を確認する。 ・調理実習「おにぎり」の手順を確認する。 ・調理実習における衛生面の注意点を確認する。 ・ごはんの炊き方を確認する。（知及技に関する内容） ・おにぎりに使う具材を選ぶ。 ・おにぎりの作り方の調理計画をまとめる。（思判表力に関する内容） ・調理実習の振り返りシートをまとめる。 ・調理実習で頑張ったことを発表する。（学・人に関する学習）

2 学 期	7	【衣食住の生活】 (知及技)縫い方の違いや目的に応じて適した縫い方をすることができる。(高1段階:衣食住の生活工) (思判表)場面や気候に合わせた衣服の着方ができる。(高1段階:衣食住の生活ウ) (学・人)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択ができるよう工夫しようとする。(高1段階:衣食住の生活ウ)	【衣食住の生活】 (知・技)布巾作りを通して、手縫い(玉結び、なみ縫い、玉どめ)やミシンの直線縫いができる。 (思・判・表)場面や気候に合わせた衣服の着脱を工夫しようとする。 (主学)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択ができるよう工夫しようとする。(高1段階:衣食住の生活ウ) (評価資料)授業の様子、ワークシート、作品	【衣食住の生活】 ○衣服の選択について ・TP0 ・個性を生かす着方 ・服の与える印象 ○布を用いた製作 ・ふきんづくり	【衣食住の生活】 ・目的や個性を生かす着用について確認をする。 ・手縫いとミシン縫いの特徴を確認する。 ・裁縫道具の名前と用途、安全な取り扱い方について確認をする。 ・ふきんを完成させる。(知及技に関する内容) ・季節や場面にに応じて、どんな着用をすればよいか選ぶ。 ・衣服が人に与える印象について考える(思判表力に関する内容) ・場面に応じた衣服の選択理由を発表する。 ・安全に気を付けてふきん作りに参加する。(学・人に関する学習)
	4	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの主な働きや整理整頓仕方について知る。(中1段階:衣食住の生活工(ア)) (思判表)自分の生活や教室の様子をふりかえり、どのように整理整頓すれば快適に過ごせるかを考え、工夫しようとする。(中1段階:衣食住の生活工(ア)) (学・人)季節ごとの快適な住まい方について考え、自分なりに考え実践しようとする。(中1段階:衣食住の生活工(イ))	【衣食住の生活】 (知・技)住まいの主な働き(安全・安心・快適など)や、整理整頓の基本的な方法について理解している。 (思・判・表)快適に過ごすための工夫(片づけ方、収納の仕方など)を自分なりに考えている。 (主学)季節の変化に関心をもち、快適に過ごすための住まいの工夫を自分なりに考え、生活の中で取り入れようとする。 (評価資料)授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○住居の基本的な機能 ○整理整頓・清掃について	【衣食住の生活】 ・住まいの主な働きを確認する。 ・清掃・整理整頓の仕方について確認する。 ・季節の変化による住まいの変化を確認する。(知及技に関する内容) ・快適な空間について考え、選択することができる。 ・快適な空間にするための工夫を考える。(思判表力に関する内容) ・季節ごとの住まいの工夫を体験する。(扇風機を使う、すだれを使う、窓をあけるなど) ・季節ごとの住まいの工夫で、自分が実際にやってみたい事を選ぶ。(学・人に関する学習)
3 学 期	6	【消費生活・環境】 (知及技)生活に必要な物の購入方法や支払い方法が分かる。(中1段階:身近な消費生活(ア)) (思判表)生活に必要な品物を考え、選ぶことができる。(中1段階:身近な消費生活(ア)) (学・人)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。(中1段階:身近な消費生活(イ))	【消費生活・環境】 (知・技)商品の購入方法や支払い方法が分かる。 (思・判・表)買い物の目的を理解し、必要な物を考え選ぶとうする。 (主学)ごみの分別や再利用の工夫を通してごみの量を減らすことの大切さに気づく。また、身の回りの物を大切に使う意識を育む。(評価資料)授業の様子、ワークシート	【消費生活・環境】 ○買い物の流れ ・商品を買う場所 ・商品の選び方 ・レジでの手順 ○ごみの分別について ・再利用しよう ・物を大切にするためにできること	【消費生活・環境】 ・買いもの一連の手順を確認する。 ・商品を買う場所の確認をする。 ・レジでの一連の手順を確認する。 ・買い物の目的を確認し、必要な物を教師や友達を確認する(知及技に関する内容) ・必要な物を選択した理由を考え、発表する。 ・模擬店を設置し、買い物の場面を設定して、買い物体験に参加する。(思判表力に関する内容) ・ごみの量を減らすために、自分にできることを見つけ、考えを発表する。(学・人に関する学習)
	3	【衣食住の生活】 (知及技)電子レンジやオーブントースターのような身近な加熱用調理器具を使うことができる。(中1段階:調理の基礎イ(ア)) (思判表)加熱後の食材の変化を見て、自分なりの感想や気づきを表現することができる。(中1段階:調理の基礎イ(イ)) (学・人)電子レンジやオーブントースターなどの加熱用調理器具に関心をもち、食材の変化や調理の楽しさを実感できる(中1段階:調理の基礎イ(イ))	【衣食住の生活】 (知・技)電子レンジやオーブントースターが食べ物を温めたり焼いたりする道具であることを知る。 (思・判・表)食材の変化や調理器具の使い方に関心をもち、自分なりの方法で気づきや好みを表そうとする (主学)加熱用調理器具に対して関心をもち、食材の変化や調理の楽しさを自分なりに感じ取っている (評価資料)授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○簡単な調理 ・ピザトーストの栄養素 ・ピザトーストの作り方 ・オーブントースターの使い方 ・調理実習 ・調理実習の振り返り	【衣食住の生活】 ・ピザトーストに使用されている材料を3色食品群に分類する。 ・オーブントースターの使い方を確認する。 ・電子レンジの使い方を確認する。 ・ピザトーストの作り方を確認する。(知及技に関する内容) ・焼く前と焼いた後の食材の変化を観察する ・調理実習をした感想をまとめ、発表することができる。(思判表力に関する内容) ・役割分担しながら調理実習に参加する。 ・加熱調理による食材の変化気づき、自分の好みを伝える。(学・人に関する学習)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程A類型グループ） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2学年 28名	家庭科	くらしに役立つ家庭（東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） (学・人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	【家族・家庭生活】 (知及技)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解することができる。（高1段階：A家族・家庭生活ウ（ア）） (思判表力)生活を充実させる余暇の過ごし方について考え、表現することができる。（高1段階：A家族・家庭生活ウ（イ）） (学・人)望ましい生活環境や健康管理について考え、実践することができる。（高1段階：A家族・家庭生活ウ（ア））	【家族・家庭生活】 (知・技)家庭での日常生活が健康への影響がある事を知ることができる。 (思・判・表)生活を充実させる余暇の有効な過ごし方について考え、まとめることができる。 (主学)自分の日常生活を振り返り、望ましい健康管理や余暇の有効な過ごし方を実践しようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・健康に良い日常生活とは ・余暇の過ごし方 ・朝ごはんの役割とは ・朝ごはんを計画しよう ・朝ごはんを作ろう（調理実習） ・朝ごはんづくりの振り返り	【家族・家庭生活】 ・自分の日常生活（食事、睡眠、生活習慣、生活リズム等）を書き出し、生活内容を確認する。 ・日常生活が健康へ与える影響を理解する。 ・朝ごはんの役割を理解する。 ・朝ご飯づくり（調理実習）を行う。 ①計量 ②加熱調理「炒める」③後片付け（知及技に関する内容） ・日常生活を振り返り、課題をまとめることができる。 ・日常生活の課題についてグループで話し合い、発表する。 （思判表力に関する内容） ・日常生活を振り返り、健康の為にこれから実践したいことまとめる。 ・グループで協力して朝ごはんづくりに取り組む。（学・人に関する内容）
		【衣食住の生活】 (知及技)身近な生鮮食品の鮮度のや品質の見分け方、加工食品の原材料、期限、保存方法など表示を理解し、用途に応じた選択ができる。（高1段階：衣食住の生活イ（ア）） (思判表力)食品や調理方法に応じて、安全・衛生に配慮した調理の手順や方法を自分なりに考え、選び、実行することができる。（高1段階：衣食住の生活イ（イ）） (学・人)食品や調理器具等の安全と衛生を意識した行動ができる。（高1段階：衣食住の生活イ（ア））	【衣食住の生活】 (知・技)身近な生鮮食品の鮮度や加工食品の取り扱い方や保存方法などの表示を理解し、調理や目的に応じて適切な食品を選ぶことができる。 (思・判・表)食品の種類や調理方法に応じて、洗い方や切り方の違いに気づき、安全・衛生な方法を選んで調理することができる。 (主学)食品や調理器具の衛生状態や安全性に気づき、調理中も安全・衛生を意識した行動をとることができる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・生鮮食品の品質の見分け方、保存方法 ・加工食品の特徴 ・食中毒予防について ・調理器具の扱い方 ・調理に応じた野菜の切り方 ・調理実習（蒸す） ・調理実習の振り返り	【衣食住の生活】 ・身近な生鮮食品の写真を見て、鮮度の確認の仕方、保存方法を確認する。 ・加工食品の表示の見方、その特徴について確認する。 ・調理に応じた野菜の切り方を確認する。 ・調理に必要な道具とその扱い方を確認する。 ・調理実習（蒸す） ①計量 ②加熱調理「蒸す」③後片付け（知及技に関する内容） ・加工食品の保存法や品質確認の方法を選ぶ。 ・グループで調理に必要な材料、作業手順を考えることができる。 ・ワークシートに作業手順をまとめることができる。 （思判表力に関する内容） ・食品を選ぶ基準や、保存方法について自分の考えを発表する。 ・調理実習をする上で、安全面、衛生面で意識することをグループでまとめ発表できる。 (学・人に関する活動)

2 学 期	14	【衣食住の生活】 (知及技)衣服を選択する際の確認ポイントや、洗濯や手入れ等の取り扱い方について理解することができる。(高1段階:衣食住の生活ウ(ア)) (思判表力)衣服を選択する際のポイントについて考え、工夫することができる。(高1段階:衣食住の生活ウ(イ)) (学・人)目的に応じた縫い方について考え、実践することができる。(高1段階:衣食住の生活工(イ))	【家族・家庭生活】 (知・技)衣服の様々な種類、取り扱い表示の見方や手入れ方法について理解することができる。 (思・判・表)季節や着用目的に応じた衣服の選択や購入について、素材や取り扱い表示の視点から、工夫するポイントをまとめることができる。 (主学)ポケットティッシュケースをミシン縫いで最後まで完成させることができる。 (評価資料) 授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・衣服の素材について ・取り扱い表示について ・衣服の手入れについて ・衣服の選択をしよう(購入、組み合わせ) ・ミシン縫いをしよう(ポケットティッシュケース・その他作品)	【衣食住の生活】 ・衣服には様々な素材(天然繊維、化学繊維)があることを確認する。 ・実際の衣服を見ながら、取り扱い表示の見方を理解する。 ・洗濯方法や、繕いの方について確認する。 ・ポケットティッシュケースの縫い方の確認。 (知及技に関する内容) ・季節に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、まとめる。 ・着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、まとめる。 (思判表力に関する内容) ・季節や着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法をグループで話し合い、発表する。 ・ポケットティッシュケース製作のまとめ。 (学・人に関する活動)
		【消費生活・環境】 (知及技)消費者トラブルの種類とその対応策について理解することができる。(高1段階:消費生活・環境ア(ア)ア) (思判表力)自分の生活に必要な物資やサービスを選択する際に、価格・品質・表示・口コミなどの情報を活用しながら、友達や教師と話し合いを通じて選択する力を育てる。(高1段階:消費生活・環境ア(イ)イ) (学・人)消費者トラブルの場面を知り、自分だったらどうするかを考えながら、相談する・断る・確認するなどの対応策を、自分なりの方で伝えようとする力を育てる。(高1段階:消費生活・環境ア(ア)イ)	【消費生活・環境】 (知・技)消費者トラブルの種類(例:契約トラブル、詐欺、返品問題等)と、それぞれの対応策を理解している。 (思・判・表)いくつかの情報を見て、自分に合ったものを選ぶ理由を話し合いの中で表現することができる。 (主学)トラブルの場面を見て、自分だったらどうするかを考え、対応策を理由とともに伝えようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 ・消費者トラブルについて ・消費者トラブルの対応策について知ろう ・自分に必要な商品を選択してみよう ・計画的な金銭管理 ・18歳成人について	【消費生活・環境】 ・様々な消費者トラブルを知る。 ・高校生や18歳成人に多い消費者トラブルについて知る。 ・消費者トラブルの対応策(相談窓口、返品方法、断る方法など)について確認をする。 ・商品を選択する為の生活情報の活用の仕方を確認する。 (知及技に関する内容) ・グループで消費者トラブルの対応策について考える。 ・生活情報の活用の仕方についてグループで話し合い考える。 ・計画的な金銭管理の方法について考える。 (思判表力に関する内容) ・生活情報を活用する事の大切さについて自分の考えを発表する。 ・消費者トラブルの対応策について考え発表する。 ・計画的な金銭管理のポイントについて自分の考えを発表する。 (学・人に関する活動)
3 学 期	9	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの衛生や安全に関する基本的なしくみや工夫について理解し、快適に暮らすために必要なことを知る。(高1段階:衣食住の生活オ(イ)) (思判表力)住まいの手入れや維持管理に関する方法や工夫について、自分の生活と関連づけながら考え適切な方法を考えることができる。(高1段階:衣食住の生活オ(イ)) (学・人)沖縄の伝統的な住宅の特徴や地域に根ざした工夫について学び、地域の文化や暮らしへの関心をもち学習に取り組むことができる。(高1段階:衣食住の生活オ(イ))	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの衛生や安全に関する基本的なしくみや工夫について理解している。 (思判表力)自分の生活に照らしながら、自分ができる住まいの手入れや維持管理の方法や適切な工夫について考えている。 (学・人)沖縄の伝統的な住宅について友達と意見を交わしながら学び、地域の暮らしや工夫に関心をもって活動に取り組んでいる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・快適で衛生的な住まいを保つために大切なこと(清掃、室温、採光、喚起、騒音) ・沖縄の伝統的な住まいについて	【衣食住の生活】 ・住まいの手入れ方法や維持管理方法について確認する。 ・沖縄の伝統的な住宅の特徴や工夫を確認する (知及技に関する内容) ・住まいの手入れや維持管理の必要性を考える。 ・家族にとって快適な住まいの条件を考える。 (思判表力に関する内容) ・住まいの手入れや維持管理で、自分ができることをまとめる。 ・家族が快適に過ごせるための工夫をまとめる。 ・沖縄の伝統的な住宅の工夫について気づき、自分の考えをまとめる。 (学・人に関する活動)
		留意点 引継ぎ等			

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程B類型） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2学年 6名	家庭科	一人前になるための家事の図鑑

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	【家族・家庭生活】 (知及技) 日常生活(食事、睡眠、生活習慣、余暇の過ごし方など)の過ごし方が健康と関わっていることを知る。(中1段階：A家族・家庭生活ウ(ア)) (思判表力) 自分が心地よいと感じる生活の過ごし方(好きな食べ物、落ち着く場所など)を選んだり、表現したりする。(中1段階：A家族・家庭生活ウ(イ)) (学・人) 健康に関わる食事の調理活動に関心をもち、食事の大切さを理解しながら、意欲的に参加しようとする姿勢を育む。(中1段階：A家族・家庭生活ウ(イ))	【家族・家庭生活】 (知・技) 食事、睡眠、余暇などの生活習慣が心身の健康に関係していることを、活動を通して理解する。 (思・判・表) 自分が心地よいと感じる生活の過ごし方について、好きな食べ物や落ち着く場所などを活動の中で選択し表現しようとしている。 (主学) 食事の調理活動において、材料や道具に自ら関わろうとする姿勢や、活動に前向きに参加している。 (評価資料) 授業の様子、ワークシート	【家族・家庭生活】 ○日常生活と健康 ○余暇の過ごし方 ○朝ごはんをつくろう(調理実習)	【家族・家庭生活】 ・自分の日常生活(食事、睡眠、生活習慣、余暇活動)を振り返る。 ・日常生活の過ごし方が、健康に関わっていることを確認する。 ・調理実習に使う道具の名称と用途を知る。(知及技に関する内容) ・自分の好きな余暇の過ごし方を選ぶ。 ・自分の好きな余暇の過ごし方の理由を考え、発表する。 (思判表に関する内容) ・健康の面から、朝ごはんを食べる大切さについて自分の考えを発表できる。 ・卒業後を想定して、生活リズムを工夫することを考える (学・人に関する内容)
	5	【衣食住の生活】 (知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(中1段階：衣食住の生活ア(ア)) (思判表力) 健康に良い食習慣について考え工夫することができる。(中1段階：衣食住の生活ア(イ)) (学・人) 健康に良い食習慣について、自分なりに関心をもち、活動に意欲的に取り組もうとする。(衣食住の生活ア(ア)(イ))	【衣食住の生活】 (知・技) 食事を共にすることが人間関係を深めたり、偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながることが理解できる。 (思・判・表) 食事の工夫(例：野菜を加える、バランスを考える)について、絵カードや実物を使って表現できる。 (主学) 健康に良い食習慣に関する選択肢の中から、自分の好みや理解に基づいて積極的に選ぶようとする姿勢が見られる。 (評価資料) 授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○食事の役割 ○食事の工夫を考えよう	【衣食住の生活】 ・欠食や偏食を避け栄養のバランスが良い食事をとる。 ・健康保持増進のためには運動や休養も重要な要素であることを確認する。(知及技に関する内容) ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付き、自分の考えをまとめる。 ・献立例を見て栄養バランスを整える工夫を考え、表現する。 (思判表に関する内容) ・栄養バランスを整える為の工夫を、発表する。 ・健康に良い生活習慣にする為に、どんなことができるか考え、発表する。 (学・人に関する内容)
2学期	7	【衣食住の生活】 (知及技) 衣服を選択する際の確認ポイントや、洗濯や手入れ等の取り扱い方について理解することができる。(高1段階：衣食住の生活ウ(ア)) (思判表力) 衣服を選択する際のポイントについて考え、工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活ウ(イ)) (学・人) 目的に応じた縫い方について考え、実践することができる。(高1段階：衣食住の生活エ(イ))	【衣食住の生活】 (知・技) 衣服の様々な種類、手入れ方法について確認することができる。 (思・判・表) 季節や着用目的に応じた衣服の選択や購入について、工夫を選ぶことができる。 (主学) ポケットティッシュケースをミシン縫いで最後まで完成させることができる。 (評価資料) 授業の様子、ワークシート、作品	【衣食住の生活】 ・衣服の素材について ・衣服の手入れについて ・衣服の選択をしてみよう(購入、組み合わせ) ・ミシン縫いをしよう(ポケットティッシュケース)	【衣食住の生活】 ・衣服には様々な素材(天然繊維、化学繊維)があることを確認する。 ・洗濯方法や、縫いの方法について確認する。 ・ポケットティッシュケースの縫い方の確認。(知及技に関する内容) ・季節に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、絵や写真から選び、表現する。 ・着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、絵や写真から選び表現する。 (思判表力に関する内容) ・季節や着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法をグループで話し合い、発表する。 ・ポケットティッシュケース製作のまとめ。 (学・人に関する活動)

		【消費生活・環境】 （知及技）生活に必要な物の購入方法や支払い方法が分かる。（中1段階：身近な消費生活ア（ア）） （思判表）生活に必要な品物を考え、選ぶことができる。（中1段階：身近な消費生活ア（ア）） （学・人）身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。（中1段階：身近な消費生活ア（イ））	【消費生活・環境】 （知・技）購入に必要な手順（選ぶ→支払う→受け取る）を、支援や提示を受けながらも自分で進めようとする様子が見られる。 （思・判・表）生活場面（例：食事、掃除、外出など）を想定しながら、必要な品物を考え、選ぶようにする姿勢が見られる。 （主学）環境にやさしい選び方や使い方について、自分の考えをもって選択しようとする姿勢が見られる。（評価資料）授業の様子、ワークシート	【消費生活・環境】 ○買い物の流れ ・商品を買う場所 ・商品の選び方 ・レジでの手順 ○環境に優しい買い物 ・環境に優しい商品とは ・環境に優しい使い方とは	【消費生活・環境】 ・買い物の一連の手順を確認する。 ・商品を買う場所の確認をする。 ・レジで一連の手順を確認する。 ・買い物の目的を確認し、必要な物を教師や友達を確認する （知及技に関する内容） ・必要な物を選択した理由を考え、発表する。 ・模擬店を設置し、買い物の場面を設定して、買い物体験に参加する。 （思判表力に関する内容） ・環境にやさしい選び方や使い方について、自分の言葉で伝える。 （学・人に関する学習）
3 学 期	5	【衣食住の生活】 （知及技）住まいの主な働きや整理整頓・清掃の大切さについて知る。（中1段階：衣食住の生活工（ア）） （思判表）自分の生活や教室の様子をふりかえり、どのように整理整頓すれば快適に過ごせるかを考え、工夫しようとする。（中1段階：衣食住の生活工（ア）） （学・人）家庭生活、学校生活を振り返り、健康で快適に過ごす為の工夫を考える態度を育む。（中1段階：衣食住の生活工（イ））	【衣食住の生活】 （知・技）生活を振り返り住まいの主な働きを確認し、快適に過ごす為には整理整頓や清掃が大切であることを確認する。 （思・判・表）自分の生活や教室の様子をふりかえり、整理整頓によって快適に過ごすための方法を考え、工夫しようとしている。 （主学）季節に応じた工夫、明るさ、換気など、健康で快適に過ごすための工夫について関心をもち、学習活動に意欲的に参加している。（評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○住居の基本的な機能 ○快適に過ごす① ・教室を清掃する ・ロッカーを整理する ・机を拭く ○快適に過ごす② ・カーテンをつける ・換気をする ・照明器具を使う ○自分の部屋を快適に過ごすためにできる工夫を考えよう。	【衣食住の生活】 ・住まいの主な働きを確認する。 ・清掃・整理整頓の仕方について確認する。 ・快適に過ごす為の工夫を確認する。 （知及技に関する内容） ・教室を快適に過ごす為にできる事を考え、実践する。（清掃、ロッカー整理、机拭きなど） ・家庭内で自分ができそうな整理整頓を考える。 （思判表力に関する内容） ・季節ごとの住まいの工夫を体験する。（扇風機を使う、すだれを使う、窓をあけるなど） ・季節に応じた工夫、明るさ、換気など、健康で快適に過ごす為に自分が実際にやってみたい事を選ぶ。 （学・人に関する学習）
	4	【衣食住の生活】 （知及技）電子レンジやオーブントースターのような身近な加熱用調理器具を使うことができる。（中1段階：調理の基礎イ（ア）） （思判表）加熱後の食材の変化を見て、自分なりの感想や気づきを表現することができる。（中1段階：調理の基礎イ（イ）） （学・人）簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。（中1段階：調理の基礎イ（ア））	【衣食住の生活】 （知・技）電子レンジやオーブントースターが食べ物を温めたり焼いたりする道具であることを知る。 （思・判・表）食材の変化や調理器具の使い方に関心をもち、自分なりの方法で気づきや好みを表そうとする （主学）蒸しパン作りの実習の中で、出来上がった時の反応を表現し、活動を楽しむことができる。（評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○様々な加熱調理の方法 ・電子レンジの扱い方 ・調理実習「蒸しパン」	【衣食住の生活】 ・蒸しパンの作り方を確認する。 ・電子レンジの使い方を確認する。 （知及技に関する内容） ・電子レンジ加熱による食材の変化に気づき、感想をまとめる。 ・調理実習をした感想をまとめ、発表する （思判表力に関する内容） ・加熱調理器具を使った感想を発表する。 （学・人に関する学習）
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程A類型） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3学年 35名	家庭科	くらしに役立つ家庭科（東洋館出版社）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） （学・人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）乳幼児や高齢者などの生活の特徴、身体的特徴を理解することができる。（高1段階：家族・家庭生活工） （思判表力）乳幼児や高齢者などのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高1段階：家族・家庭生活工） （学・人）乳幼児や高齢者と接するには通常とは異なる配慮が必要になることが分かり、適切に接しようとしてすることができる。（高1段階：家族・家庭生活工）	（知・技）乳幼児や高齢者などの生活の特徴、身体的特徴を理解することができた。 （思・判・表）乳幼児や高齢者などのよりよい関わり方について考え、場面に応じた声掛けができる。 （主学）乳幼児や高齢者とよりよい交流ができるよう、接し方を考え工夫する姿勢が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・子どもと共に ・高齢者と共に ・共に支え合う生活	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者の身体的特徴について動画や写真を見て理解する。 ・「赤ちゃん抱っこ体験」を通して、乳児の身体的特徴を理解する。 ・乳幼児か幼児・児童までの成長の過程を、身体・運動、社会性・情緒、言葉や遊びの分野ごとに確認する。 （知及技に関する内容） ・チャイルドビジョンやチャイルドマウスの体験を通して、子どもの視野や口の大きさを体感し、安全対策について考える。 ・「高齢者疑似体験」や「車椅子体験」を通して身体の変化に伴う動きの理解を深め、どのような配慮やサポートや必要か考える。 ・絵本やおもちゃなど、子どもの発達に必要な「あそび」について調べたり、まとめる。 （思判表力に関する内容） ・乳幼児の特徴を理解し、家庭内で安全に過ごせる対策について考える。 ・ライフステージの変化による身体的、精神的な変化を理解し、家庭内の安全面での配慮事項や接する際の言葉かけ等の関り方を考える。 （学・人に関する内容）
		（知及技）行事食や郷土料理など食事が文化を伝えることを理解することができる。（高1段階：衣食住の生活ア） （思判表力）加工食品について表示について理解し、用途に応じて選択し安全に調理することができる。（高1段階：衣食住の生活イ） （学・人）場面に応じて食事や献立を考え、加工食品をうまく取り入れながら生活に役立てようとしてすることができる。（高1段階：衣食住の生活イ）	（知・技）沖縄の行事食や郷土料理について理解している。 （思・判・表）加工食品の表示や賞味期限・消費期限の違いを知り、場面に合わせて選択することができる。 （主学）加工食品の表示や賞味期限・消費期限の違いについて学んだことを生活に生かそうとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ・食事の役割「郷土料理」 ・日常食の調理「加工食品」	【衣食住の生活】 ・沖縄の行事食や郷土料理などの食文化について理解する。 ・県産野菜、果物について知る。 （知及技に関する内容） ・加工食品の種類を知り、表示や賞味期限・消費期限を確認する。 ・加工食品の場面に合わせた選択や調理法・使用法などを考える ・加工食品の調理 （思判表力に関する内容） ・日常の食事や、行事食、災害時など場面に応じた食事や献立を考える。 （学・人に関する内容）

2 学 期	14	(知及技) 用途に応じた食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について理解できる。(高1段階：衣食住の生活イ (ア)) (思判表力) 食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる (高1段階：衣食住の生活イ (イ)) (知及技) 衣服と社会生活の関わりを知り、社会生活を営む上での衣服の機能や役割を理解することができる。(高1段階：衣食住の生活ウ (ア)) (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活工 (イ)) (学・人)生活を豊かにするために布を用いた製作に主体的に取り組むことができる。(高1段階：衣食住の生活工 (イ))	(知・技) お弁当に適した食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について理解できた。 (思・判・表)食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、まとめることができた。 (知・技) 衣服と社会生活との関わりについて理解し、衣服を清潔に保つための基本的な手入れの方法について理解している。 (思・判・表)用途に応じて、よりよく仕上がるように縫い方や縫う順序を考え、工夫して製作している。 (主学)布小物の製作に進んで取り組み、完成を目指して粘り強く活動しようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ・日常食の調理「お弁当を作ろう」 ・衣服のはたらき ・衣服の文化 ・衣服の手入れ ・布を用いた製作 (タブレットケース)	【衣食住の生活】 ・お弁当に適した食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について学習する。 ・栄養バランスを考えた「お弁当の献立」を考える。(知及技に関する内容) ・調理手順や時間を意識した調理計画を考える。 ①計量 ②下準備 ③時間配分 ④調理計画 ・調理実習 (お弁当、軽食) (思判表に関する内容) ・衣服には、所属や職業を表したり、行事などによって衣服や着方に決まりがあることを理解する。 ・和服が日本の伝統的な衣服であることや、和服と洋服の違いについて確認する。 ・衣服を清潔に保つために、洗濯や整理整頓について理解する。 ・道具を安全に扱うことができ、手縫いやミシンの扱いの基礎を確認する。 (知及技に関する内容) ・好きな色や柄を選び、布の種類や形に合わせて工夫して小物製作を行う。 ・目的に応じた縫い方を選択する。 (思判表力に関する内容) ・小物作り (タブレットケース等) に意欲的に取り組む。(学・人に関する内容)
		(知及技) 住居の基本的な機能について理解し、快適な居住生活ができるよう整理整頓、清掃をすることができる。(高2段階：衣食住の生活オ (ア)) (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができる。(高2段階：衣食住の生活オ (ア)) (学・人)安全の視点から住空間の整え方について考え、工夫することができる。(高2段階：衣食住の生活オ (ア))	(知・技) 住居の基本的な機能について理解し、快適な居住生活ができるよう整理整頓、清掃をすることができる。 (思・判・表)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができた。 (主学)安全の視点から住空間の整え方について考え、工夫しようとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	【衣食住の生活】 ・住居の役割は、風雨や寒暑から人を守るだけでなく、心身の健康の維持、子どもが育つ基盤としての働きがあることを確認する。(知及技に関する内容) ・日常生活での家庭の中での危険な場面について学習し、安全や快適さを考えた住空間について考え発表する。 ・防災の観点から、住空間の安全について考える備えや整え方について考える。 (思判表に関する内容) ・住居には、共同生活の空間、個人生活の空間があることを学習し、自分の家を分類してみたり、理想の住居を考えてまとめる。(学・人に関する内容)
3 学 期	9	(知及技) 身近な消費生活をふまえ、消費者の基本的な権利と責任について理解している。(高1段階：消費生活・環境イ (ア)) (思判表力)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考えることができる。(高1段階：消費生活・環境イ (イ)) (学・人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考えることができる。	(知・技) 商品の選択の際には、必要な情報が与えられたり、自由に選べる権利があるとともに、情報を良く調べたり確かめたりする批判的な意識をもつ責任が伴うことに気づくことができる。 (思・判・表)物資・サービスの購入から廃棄までの自分や家族の消費行動が環境への負荷を軽減させたり、企業への働きかけとなり商品の改善につながることに気づくことができる。 (主学)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、生活に生かそうとしている。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 消費者の基本的な権利と責任	【消費生活・環境】 ・「フードロス」の問題があることを知り、消費期限や賞味期限を確認するなど必要な量や使い方について考えることができる。 ・消費者基本法について、具体的な場面でどのような権利と責任が関わっているのかについて確認する。 ・購入した商品に不備があった場合は、会社や消費者センターに問い合わせるなど、適切な行動が消費者被害の拡大を防ぐことにつながることを理解する。(知及技に関する内容) ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考える。(思判表力に関する内容) ・物資・サービスの購入から廃棄までの消費行動と環境負荷について学習し、持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。(学・人に関する内容)
		(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解できる。(高1段階：衣食住の生活ア (ア)) (思判表力)用途に応じて献立を考え食品を選択し、適した調理方法を考える事ができる。(高1段階：衣食住の生活ア (イ)) (学・人)生活の中で食事が果たす役割について理解し、生活を豊かにするために工夫して実践することができる。	(知・技) 食事には健康を保つだけでなく、人と交流したり楽しい時間を過ごしたりする役割があることを理解している。 (思・判・表)感謝の気持ちを伝えるためにお招き会の献立を考えることができる。 (主学)食事を共にすることの重要性に気づくとともに、楽しく食べるために工夫し実践することができる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、お招き会の振り返り	【衣食住の生活】 日常食の調理「お招き会をしよう」	【衣食住の生活】 ・食事が健康の保持だけでなく、人との交流やコミュニケーションの場となることを知る。 ・お茶や軽食の準備、配膳、片付けの方法を知り、実践する。(知及技に関する内容) ・招待する相手に喜んでもらうためのおもてなしの方法を考える。 ・相手の立場や気持ちを考えながら準備や接客の方法を選ぶ。 (思判表力に関する内容) ・お招き会の準備や運営に進んで参加する。 ・友達と協力しながら活動に取り組む。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 高等部 3年（Ⅱ課程 B類型）家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3学年 9名	家庭科	一人前になるための家事の図鑑

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） （思・判・表）家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えた事を表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） （学・人）家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする実践的な態度を養う（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知・技）幼児の特徴や過ごし方について知ること。（中1段階：A家族・家庭生活工（ア）） （思・判・表）幼児の特徴や適切な関わりについて気づき、それらを他者に伝えることができる。（中1段階：A家族・家庭生活工（イ）） （学・人）家族との触れ合いや地域生活に関心を持ち、家族や地域の人との活動や関わり方を考え工夫することができる。（中1段階：A家族・家庭生活工（イ））	（知・技）幼児や高齢者の特長を知ることができる、関わり方を知ることができる。 （思・判・表）幼児の特長を知り、成長した自分との違いに気付くことができる。また、その違いを表現することができる。 （主・学）家族での触れ合いや地域生活での関わりを考え、工夫することができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・子どもと共に ・高齢者と共に ・共に支え合う生活	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者の身体の特徴や過ごし方を動画や写真を通して学習する。 ・乳児の身体的特徴を意識しながら「赤ちゃん抱っこ体験」に挑戦する。（知・技に関する内容） ・子どもの成長を祝う行事をふり返り、ワークシートにまとめる。 ・絵本やおもちゃ、童謡など、子どもの発達に必要な「あそび」についてまとめる。（思・判・表に関する内容） ・写真や動画を通して、家庭内の危険な場所を確認し、安全に過ごすための工夫について考える。 ・季節や行事（ファミリーデー、子どもの日）に関わる小物づくりを通して、家族に感謝を伝える。（学・人に関する内容）
2学期	14	（知・技）健康な生活と食事の役割について知ること（中1段階：B衣食住の生活（ア）） （思・判・表）場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとする。（中1段階：B衣食住の生活（イ）（ア）） （学・人）住まいの主な働きや、整理整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとする。（中1段階：B衣食住の生活（イ）（ア））	（知・技）色分けされた3大栄養素から3色がそれぞれ入るようにバランス良く食材を選ぶことができる。 （思・判・表）衣服の前後やボタン、ファスナーなど、適切に衣服を着用することができる。また、寒暖に合わせた衣服の選択ができる。 （主・学）ゴミの始末や道具の片付けなど、必要な整理整頓を見本に合わせて自ら行うことができる。整理の場所が分からない時に合図や質問で確認をとることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・日常食の調理 ・布を用いた製作 ・衣類の選択 ・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	【衣食住の生活】 ・赤・黄・緑の3つの栄養バランスを考えた「お弁当の献立」を考える ・衛生を意識し、調理手順を確認しながら調理に挑戦する。（知・技に関する内容） ・衣服の適正な着脱ができるよう工夫する。 ・TP0や気候、環境に合わせた着衣を考える、取り組むことができる。 ・好きな布や柄を選びオリジナルの小物作りに取り組む。（思・判・表に関する内容） ・整理・清掃・換気等の住宅の手入れについて理解する。 ・身の回りの整理整頓や清掃に取り組む。（学・人に関する内容）
3学期	9	（知・技）生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすること。（中2段階：C消費生活・環境（イ）） （思・判・表）生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことしたりすること（中1段階：C消費生活・環境（イ）） （学・人）簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること。（中1段階：B衣食住の生活（イ）（ア））	（知・技）買い物の仕組みや必要な物の選び方を知り、必要な物の選択や購入のための金銭のやり取りができる。 （思・判・表）買い物ごっこの中から購入する物の選択を行うことができる。また、購入の過程で金銭の受け渡しや商品の受け取り方を考えることができる。 （主・学）高校生活を振り返り、お世話になった人や好きな人へ食を通しておもてなしを教師と一緒に考え、必要な準備に取り組むことができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【消費生活・環境】 ・消費者の基本的な権利と責任 【衣食住の生活】 ・食事の役割 ・調理実習	【消費生活・環境】 ・絵カードや写真を見て、生活に使う物を分類する。 ・使った物をしまう・手入れする練習（エプロン・食器など）（知・技に関する内容） ・模擬買い物体験（校内通貨・商品カード）で必要な物を選び、支払いまでの流れを確認する。（思・判・表に関する内容） ・お世話になった先生に感謝を伝えるためのおもてなし会を計画したり、お礼状など相手の気持ちを考えた「おもてなし」を考え工夫する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 高等部 1 年 (II 課程 A 類型) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1 年 1 組 6 名 1 年 2 組 7 名 1 年 3 組 7 名 1 年 4 組 7 名	1 学年担当	小学どうとく ゆたかな心 3 年

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C：集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D：生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて) ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいのか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3 学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 高等部 1年(II 課程 B類型)特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年 II 課程 Bグループ(12名)	1学年担当	小学どうとく ゆたかな心 3年

年間目標		(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。 ・絵を見ながら様々な場面でどうい挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて) ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2 学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをするができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3 学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良く、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 高等部 2 年 (II 課程 A 類型) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	2 年 1 組 7 名 2 年 2 組 7 名 2 年 3 組 7 名 2 年 4 組 7 名	2 学年担当	小学道徳 ゆたかな心 4 年 プリント教材他

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C：集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D：生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にもむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとするすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければならないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・修学旅行に向けて、集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人に迷惑になっていないかを気づかせる。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解し、相手のことを考える。
3 学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性とう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからこそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 高等部 2 年（Ⅱ課程 B 類型）特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材
35		2 年 5 組 3 人 2 年 6 組 3 人	2 学年担当	小学 どうとく ゆたかな心 4 年
年間目標				
		(A: 自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B: 人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C: 集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D: 生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらおう。 ・絵を見ながら様々な場面でどういう挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2 学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをするすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3 学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持つて ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ。 ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 高等部 3 年 (II 課程 A 類型) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35	3 年 1 組 7 名 3 年 2 組 7 名 3 年 3 組 7 名 3 年 4 組 7 名 3 年 5 組 7 名	3 学年担当	新訂 新しい道徳 3

年間目標		(A: 自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B: 人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C: 集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D: 生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にもむけて） ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいのか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3 学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからこそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ 課程 B類型）特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年6組 5名 3年7組 4名	3学年担当	おもいよりの絵本

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度をとることができる。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、異なる意見や立場を広い心をもって尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度をとることができる。 (C：集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度をとることができる。 (D：生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さや、かけがえのない生命の尊さを理解し、人間として生きる喜びを感じる心を自ら育てることができる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらおう。 ・絵を見ながら様々な場面での挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	1 年 (27名)	1学年担当	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 就業体験事前・事後学習や体験的な学習活動を通して、それぞれの職業班で必要な知識や技能を身につける。 (思・判・表) 就業体験や学習的な体験活動を通して、学んだことをまとめ、発表活動を行うことができる。 (学・人) 就業体験や学習的な体験活動を通して、集団の中で話し合い、課題を解決する力や能力を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味を持ち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校内)事前学習、事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2 学期	14	(知・技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味を持ち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校内)事前学習、事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知・技) 販売学習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思・判・表) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味を持ち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習事前学習事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、みさき市や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程 Bグループ） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 (35時間)	1年(12名)	1学年担当	

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 就業体験などの学習活動を通して、課題解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 (思・判・表) 就業体験などの学習活動を通して、自分の役割や成果と課題等を振り返ることができる。 (学・人) 課題解決や探究活動に主体的・協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知・技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校内)事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。 ○報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。
2学期	14	(知・技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思・判・表) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校内)事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。 ○報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知・技) 販売学習の内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思・判・表) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主・学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 (35時間)	2年 28名	2学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見だし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の就業体験について、自己評価する。
2学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験での反省点を踏まえながら後期就業体験を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 前期就業体験での反省点を踏まえながら、後期就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の就業体験について、自己評価する。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 就労の意義を理解することができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを理解しようとしている。 (思・判・表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、学習発表会の準備をする。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。 ○就労について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程 B類型）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 (35時間)	2年 6名	2学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 課題解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりの中で、課題について振り返り、表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・共同的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、よりよい関係性を築くことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか振り返ってまとめて、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就業体験について理解しようとし、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかをまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○仕事内容、持ち物などの確認。 ○就業体験中の目標の設定。 ○同じ班のメンバーを確認し、親睦を深める。 ○就業体験の振り返りを行う。 ○目標の自己評価を行う。 ○自分や友人の就業体験先の体験発表を通し、具体的な仕事内容について学ぶ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験での反省点などを踏まえながら、後期就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか振り返ってまとめて、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就業体験について理解しようとし、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験での反省点を踏まえながら、就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかをまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○仕事内容、持ち物などの確認。 ○就業体験中の目標の設定。 ○同じ班のメンバーを確認し、親睦を深める。 ○就業体験の振り返りを行う。 ○目標の自己評価を行う。 ○自分や友人の就業体験先の体験発表を通し、具体的な仕事内容について学ぶ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。

3 学 期	9	(知及技) 生産や販売の流れについて理解することができる。 (思判表力) 販売学習を振り返り、自己評価をすることができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、興味をもって取り組むことができる。	(知・技) 生産や販売の流れについて理解しようとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返って自己評価をしようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○販売学習の準備をする。 ○仕事の分担や係の確認をする。 ○販売学習の成果の確認をする。 ○自己評価を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時間	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位 (35時間)	3年 35名	3学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 就業体験などの体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 就業体験を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動に主体的・協働的に取り組むとともに、集団の中で話し合い課題を解決する力や能力を身につけることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何かを考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 販売学習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（Ⅱ課程 B類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	3年 9名	3学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 就業体験などの学習活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 就業体験などの学習活動を通して、自己との関わりから課題を見だし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 課題解決や探究活動に主体的・協働的に取り組む態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。 ○報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。
2 学期	14	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返って成果を確認し、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 働くために必要な力は何か考えようとしている。また、実習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。 ○報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。 ○卒業生による仕事や余暇について話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知及技) 販売学習の内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をしようとするすることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、目標を設定する。 ○各自の目標に対する自己評価を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等学部 1年（Ⅱ課程 Aグループ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年1組6名 1年2組7名 1年3組7名 1年4組7名	1学年担当	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。（思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。（学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。	○入学式・終業式	○入学式、終業式への参加。
		○健全な発達や健康の維持を目指すことができる。	○身体測定	○身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査等の検査結果を受け、自身の生活習慣について考える。
		○生徒同士が協力して学校生活の充実と向上を図ることができる。	○新入生歓迎会 ○生徒総会	○新入生歓迎会や生徒総会に参加し、生徒会の一員であることを確認する。
		○防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。	○火災避難訓練	○火災避難訓練に参加し、避難する際の注意事項について考える。
		○学習状況やキャリア形成の年間の見通しを持たせ、主体的に学びに向かう力を育むことができる。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとに年間のキャリアパスポートを作成する。
		○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換を通して交流に参加する。
2 学期	14	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。	○始業式・終業式	○始業式、終業式への参加。
		○災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。	○地震津波避難訓練	○地震津波避難訓練に参加し、避難する際の注意事項や防災について考える。
		○健全な発達や健康維持を目指すことができる。	○校内陸上大会	○校内陸上大会で自分の種目に精一杯参加する。
		○学校の代表として一生懸命頑張る生徒を応援することができる。	○特体連体育大会	○公共交通機関の利用について学び、特体連体育大会に出場する選手を応援する。
		○公共でのマナーやルールを学び、実践することができる。	○校外学習	○校外学習に参加し公共施設や集団行動のマナーやルールについて学ぶ。
		○学習状況やキャリア形成の見通しと振り返りを行い、主体的に学びに向かう力を育むことができる。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成する。
		○性に対する正しい知識を知り、理解を深めることができる。	○性に関すること	○世界エイズデーを通して性について学習する。
3 学期	9	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。	○始業式・修了式	○始業式、修了式への参加。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。	○生徒会役員選挙	○選挙について学ぶ。
		○一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。	○特体連駅伝大会（校外学習）	○公共交通機関の利用について学び、特体連駅伝大会に出場する選手を応援する。
		○これまでの学習状況やキャリア形成の振り返りと進級後の見通しを持ち、主体的に学びに向かう力を育むことができる。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成し、一年間を振り返る。
		○公共のマナーやルールを守り、買い物することができる。	○買い物学習（校外学習）	○現金を利用した買い物学習を通して、社会のマナーやルールを学ぶ。
		○先輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。	○3年生を送る会	○3年生を送る会に参加し、卒業生の門出を祝う。
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。		

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程 B類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年（12名）	1学年担当	

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○儀式への参加を通して、新しい環境への心構えを確認する。 ○健全な発達や健康の維持について関心をもつことができる。 ○生徒会の一員として、皆と協力して活動することができる。 ○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。 ○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。	○入学式、終業式 ○身体測定 ○新入生歓迎会 ○生徒総会 ○火災避難訓練 ○学校間交流	○進級の喜びを感じ、これからの生活への意欲を持つ。 ○身体測定等の結果より、自己の生活習慣の見直し、及び自分の健康に関心を持つ。 ○生徒会の一員としての役割を持ち、活動する。 ○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。 ○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換をする。
2学期	14	○儀式への参加を通して、学校生活を送るための、心構えを確認する。 ○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。 ○健全な発達や健康維持を目指す。 ○性に対する正しい知識を学習し、知識を深める。 ○公共でのマナーやルールを学ぶ。 ○学校の代表として一生懸命頑張る生徒を応援することができる。	○始業式、終業式 ○地震津波避難訓練 ○体育祭 ○性教育 ○校外学習 ○特体連体育大会（校外学習）	○学期ごとの具体的な目標を持って生活する。 ○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。 ○大会の各種目への参加。自分の目標に向かって、努力する力を身につける。 ○世界エイズデーについての学習する。 ○公共の場での行動の仕方を身につける。 ○公共交通機関を利用して応援に行くことができる。
3学期	9	○儀式への参加を通して、学校生活を送るための心構えを確認する。 ○一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。 ○公共でのマナーやルールを守って買い物ができる。 ○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。 ○支えてくれた先輩へ感謝の気持ちを込めて、皆と協力して活動することができる。	○始業式、修了式 ○特体連駅伝大会（校外学習） ○買い物学習（校外学習） ○生徒会役員選挙 ○3年生を送る会	○始業式への参加。その場にふさわしい行動ができるようにする。 ○日頃の学習成果を発表する。 ○公共交通機関を利用して応援に行くことができる。 ○現金を利用し、必要な物を買うことができる。 ○生徒会役員選挙を通して、選挙の意義や具体的な仕組みを体験し、選挙人としての自覚を持つ。 ○先輩の姿を見て、2年後の自分を想像し、社会への希望を持つ。
通年を通して行う		○学級活動で自分の意見や意志を示し、他者の意見を聞くことができる。 ○毎学期の始めと終わりに、学期の目標を立てたり、振り返ったりすることができる。 ○高校生になったことを確認（自覚）する。	○ホームルーム活動 ○1学年集会	○学級活動やルールなどについての話し合う。 ○キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に目標設定や振り返りを行う。 ○高校生として自覚を持って行動する。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部 2年（Ⅱ課程 A類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材
1/35		2学年 28 名	2学年担当	
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		（知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・生徒会について知り、皆と協力して活動することができる。 ・自分自身の健康状態への理解を深めることができる。 ・必要な物を選定し購入することができる。 ・災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。 ・夏休みの過ごし方を確認できる。 ・性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。 ・学習状況やキャリア形成の年間の見通しを持たせ、主体的に学びに向かう力を育む。	・始業式・終業式 ・生徒総会 ・身体測定 ・買い物学習（校外学習） ・火災訓練 ・夏休みの過ごし方について ・性教育 ・キャリアパスポート	・始業式、終業式に積極的に参加する。 ・生徒会の仕事を理解し、生徒会の一員であることを確認する。 ・身体測定等の結果を受け、自己の生活習慣を見直す。 ・避難する際に気を付ける点について考える。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し、社会のルールやマナー、公共機関等の利用について学習する。 ・健康管理、自己管理を心がけ、楽しく充実した夏休みを過ごす心構えをもつ。 ・「虹の輪」を使って人と人の距離感を確認する。また、健康診断データを元に、自分の健康状態を確認する。 ・基礎資料をもとに年間のキャリアパスポートを作成する。
2 学期	14	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・もてる力を発揮して、一生懸命取り組むことができる。 ・災害時の知識を学び、安全に気を付けて避難することができる。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・体育大会の日程やねらいを知り、関心を高め意欲的に取り組むことができる。 ・生徒会活動の意義を知り、選挙への参加、投票をすることができる。 ・性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。 ・将来の生活の場について考えることができる。 ・学習状況やキャリア形成の見通しと振り返りを行い、主体的に学びに向かう力を育む。	・始業式、終業式 ・校内陸上大会 ・地震避難訓練 ・修学旅行（校外学習） ・特別支援学校体育大会（校外学習） ・買い物学習（校外学習） ・生徒会役員選挙 ・性教育 ・施設見学（校外学習） ・キャリアパスポート	・始業式、終業式に積極的に参加する。 ・競技に参加する。 ・避難する際に気を付ける点について考える。 ・事前学習や係活動、集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ・校内及び現場実習に対する態度と心得を学ぶ。 ・候補者の立会演説を聞き、投票する。 ・プライベートゾーンについて考える。 ・施設について調べ、公共機関等を利用し見学する。 ・基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成する。
3 学期	9	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。 ・卒業式の意義を理解し、場に相応しい礼儀正しさを祝うことができる。 ・これまでの学習状況やキャリア形成の振り返りと進級後の見通しを持ち、主体的に学びに向かう力を育む。	・始業式、終了式 ・特体連駅伝大会（校外学習） ・買い物学習（校外学習） ・卒業式に向けて（3年生を送る会） ・キャリアパスポート	・始業式、終了式に積極的に参加する。 ・美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ・卒業式についての話を聞いたり、歌の練習をしたりする。学年からの出し物について話し合ったり、準備したりする。 ・基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成と一年を振り返る。
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。 ○キャリアパスポートを活用し、これまでのキャリア教育の活動を振り返り、自己実現に向けて見通しを持つ。		

令和8年度 高等部 2年（ II課程 B類型 ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位/35時間	2学年 生徒 6 名	2学年担当	

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）多様な他者と協働する様々な集団活動を通して意義を理解し、行動の仕方を身につける。 （思・判・表）集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定することができる。 （学・人）・自主的、実践的な集団活動を通して主体的に集団や社会に参加し、生活および人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方について深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	○進級の喜びを味わい、新しい環境への心構えをもつことができる。（始業式） ○身体測定を通して、自分の体の発育に関心を持つことができる。（身体測定） ○新入生と積極的に交流し、仲良く過ごすことができる。（新入生歓迎会） ○生徒会の一員として皆と協力して活動することができる。（生徒総会） ○命、平和の尊さについて発表し合うことができる。（平和集会） ○必要な物を選定し購入することができる。 ○災害時における身の守り方を知り、安全に、迅速に避難することができる。（火災避難訓練） ○1学期頑張ったことを振り返り、2学期に向けての心構えをもつことができる。（終業式） ○性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。	○始業式 ○身体測定 ○新入生歓迎会 ○生徒総会 ○平和集会 ○買い物学習（校外学習） ○施設見学 ○火災避難訓練 ○終業式 ○性教育 ○キャリアパスポート	○校歌斉唱、校長あいさつ、学級担任紹介。 ○身長、体重、視力等の測定。生活習慣の見直し。 ○新入生との交流（入場、歓迎の挨拶、レク）。 ○生徒会役員・活動紹介。生徒会行事について。 ○平和パネル展の見学、図書資料・視聴覚機器での視聴、講話参加。振り返り。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルールやマナー、公共機関などの利用について学習する。 ○火災避難訓練（安全確保、避難時の留意点）。校長講話、事後学習。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、1学期の思い出発表、夏休みの過ごし方。 ○「虹の輪」を使って人と人の距離感を確認する。また、健康診断データを元に、自分の健康状態を確認する。
2 学期	14	○2学期を迎え、規則正しく学校生活を送るための、心構えをもつことができる。（始業式） ○運動に親しみ、団結して最後まで仲間と取り組むことができる。（運動会） ○災害時における身の守り方を知り、安全に、迅速に避難することができる。（地震、津波避難訓練） ○出場する競技に、精一杯取り組むことができる。（特体連体育大会） ○集団生活での自身の役割を果たし、普段と異なる自然や文化を仲間と共に楽しむことができる。（修学旅行） ○選挙の仕組みを知り、投票することができる。（生徒会役員選挙） ○体験を通して公共でのマナーやルールを学び、将来の生活の場について考えることができる。（施設見学） ○2学期頑張ったことを振り返り、3学期に向けての心構えをもつことができる。（終業式） ○性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。	○始業式 ○校内陸上大会 ○地震、津波避難訓練 ○特体連体育大会（校外学習） ○買い物学習（校外学習） ○修学旅行 ○生徒会役員選挙 ○施設見学（校外学習） ○終業式 ○性教育 ○キャリアパスポート	○校歌斉唱、校長あいさつ、2学期を迎えての決意の言葉。 ○入場行進、開会式、競技、閉会式。 ○避難訓練（安全確保、避難時の留意点）、校長講話、事後指導。 ○特体連体育大会競技への参加、応援。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ○事前学習、集団行動、係活動、見学・体験、公共施設利用のルールとマナーを学ぶ。 ○立ち合い演説会（立候補者・推薦人）、投票、開票、開票結果発表。 ○施設について調べ、公共機関を利用し見学する。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、2学期の思い出発表、冬休みの過ごし方。 ○プライベートゾーンについて考える。
3 学期	9	○3学期を迎え、規則正しく学校生活を送るための、心構えをもつことができる。（始業式） ○学習の成果を披露し、協力して販売ができる。（みさき市） ○先輩方の卒業を祝い、卒業への自覚を高める。（3年生を送る会） ○卒業の喜びを共に味わい、式に参加し、場に相応しい礼儀正しさを祝うことができる。（卒業式） ○1年間の頑張ったことを振り返り、新年度に向けた心構えをもつことができる。（修了式）	○始業式 ○特体連駅伝大会（校外学習） ○買い物学習（校外学習） ○3年生を送る会 ○キャリアパスポート ○卒業式 ○修了式	○校歌斉唱、校長先生の挨拶、新年を迎えての決意の言葉。 ○美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ○卒業生を送る言葉、プレゼント贈呈、祝いのダンス。 ○校歌斉唱、送辞・答辞、卒業の歌。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、3学期の思い出発表、春休みの過ごし方。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等学部 3年（ II課程 A類型 ）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3年1組 5名 3年2組 5名 3年3組 5名 3年4組 6名	3学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○入学式・終業式	○入学式、終業式の実施。
		○健全な発達や健康の維持を目指す。	○身体測定	○身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施。
		○生徒同士協力して学校生活の充実と後方に向けても意識を持つ。	○ホームルーム活動 ○生徒総会	○ホームルーム内の役割分担やルール作り。 ○生徒総会の運営と実施。
		○学習状況やキャリア形成の年間の見通しを持たせ、主体的に学びに向かう力を育む。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとに年間のキャリアパスポートを作成する。
		○防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○火災避難訓練	○火災避難訓練の実施。
2学期	14	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・終業式	○始業式、終業式の実施。
		○災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○地震津波避難訓練	○地震津波避難訓練の実施。
		○学習状況やキャリア形成の見通しと振り返りを行い、主体的に学びに向かう力を育む。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成する。
		○健全な発達や健康維持を目指す。	○体育祭 ○特体連体育大会	○体育祭の実施。 ○特体連体育大会への参加。
		○性に関し正しい知識を学習し、俊樹を深めることができる。	○性教育	○世界エイズデーについて学習する。
3学期	9	○地域との仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換を通して交流を実施。
		○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・卒業式・修了式	○始業式、卒業式、修了式の実施。
		○これまでの学習状況やキャリア形成の振り返りと進級後の見通しを持ち、主体的に学びに向かう力を育む。	○キャリアパスポート	○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成し、一年間を振り返る。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票する。	○生徒会役員選挙	○生徒会役員選挙の実施。
		○公共でのマナーやルールを学ぶ。		○校外学習の計画と実施。
留意点 引継ぎ等		○一生懸命練習してきた成果を活かしたり、出場選手を応援することができる	○特体連駅伝大会(校外学習)	○成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関(路線バス)を使う機会をもつ。
		○支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動する。	○3年生を送る会	○3年生を送る会の実施。

令和8年度 高等部3年（Ⅱ課程 B類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年6組5名 3年7組4名	3学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合っ合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会に主体的に参画し、生活や人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度をとることができる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○儀式への参加を通して新しい環境への心構えを確認することができる。 ○健全な発達や健康の維持について関心をもつことができる。 ○生徒会の一員として、皆と協力して活動することができる。 ○学習状況やキャリア形成の年間の見通しを持たせ、主体的に学びに向かう力を育む。 ○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。	○始業式、終業式 ○身体測定・内科検診 ○ホームルーム活動 ○生徒総会 ○新入生歓迎会 ○キャリアパスポート ○火災避難訓練	○進級の喜びを感じ、これからの生活への意欲を持つ。 ○身体測定等の結果より、自己の生活習慣の見直し、及び自分の健康に関心を持つ。 ○ホームルーム内の役割分担やルール作り。 ○生徒会の一員としての役割を持ち、活動する。 ○基礎資料をもとに年間のキャリアパスポートを作成する。 ○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。
2学期	14	○儀式への参加を通して学校生活を送るための心構えを確認することができる。 ○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。 ○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。 ○健全な発達や健康維持を目指すことができる。 ○性に対する正しい知識を学習し、知識を深めることができる。 ○学習状況やキャリア形成の年間の見通しを持たせ、主体的に学びに向かう力を育む。 ○公共でのマナーやルールを学ぶことができる。	○始業式、終業式 ○地震津波避難訓練 ○学校間交流 ○体育祭 ○特体連体育大会（校外） ○性教育 ○キャリアパスポート ○校外学習	○学期ごとの具体的な目標を持って生活する。 ○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。 ○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換をする。 ○大会の各種目への参加。自分の目標に向かって、努力する力を身につける。 ○世界エイズデーについての学習する。 ○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成する。 ○公共の場での行動の仕方を身につける。
3学期	9	○儀式への参加を通して学校生活を送るための心構えを確認することができる。 ○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。 ○一生懸命練習してきた成果を活かしたり、出場選手を応援することができる。 ○これまでの学習状況やキャリア形成の振り返りと進級後の見通しを持ち、主体的に学びに向かう力を育む。 ○儀式への参加を通して高校生活を振り返り、社会人としての心構えを確認する。	○始業式 ○生徒会役員選挙 ○特体連駅伝大会(校外学習) ○キャリアパスポート ○卒業式	○始業式への参加。その場にふさわしい行動ができるようにする。 ○生徒会役員選挙を通して、選挙の意義や具体的な仕組みを体験し、選挙人としての自覚を持つ。 ○成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関を使う機会をもつ。 ○基礎資料をもとにキャリアパスポートを作成し、一年間を振り返る。 ○12年間の成長を実感し、社会への希望を持つ。
通年を通して行う		○学級活動で自分の意見や意志を示し、他者の意見を聞くことができる。 ○毎学期の始めと終わりに、学期の目標を立てたり、振り返ったりすることができる。 ○最終学年であることを確認（自覚）することができる。	○ホームルーム活動 ○3学年集会	○学級活動やルールなどについての話し合う。 ○キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に目標設定や振り返りを行う。 ○最終学年の生徒として自覚を持って行動する。
留意点 引継ぎ等				